

2005中野区政世論調査

2006年（平成18年）1月

中 野 区

はじめに

中野区では区政の課題を解決するにあたり、区民の皆さまのご意見をお聴きすることが重要と考え、さまざまな広聴事業を実施しています。

その一つである中野区政世論調査は、区民の皆さまのご意見を科学的に調査・分析するもので、1971年（昭和46年）から区政の重要課題をテーマとして毎年実施（ただし1977年のみ未実施）しており、今回で34回目となります。

今年度は、「区政情報」「区政への参加と自治」「インターネットの利用」「税や保険料などの支払方法」をテーマに、また、毎回、継続して行う調査として「施策への要望」「生活環境の満足度」「定住意向」についてうかがいました。

さらに、区政運営の指針となる「中野区基本構想」やその基本計画である「新しい中野をつくる10か年計画」における区政目標や、仕事の見直しを進めるための行政評価で必要とする事項についてうかがいました。

調査結果は、今後の区政運営の貴重な資料として活用させていただきます。

最後になりましたが、今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民並びに関係者の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

2006年（平成18年）1月

中野区総務部広聴広報分野

目 次

I 調査実施の概要	1
1. 調査のあらまし	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査内容	3
(3) 調査設計	3
(4) 回収結果	3
(5) 地域センター別調査区域図	4
(6) 地域センター担当区域一覧	4
2. 報告書の見方	5
3. 回答者の属性	6
4. 質問と回答	8
II 調査結果の詳細	31
<テーマ別調査>	
1. 区政情報	33
(1) 区報の入手方法 (問1)	33
(2) 区報の閲読状況 (問1-1)	34
(3) 区報を読みやすくするための改善点 (問1-1-1)	36
(4) 区報の発行回数 (問1-1-2)	37
(5) 区報を読まない理由 (問1-1-3)	37
(6) 区報で読みたい記事 (問2)	38
(7) 「中野区のしおり」の利用経験 (問3)	40
(8) 「中野区のしおり」の使いやすさ (問3-1)	41
(9) 「中野区のしおり」の使いにくい点 (問3-1-1)	41
(10) 「中野区のしおり」の入手意向 (問3-2)	42
(11) リニューアル後のホームページの閲覧状況 (問4)	42
(12) ホームページの満足度 (問4-1)	44
(13) ケーブルテレビの利用の有無 (問5)	45
(14) ケーブルテレビの利用目的 (問5-1)	45
(15) ケーブルテレビを利用しない理由 (問5-2)	46
(16) 知りたい区政情報 (問6)	47
(17) 区政情報の入手状況 (問7)	49
(18) 区政情報の入手媒体として望むもの (問8)	51
(19) 区政情報の提供に対する評価 (問9)	53
2. 区政への参加と自治	54
(1) 区に意見や要望などを伝えた経験 (問10)	54

(2) 意見や要望などの伝え方 (問10-1)	56
(3) 意見や要望などを伝えなかった理由 (問10-2)	56
(4) 区政への参加意向 (問11)	57
(5) 区政への参加方法で望むもの (問11-1)	59
(6) 区政に参加したいと思わない理由 (問11-2)	60
(7) 自治活動の参加経験 (問12)	61
(8) 自治活動に参加する理由 (問12-1)	64
(9) 自治活動に参加しない理由 (問12-2)	64
(10) 自治活動で重要に思うこと (問13)	66
(11) 自治基本条例の周知度 (問14)	69
3. インターネットの利用	71
(1) 仕事以外でのインターネットの利用状況 (問15)	71
(2) インターネットの利用目的 (問15-1)	73
(3) インターネットの接続方法 (問15-2)	74
4. 税や保険料などの支払方法	75
(1) 税や保険料などの支払方法 (問16)	75
(2) 窓口払いで不便に思うこと (問16-1)	77
(3) 口座振替で不便に思うこと (問16-2)	77
(4) 公共料金の支払方法 (問17)	78
(5) インターネット・バンキングの利用経験 (問18)	78
(6) 便利と思う税や保険料などの支払方法 (問19)	80
〈経年調査〉	
5. 施策への要望	83
(1) 施策への要望 (問20)	83
6. 生活環境の満足度	92
(1) 生活環境の満足度 (問21)	92
7. 定住意向	96
(1) 定住意向 (問23)	96
(2) 住み続ける理由 (問23-1)	99
(3) 転出する理由 (問23-2)	100
〈区政目標・行政評価で活用する調査〉	
8. 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項	101
(1) 「中野区基本構想」の周知度 (問24)	101
(2) 区(本庁舎)の窓口の利用状況 (問25)	102

(3) 職員の窓口対応 (問25-1)	102
(4) 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況(問26)	103
(5) 職員の電話対応(問26-1)	103
(6) 区民の意見・要望を聴く姿勢(問27)	104
(7) 区民の意見・要望の反映度(問28)	104
(8) 住民税の認知度(問29)	105
(9) 地域活動やボランティア活動の参加状況(問30)	105
(10) 環境にやさしい行動をしているか(問31)	106
(11) 周辺道路の満足度(問32)	106
(12) 男女が多様な働き方ができるようになるべきか(問33)	107
Ⅲ 結果の数表	109

I 調査実施の概要

1. 調査のあらまし

(1) 調査目的

区政の重要課題に対する区民の意識・要望などを把握し、今後の区政運営の基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ① 区政情報
- ② 区政への参加と自治
- ③ インターネットの利用
- ④ 税や保険料などの支払方法
- ⑤ 施策への要望
- ⑥ 生活環境の満足度
- ⑦ 定住意向
- ⑧ 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項

(3) 調査設計

- ① 調査地域 中野区全域
- ② 調査対象 中野区内に住む満20歳以上の男女個人
- ③ 標本数 1,300人
- ④ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤ 調査方法 調査員による訪問配付、訪問回収法
- ⑥ 調査期間 平成17年7月11日(月)～7月31日(日)

(4) 回収結果

- ① 標本数 1,300
- ② 有効回収数 1,064 (81.8%)
- ③ 回収不能数 236 (18.2%)

(内 訳)

合 計	転 居	長期不在	一時不在	住所不明	拒 否	そ の 他
236	41 (17.4%)	19 (8.1%)	75 (31.8%)	21 (8.9%)	65 (27.5%)	15 (6.4%)

※ () 内の百分比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(5) 地域センター別調査区域図

地 域	20歳以上の人口	標 本 数	有効回収数	有効回収率
南 中 野	25,221	140	126	90.0%
弥 生・東 部	40,144	210	193	91.9%
鍋 横・桃 園	30,016	160	143	89.4%
昭 和・東中野	18,788	100	55	55.0%
上高田・新 井	24,704	130	83	63.8%
江古田・沼 袋	31,624	170	135	79.4%
野 方・大 和	33,410	180	138	76.7%
鷺 宮・上鷺宮	39,355	210	191	91.0%
計	243,262	1,300	1,064	81.8%

※20歳以上の人口は平成17年7月2日現在

(6) 地域センター担当区域一覧

地 域	担 当 町 丁
南 中 野	南台1～5丁目、弥生町1～2丁目の一部、弥生町3～6丁目
弥 生・東 部	弥生町1～2丁目の一部、本町1～3丁目、本町4丁目の一部、中央1～2丁目 中央3丁目の一部、東中野1～2丁目、東中野4丁目の一部、中野1丁目の一部
鍋 横・桃 園	本町4丁目の一部、本町5～6丁目、中央3丁目の一部、中央4～5丁目、 中野1丁目の一部、中野2～3丁目、中野4～5丁目の一部
昭 和・東中野	東中野3・5丁目、東中野4丁目の一部、中野5丁目の一部、中野6丁目 上高田1～2丁目の一部、新井1丁目の一部
上高田・新 井	上高田1～2丁目の一部、上高田3～5丁目、中野4～5丁目の一部、 新井1～3丁目の一部、新井4～5丁目
江古田・沼 袋	松が丘1～2丁目、江原町1～3丁目、江古田1～4丁目、沼袋1～4丁目
野 方・大 和	中野4丁目の一部、新井2～3丁目の一部、丸山1丁目、丸山2丁目の一部、 野方1～4丁目、野方5～6丁目の一部、大和町1～3丁目、大和町4丁目の一部、 若宮1～2丁目の一部
鷺 宮・上鷺宮	丸山2丁目の一部、野方5～6丁目の一部、大和町4丁目の一部、若宮1～2丁目 の一部、若宮3丁目、白鷺1～3丁目、鷺宮1～6丁目、上鷺宮1～5丁目

2. 報告書の見方

- (1) 図表中に示してある「n」は、その設問の対象となる回答者総数である。
 図表及び「Ⅲ 結果の数表」で表側では「その他」及び「無回答」を除いている場合がある。したがって、各回答者数の合計が回答者総数を下回る場合がある。
 また、いくつでも○（複数回答）などの場合は回答が2つ以上ありうる。したがって、合計比は100%を超える。
- (2) 百分比は「n」を100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した。このため、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。
- (3) 標本誤差（サンプル誤差）は、およそ下表のとおりである。二段抽出の場合の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）、及び回答の比率（P）によって異なる。

$$b = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数 (中野区の20歳以上の人口)
 n = 比率算出の基数 (回答者数)
 P = 回答比率

※なお、対象サンプル数（n）に比べて、母集団の大きさ（N）が十分に大きい場合には、 $(N-n) / (N-1) \approx 1$ とみなすことができ、下表はこれにより算出した。

回答比率 (p) 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,064	±2.6	±3.5	±4.0	±4.2	±4.3
1,000	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5
800	±3.0	±4.0	±4.6	±4.9	±5.0
600	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
400	±4.2	±5.7	±6.5	±7.0	±7.1
200	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0
100	±8.5	±11.3	±13.0	±13.9	±14.1

※この表の見方は次のとおりである。

例えば「ある設問の回答者数が1,064人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.2%以内（55.8～64.2%）である」とみることができる。

3. 回答者の属性

図1 性別

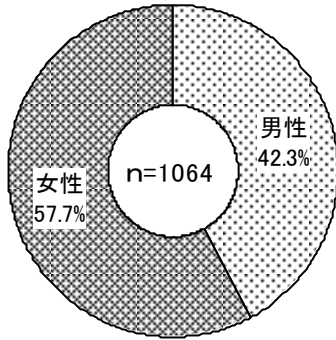


図2 年代別

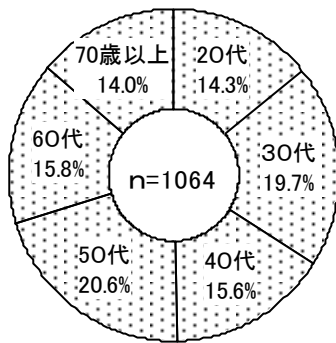


図3 性・年代別

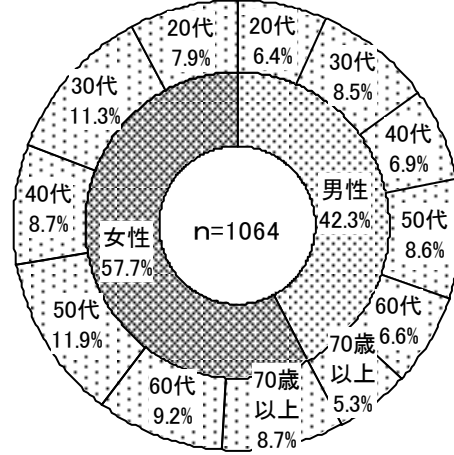


図4 母集団との比較 ー性・年代別ー

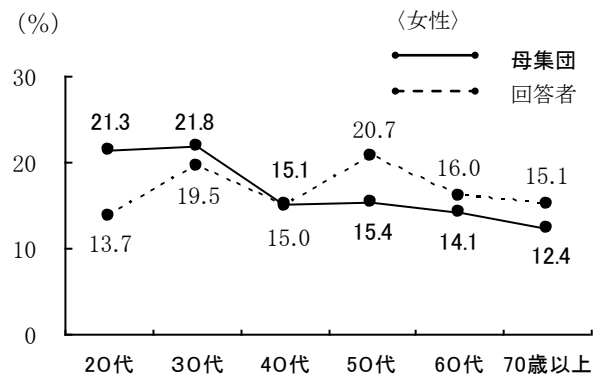
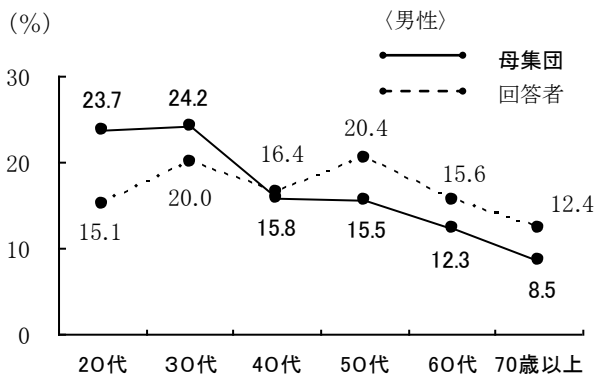


図5 職業

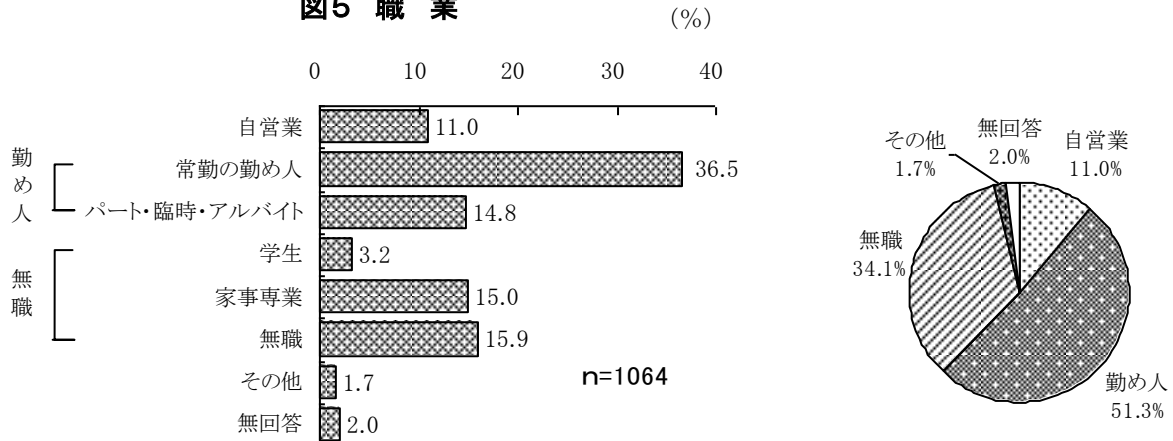


図6 通勤・通学先 (%)

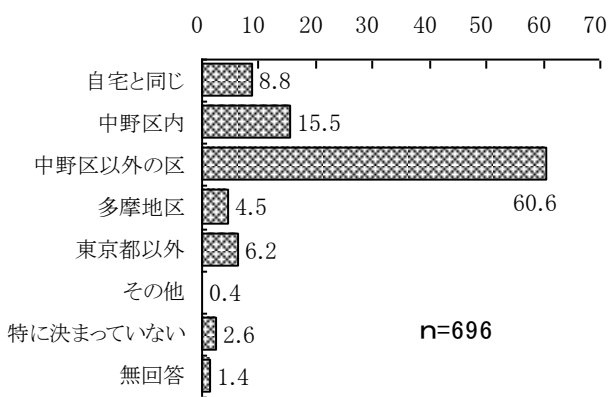


図7 世帯構成 (%)

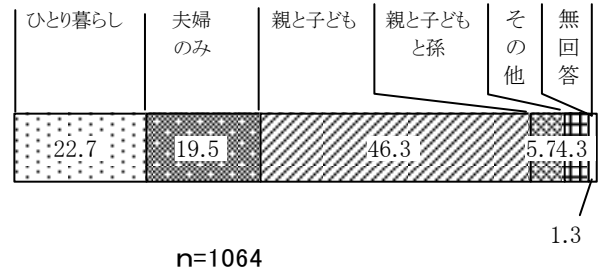


図8 居住形態 (%)

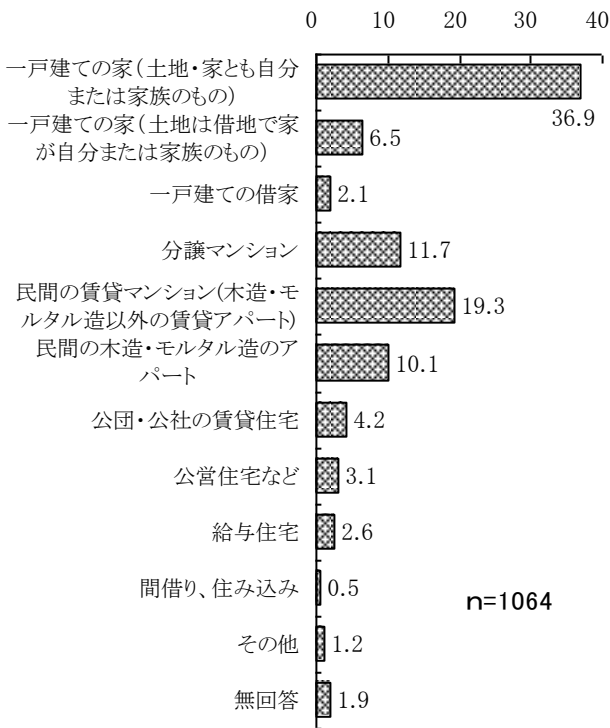
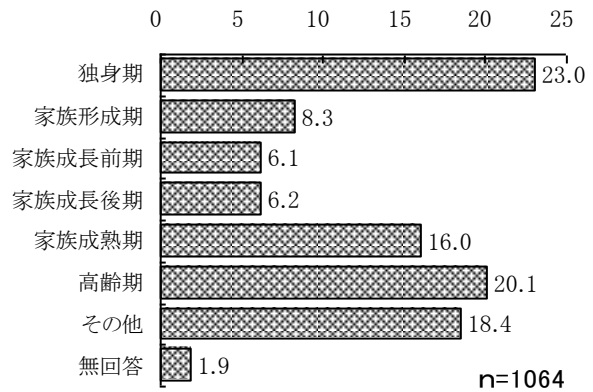


図9 ライフステージ (%)



独身期 → 20・30代の独身
 家族形成期 → 20・30代で子どもがいない夫婦、一番上の子どもが小学校入学前
 家族成長前期 → 一番上の子どもが小・中学生
 家族成長後期 → 一番上の子どもが高校・大学生
 家族成熟期 → 本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業
 高齢期 → 65歳以上
 その他 → 40～64歳で独身か夫婦のみ

図10 居住年数

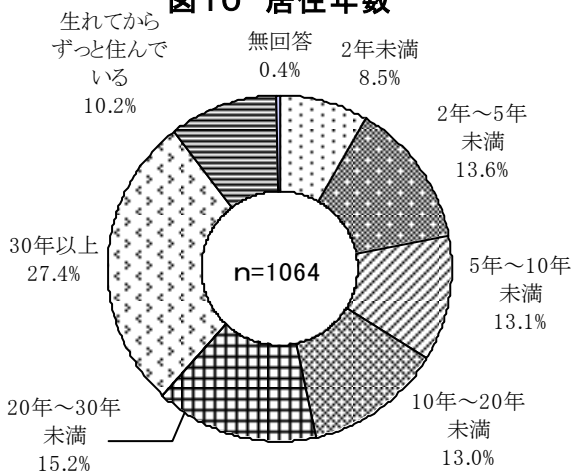
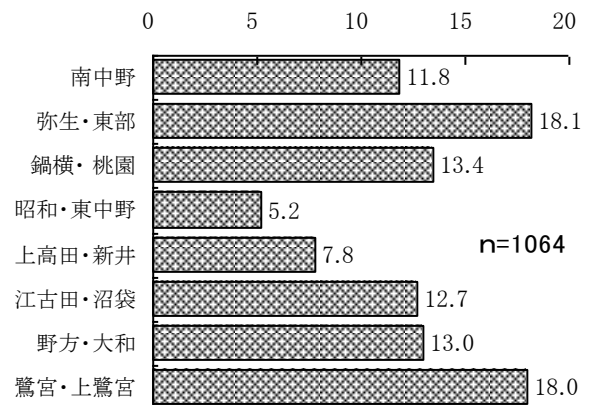


図11 地域別 (%)



2. 報告書の見方

(1) 図表中に示してある「n」は、その設問の対象となる回答者総数である。

図表及び「Ⅲ 結果の数表」で表側では「その他」及び「無回答」を除いている場合がある。したがって、各回答者数の合計が回答者総数を下回る場合がある。

また、いくつでも○（複数回答）などの場合は回答が2つ以上ありうる。したがって、合計比は100%を超える。

(2) 百分比は「n」を100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した。このため、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。

(3) 標本誤差（サンプル誤差）は、およそ下表のとおりである。二段抽出の場合の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）、及び回答の比率（P）によって異なる。

$$b = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数（中野区の20歳以上の人口）

n = 比率算出の基数（回答者数）

P = 回答比率

※なお、対象サンプル数（n）に比べて、母集団の大きさ（N）が十分に大きい場合には、 $(N-n) / (N-1) \div 1$ とみなすことができ、下表はこれにより算出した。

回答比率（p） 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,064	±2.6	±3.5	±4.0	±4.2	±4.3
1,000	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5
800	±3.0	±4.0	±4.6	±4.9	±5.0
600	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
400	±4.2	±5.7	±6.5	±7.0	±7.1
200	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0
100	±8.5	±11.3	±13.0	±13.9	±14.1

※この表の見方は次のとおりである。

例えば「ある設問の回答者数が1,064人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.2%以内（55.8～64.2%）である」とみることができる。

3. 回答者の属性

図1 性別

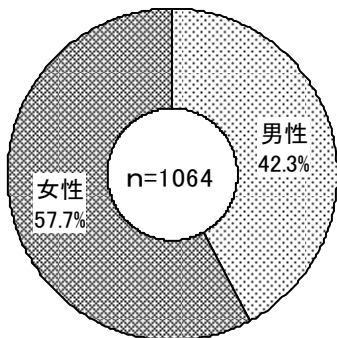


図2 年代別

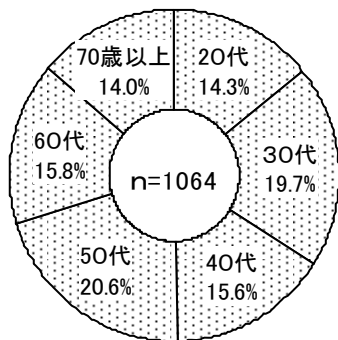


図3 性・年代別

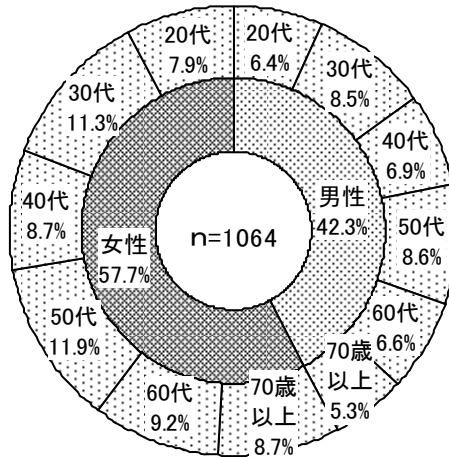


図4 母集団との比較 一性・年代別一

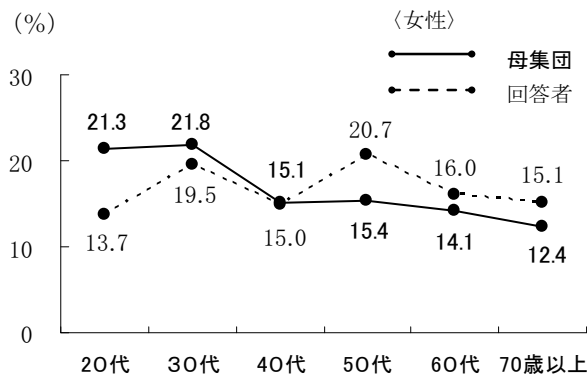
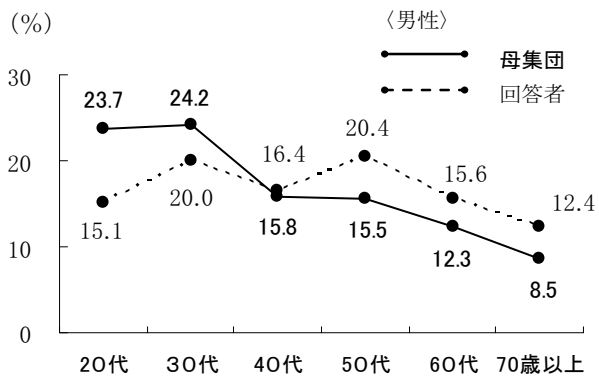


図5 職業

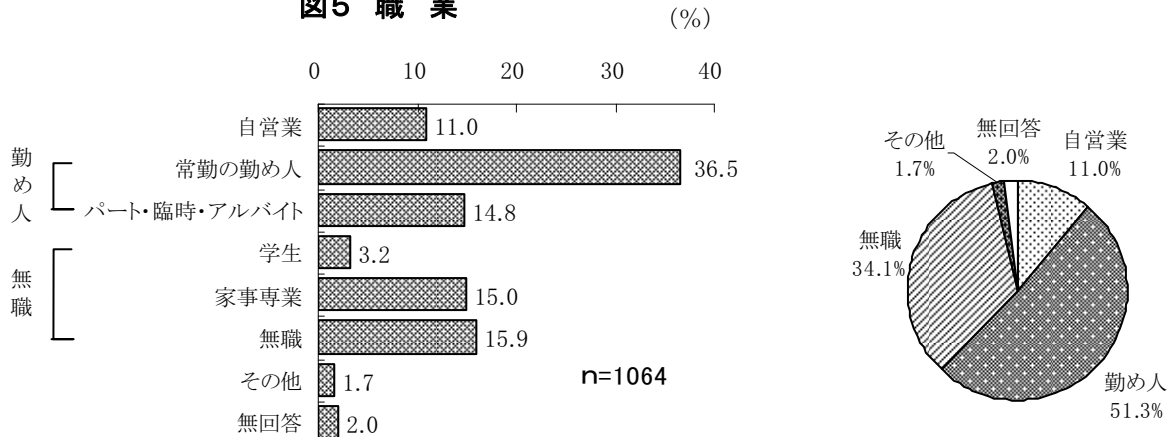


図6 通勤・通学先 (%)

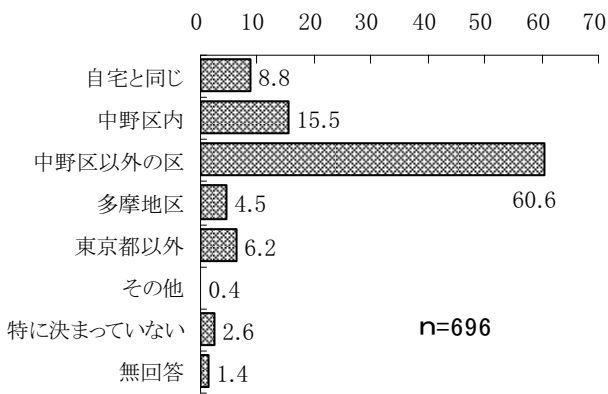


図7 世帯構成 (%)

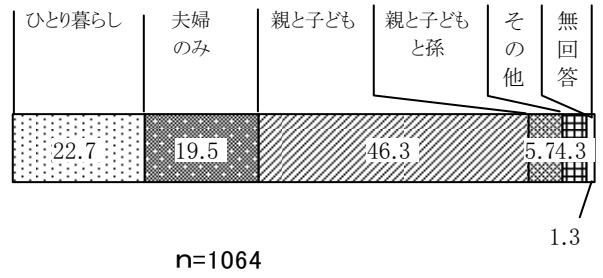


図8 居住形態 (%)

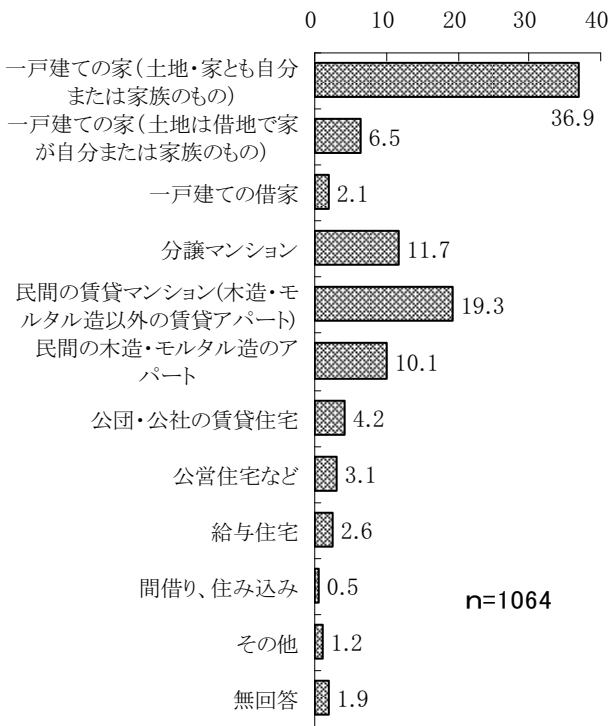
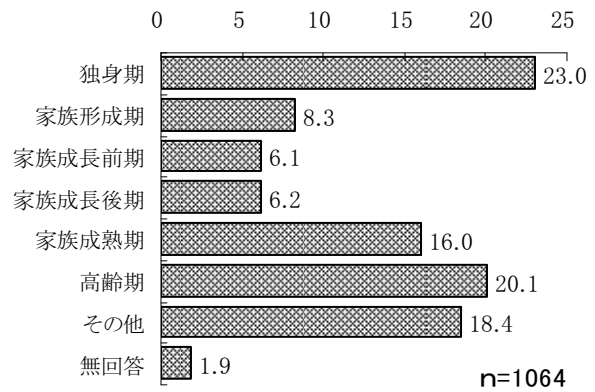


図9 ライフステージ (%)



独身期 → 20・30代の独身
 家族形成期 → 20・30代で子どもがいない夫婦、一番上の子どもが小学校入学前
 家族成長前期 → 一番上の子どもが小・中学生
 家族成長後期 → 一番上の子どもが高校・大学生
 家族成熟期 → 本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業
 高齢期 → 65歳以上
 その他 → 40～64歳で独身か夫婦のみ

図10 居住年数

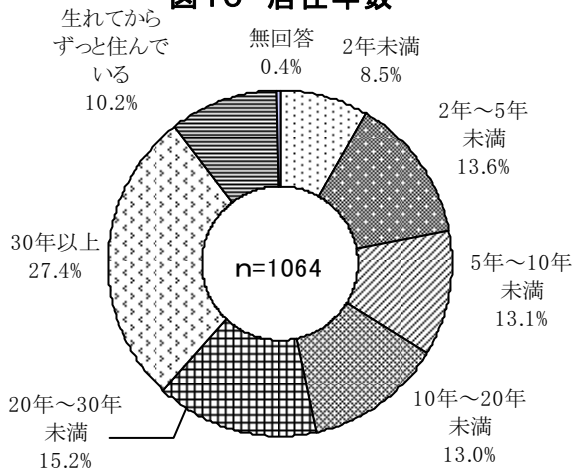
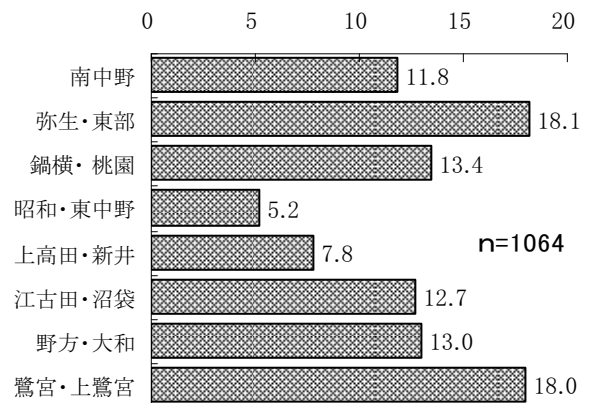


図11 地域別 (%)



4. 質問と回答

〈注〉(1) 表右上の n はその質問の回答者総数。

(2) 表内の数値は回答者総数に対する構成比 (%)。

* 数値は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% を 0.1~0.2% 程度前後することがある。

(3) 複数回答の場合は、比率を合計すると 100% を超える場合がある。

【区政情報についてうかがいます】

《区報》

問 1 区では、広報紙「なかの区報」を月 3 回（第 1・3・4 日曜日）、発行しています。あなたは区報を主にどこで手に入れていますか。（3 つ以内に○）

* 手に入っていない方は「7」に○をつけてください

n=1,064

1	新聞の折り込み	68.0
2	駅の広報スタンド	8.4
3	図書館、地域センターなど区の施設	4.3
4	コンビニエンスストア（ファミリーマート）	1.2
5	中野区ホームページ上の区報ページ（PDF 版）	0.5
6	その他（具体的に)	2.7
7	手に入っていない	23.6
	無回答	0.7

（問 1 で 1~6 のいずれかに○をつけた方に）

問 1-1 あなたは、「なかの区報」を読んでいますか。（1 つに○）

n=806

1	いつも読んでいる	36.6
2	ときどき読んでいる	52.6
3	読んでいない	10.4
	無回答	0.
		4

(問1-1で1、2に○をつけた方に)

問1-1-1 「なかの区報」をもっと読みやすくするには、どうすればよいと思いますか。(2つ以内に○)

		n=719
1	文字を大きくする	20.4
2	写真やイラストを多くする	20.3
3	文章をやさしくする	9.5
4	白黒だけではなく、色を使ったページも取り入れる	24.3
5	記事の量を少なくする	6.8
6	その他(具体的に)	4.9
7	今のままでよい	30.6
8	わからない	4.6
	無回答	7.2

問1-1-2 「なかの区報」の発行回数についてどう思いますか。(1つに○)

		n=719
1	多い	10.8
2	ちょうどよい	82.3
3	少ない	3.6
	無回答	3.2

(問1-1で3に○をつけた方に)

問1-1-3 「なかの区報」を読まない主な理由は何ですか。(1つに○)

		n=84
1	忙しいから	47.6
2	興味をひく記事が少ないから	22.6
3	内容がわかりにくいから	7.1
4	文字が小さく、読みづらいから	2.4
5	他の手段で区の情報を得ているので必要ないから	1.2
6	活字を読むのが嫌いだから(面倒だから)	8.3
7	中野区のことに関心がないから	3.6
8	その他(具体的に)	6.0
	無回答	1.2

問2 「なかの区報」で読みたいと思う記事は何ですか。(3つ以内に○)

*読みたいと思う記事がない方は「11」に○をつけてください

n=1,064

1	区の重要施策や基本方針（計画や条例の検討状況など）	25.7
2	区の各種サービスの紹介と利用方法	58.2
3	区の施設の紹介と利用方法	34.0
4	区主催の事業や催し物	23.8
5	区以外の公共機関の事業や催し物	6.4
6	区の歴史や文化財などの紹介	11.0
7	地域のできごとなどの紹介	12.3
8	区民や区民団体の活動の紹介	7.5
9	暮らしに役立つ生活情報	41.2
10	その他（具体的に)	1.5
11	特にない	11.8
	無回答	2.3

《区の便利帳》

問3 あなたは、区の便利帳である「中野区のしおり」（区のサービスや相談先などを紹介した冊子）を利用したことがありますか。（1つに○）

n=1,064

1	持っていて、利用したことがある	27.5
2	持っていないが、利用したことはある	2.1
3	持っているが、利用したことはない	23.2
4	持っていないので、利用したことがない	17.4
5	「中野区のしおり」を知らない	28.7
	無回答	1.1

（問3で1、2に○をつけた方に）

問3-1 使いやすさはいかがですか。（1つに○）

n=315

1	使いやすい	46.3
2	使いにくい	9.2
3	どちらともいえない	41.0
	無回答	3.5

(問3-1で2に○をつけた方に)

問3-1-1 使いにくいと思うのはどのようなところですか。(いくつでも○)

		n=29
1	知りたいことが、どこに載っているか見つけづらい	15人
2	知りたいことが載っていない	4人
3	文章等が難しく、掲載内容がわかりづらい	1人
4	掲載内容が簡単すぎて、用を足さない	7人
5	字が小さい	2人
6	その他(具体的に)	7人
	無回答	1人

※この設問は、基数(回答者数)が少ないため、百分比ではなく、人数で示す

(問3で2、4、5に○をつけた方に)

問3-2 あなたは、区の便利帳をほしいと思いますか。(1つに○)

		n=512
1	ほしいと思う	47.3
2	そう思わない	15.2
3	わからない	33.4
	無回答	4.1

《ホームページ》

問4 中野区のホームページは、今年4月1日にリニューアルしました。

あなたはリニューアル後のホームページをご覧になったことがありますか。(1つに○)

		n=1,064
1	よく見ている	0.8
2	ときどき見ている	8.2
3	見たことがないが、関心はある	52.2
4	見たことがなく、関心もない	33.9
	無回答	5.0

(問4で1、2に○をつけた方に)

問4-1 リニューアル後のホームページの満足度をうかがいます。

次にあげるア～カのそれぞれについて、該当するものに○をつけてください。(1つずつ○)

n=95

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
ア 情報掲載の速さ	17.9	49.5	23.2	2.1	7.4
イ 情報の探しやすさ	13.7	38.9	24.2	15.8	7.4
ウ 掲載情報のわかりやすさ	15.8	40.0	25.3	9.5	9.5
エ 必要な情報が得られたか	16.8	52.6	17.9	8.4	4.2
オ ページの見やすさ (レイアウト、色、文字など)	16.8	47.4	26.3	4.2	5.3
カ 全体として	12.6	48.4	29.5	2.1	7.4

その他、中野区のホームページについてご意見がありましたらご記入ください。

《ケーブルテレビ》

問5 あなたは、ケーブルテレビを利用していますか？(1つに○)

n=1,064

1 利用している	34.9
2 利用していない	57.8
3 わからない	6.2
無回答	1.1

(問5で1に○をつけた方に)

問5-1 ケーブルテレビを利用する目的は何ですか？(いくつでも○)

n=371

1 多チャンネル放送を楽しむため	49.1
2 インターネットを利用するため	22.6
3 IP電話を利用するため	1.1
4 区や地域の情報を得るため	22.4
5 電波障害対策のため	48.0
6 その他(具体的に)	6.5
無回答	0.8

(問5で2に○をつけた方に)

問5-2 ケーブルテレビを利用しない主な理由は何ですか。(2つ以内に○)

		n=615
1	必要がないから	50.6
2	興味はあるがきっかけがないから	12.8
3	内容をよく知らないから	18.7
4	料金が安いから	18.0
5	初期費用がかかるから	16.1
6	加入できない地域だから	2.8
7	集合住宅で個人では加入できないから	10.4
8	その他(具体的に)	3.9
	無回答	2.0

《情報全般》

問6 あなたが、日頃、区政について知りたいと思っていることはどのようなことですか。

(5つ以内に○)

*知りたいと思うことがない方は「16」に○をつけてください

		n=1,064
1	区政運営に関する区長の考え	18.2
2	区の予算やその使われ方	34.9
3	区の主要な計画	24.2
4	計画等の策定や見直し等についての検討段階の情報	9.5
5	主な事業内容や進み具合、事業に対する評価	12.5
6	各種サービスの利用手続きの窓口やその方法	43.3
7	医療や健康、福祉に関すること	52.2
8	ごみやリサイクル等、環境に関すること	34.3
9	地震や水害等、防災に関すること	40.2
10	防犯に関すること	22.8
11	生涯学習に関すること	9.7
12	文化、スポーツ、保養施設等の紹介	23.2
13	区や地域でのイベント等の催し物	16.5
14	区によせられた区民の声(意見、要望、苦情、提案)	13.0
15	その他(具体的に)	1.4
16	特になし	10.7
	無回答	0.8

問7 あなたは、それらの情報を入手できていますか。(1つに○)

n=1,064

1	入手できている	3.9
2	どちらかといえば入手できている	24.0
3	どちらかといえば入手できていない	28.9
4	入手できていない	24.1
5	知りたい情報がない	3.3
6	わからない	11.7
	無回答	4.1

問8 あなたは、区の情報を主にどのような方法で入手したいと思いますか。(2つ以内に○)

n=1,064

1	区報やチラシ、報告書など紙に書かれたもので	77.3
2	インターネット(ホームページやメールマガジンなど)で	24.7
3	ケーブルテレビなどの映像情報で	11.1
4	説明会や電話、窓口などで職員から直接聞く	7.2
5	町会や自治会などの回覧板で	19.6
6	その他(具体的に)	2.6
	無回答	3.3

問9 あなたは、区の情報が、区民に十分に提供されていると思いますか。(1つに○)

n=1,064

1	提供されている	4.3
2	どちらかといえば提供されている	26.8
3	どちらかといえば提供されていない	30.6
4	提供されていない	9.6
5	わからない	27.3
	無回答	1.3

【区政への参加と自治についてうかがいます】

問 10 あなたは区に意見や要望、苦情などを伝えたことがありますか。(1つに○)

n=1,064

1	伝えたことがある	11.2
2	伝えたいと思ったことはあるが、伝えなかった	14.2
3	伝えたことがない	73.5
	無回答	1.1

(問 10 で 1 に ○ をつけた方に)

問 10-1 どのような方法で伝えましたか。(いくつでも○)

n=119

1	窓口で職員に伝えた	42.0
2	電話で職員に伝えた	47.1
3	手紙を送った	12.6
4	メールを担当部署に送った	4.2
5	声のポストに投函した	2.5
6	ホームページの電子版「区民の声」で	—
7	区民と区長の対話集会で	7.6
8	個別の対話集会で	9.2
9	事業説明会で	5.9
10	意見交換会で	7.6
11	パブリック・コメント手続で	0.8
12	その他(具体的に)	8.4
	無回答	—

(問 10 で 2 に ○ をつけた方に)

問 10-2 伝えなかったのは何故ですか。(いくつでも○)

n=151

1	時間がなかったから	18.5
2	伝えるための適当な方法が見つからなかったから	67.5
3	言いにくい雰囲気だったから	9.9
4	自分の言ったことが、区政に反映されると思わないから	42.4
5	その他(具体的に)	4.6
	無回答	—

問 11 あなたは、区政に参加したいと思いますか。

n=1,064

1	参加したいと思う	19.4
2	参加したいと思わない	40.4
3	わからない	38.2
	無回答	2.1

(問 11 で 1 に ○ をつけた方に)

問 11-1 どのような方法で参加してみたいですか。(2つ以内に○)

n=206

1	はがきやファクシミリ、メールなどで自分の意見や提案を提出する	38.3
2	対話集会などで区長または職員に直接、意見を言う	22.3
3	パブリック・コメント手続(*)や意見交換会により、重要な施策や計画の決定について意見を言う	25.2
4	重要な施策についての住民投票に参加する	43.2
5	区の課題について区民同士が自由に討議し、結果を区に提案する	11.7
6	地域の問題を住民同士で討議し、解決した結果を区政に取り入れる	15.5
7	その他(具体的に)	1.9
	無回答	1.9

*パブリック・コメント手続とは・・・

区が基本的な計画を策定または改定する場合や、区民のみなさんの生活に大きな影響のある条例案を作成する場合に、決定前の区の案に対して区民の方が意見を表明する機会を保障するしくみです。区が案を公表し、その案に対して一定期間区民のみなさんの意見を募集したうえで最終決定します。

また、寄せられた意見に対する区の考え方を公表します。

(問 11 で 2 に ○ をつけた方に)

問 11-2 参加したいと思わない主な理由は何ですか。(1つに○)

n=430

1	意見を言っても区政に反映されたくないから	23.3
2	区政は区に任せておけばよいと思うから	13.3
3	区政に関心がないから	8.6
4	忙しいから	30.9
5	面倒だから	10.9
6	人とかかわるのが嫌いだから	2.8
7	その他(具体的に)	6.3
	無回答	4.0

問 12 あなたは、地域で自治活動（＊）に参加している、または参加したことがありますか。

n=1,064

1 ある	18.9	2 ない	79.4	無回答	1.7
------	------	------	------	-----	-----

＊ここでいう自治活動とは・・・地域の公益のために、住民自らが自分たちの意志で行う様々な活動。自治会、町会、住区協議会、PTA、地域教育懇談会、老人クラブ、商店会、地区まつり実行委員会、日赤など。個人が個人に提供するボランティア活動は除きます。

（問 12 で 1 に○をつけた方に）

問 12-1 あなたが、地域で自治活動に参加する主な理由は何ですか。（1つに○）

n=201

1 地域の課題が解決できて住みやすくなると思うから	7.5
2 地域の人とのふれあいができるから	34.8
3 地域で暮らす人としての責任だと思うから	37.8
4 活動をなしとげることで達成感が得られるから	0.5
5 地域の役に立てることが生きがいになるから	2.0
6 知り合いに誘われたから	10.9
7 活動を通し、区に地域のことを提案したいから	2.0
8 その他（具体的に)	4.5
無回答	—

（問 12 で 2 に○をつけた方に）

問 12-2 あなたが、地域で自治活動に参加しない主な理由は何ですか。（1つに○）

n=845

1 忙しくて時間がない	42.7
2 参加するきっかけがない	20.0
3 どんな活動が行われているかの情報がない	11.2
4 自治活動に参加するメリットがない	1.9
5 地域の人とのつきあいがわずらわしい	4.3
6 関心がない	13.0
7 地域の自治活動は必要ないと思うから	0.4
8 その他（具体的に)	5.3
無回答	1.2

問 13 あなたは、地域の自治活動が活発に行われるためにはどのようなことが重要と考えますか。

(2つ以内に○)

n=1,064

1	活動を行うための場所が確保されていること	18.8
2	区政や地域の情報が提供されていること	21.7
3	普段から隣近所のコミュニケーションがあること	34.7
4	自分たちで決めたことが、区政に反映されるしくみがあること	22.8
5	自治活動を第三者的な立場で見守り、必要に応じて相談や助言をする窓口があること	11.7
6	区民一人ひとりが自治に興味・理解をもつこと	30.2
7	その他(具体的に)	2.1
8	わからない	12.6
	無回答	3.6

問 14 区は、今年の4月に、区民の自治と参加を基本に区政を運営することを定めた「中野区自治基本条例」を施行しました。あなたはこの条例をご存知ですか。(1つに○)

n=1,064

1	名前は聞いたことがある	12.9
2	名前を聞いたことがあり、おおよその内容も知っている	2.9
3	知らない	81.8
	無回答	2.4

【インターネットの利用についてうかがいます】

問 15 現在、あなたは仕事以外でインターネットを利用していますか。(いくつでも○)

*利用していない方は「8」に○をつけてください

n=1,064

1	パソコンで利用している(区立施設に設置した区民公開用インターネット端末を除く)	47.4
2	区立施設に設置した区民公開用インターネット端末で利用している	0.2
3	携帯電話やPHSで利用している	27.1
4	ゲーム機で利用している	0.7
5	PDA(携帯情報端末)で利用している	0.3
6	固定電話(Lモード)で利用している	0.8
7	その他(具体的に)	—
8	利用していない	45.5
	無回答	2.3

(問 15 で 1～7 のいずれかに○をつけた方に)

問 15-1 下記のサービスのうち、問 15 で○をつけた機器で利用しているものに○をつけてください。(いくつでも○)

各 n=555

	ホームページからの情報収集	電子メールのやりとり	チャットや掲示板サービス	インターネットを使った電話サービス	書籍や衣類、チケットなど商品の購入・予約	オークションによる商品の売買	音楽や映画、写真などの電子データの購入や鑑賞	有料提供される情報の利用	飛行機や列車、ホテルなどの予約	金融機関や証券会社などの取引	ホームページの作成及び公開	オンラインゲーム	国や地方自治体への電子申請	無回答
1.パソコン	84.5	71.7	25.8	9.9	49.0	20.9	25.2	7.6	46.5	21.8	13.2	8.5	4.9	
2.区民公開用端末	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.携帯電話	20.5	42.3	7.6	1.1	10.6	3.1	10.6	11.2	11.7	3.4	0.9	3.8	-	
4.ゲーム機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	-	
5.PDA	0.2	0.4	-	-	-	-	-	0.4	0.4	-	-	0.2	-	
6.固定電話	0.5	0.5	-	0.2	0.2	-	-	0.2	0.4	-	-	-	-	
7.その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
総合(*)	89.2	84.7	28.6	10.8	54.6	22.3	32.6	17.3	52.8	24.3	13.3	11.5	4.9	1.4

*総合…インターネットを利用している人(555人)のうち、1～7のいずれかの機器を使ってサービスを利用している人の割合。複数の機器で同じサービスを利用している場合があるので、1～7の合算にはならない。

(問 15 で 1、4 に○をつけた方に)

問 15-2 パソコン、ゲーム機でのインターネットへの接続方法は次のうちどれですか。

(1つに○)

n=505

1	ダイヤルアップ(電話回線)	13.3
2	ADSL(高速の電話回線)	49.5
3	FTTH(光回線)	12.9
4	ケーブルテレビ	14.5
5	その他(具体的に)	1.6
6	わからない	3.2
	無回答	5.

【税や保険料などの支払方法についてうかがいます】

問 16 あなたは現在、税（住民税や軽自動車税）や国民健康保険料、介護保険料、保育料など、区に納めるお金をどのような方法で支払っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

*支払っていない方は「7」に○をつけてください

n=1,064

1	区役所本庁舎の窓口払い	4.4
2	地域センターの窓口払い	6.4
3	金融機関の窓口払い	32.0
4	口座振替	39.2
5	コンビニエンスストアでの払い込み	14.3
6	給料、年金などからの天引き	32.5
7	支払っていない	5.0
	無回答	1.2

(問 16 で 1、2、3 に ○ をつけた方に)

問 16-1 区や金融機関の窓口払いで不便に思うことはありますか。(いくつでも○)

n=414

1	夜間に開いている日が少ない	21.3
2	休日に開いている日が少ない	28.3
3	自宅から遠い	5.3
4	手続きに時間がかかる	17.6
5	その他(具体的に)	1.2
6	不便に思うことはない	49.3
	無回答	9.4

(問 16 で 4 に ○ をつけた方に)

問 16-2 口座振替で不便に思うことはありますか。(いくつでも○)

n=417

1	残金の管理が面倒	15.6
2	引き落とし金額の確認が面倒	13.4
3	引き落とし日が指定できない	11.3
4	金融機関を変更する場合、手続きが面倒	16.5
5	その他(具体的に)	0.7
6	不便に思うことはない	64.0
	無回答	3.8

問 17 あなたは現在、公共料金（電気・ガス・水道・固定電話）をどのような方法で支払っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

*支払っていない方は「8」に○をつけてください

n=1,064

1	口座振替	75.3
2	金融機関の窓口払い	13.9
3	ATM（自動現金引き出し、預け入れ機）での払い込み	3.1
4	コンビニエンスストアでの払い込み	22.0
5	クレジットカード決済	5.0
6	インターネット・バンキング（*）	1.2
7	その他（具体的に	0.4
8	支払っていない	6.7
	無回答	0.
		8

*インターネット・バンキング・・・インターネットを通じて自宅のパソコンから預金の残高・入出金明細照会、振込みなどが行えるシステムおよびサービスのこと。

問 18 あなたは現在、インターネット・バンキング（*）を利用していますか。（1つに○）

n=1,064

1	利用している	12.3
2	利用していないが、興味はある	5.3
3	利用していない	79.5
	無回答	2.9

問 19 下記の方法の中から、税（住民税や軽自動車税）や国民健康保険料、介護保険料、保育料などを区に納めるとした場合、便利と思うものはどれですか。（2つ以内に○）

n=1,064

1	区役所本庁舎の窓口払い	1.5
2	地域センターの窓口払い	7.9
3	金融機関の窓口払い	15.9
4	口座振替	51.4
5	24時間対応のATM（自動現金引き出し、預け入れ機）での払い込み	19.1
6	コンビニエンスストアでの払い込み	39.8
7	クレジットカード決済	11.0
8	インターネット・バンキング	6.6
	無回答	2.1

【施策への要望についてうかがいます】

問 20 つぎにあげる施策の中で、今後特に力をいれてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を口内に1つずつ記入してください。

	第1位	第2位	第3位	総 合
	n=1,064	n=1,064	n=1,064	n=1,064
1 平和	10.4	1.3	1.7	13.4
2 人権	1.8	3.1	0.8	5.6
3 情報化（IT）の推進	0.8	0.8	0.8	2.4
4 防災	15.7	10.6	8.2	34.5
5 地域・自治活動	0.6	0.8	1.8	3.2
6 防犯	12.8	11.6	9.8	34.1
7 産業振興（産業・商店街の活性化、中小企業支援など）	2.3	2.0	1.9	6.1
8 消費者支援	1.0	1.6	2.5	5.2
9 みどり・環境向上（緑化の助成、環境行動の推進、まちの美化など）	4.0	5.7	4.6	14.4
10 ごみ対策（ごみの収集、リサイクルなど）	2.9	5.9	6.8	15.6
11 子育て支援	7.5	5.0	4.3	16.8
12 青少年育成	1.5	2.2	2.8	6.5
13 男女平等	0.3	0.5	0.4	1.1
14 健康（区民健診、健康相談、介護予防など）	11.7	12.0	8.0	31.7
15 公衆衛生（害虫防除、食品衛生、公害防止など）	1.2	2.2	3.3	6.7
16 高齢者福祉	9.1	9.9	9.8	28.8
17 障害者福祉	2.8	2.3	1.9	7.0
18 低所得者支援	2.1	3.1	3.4	8.6
19 道路整備	1.0	2.2	2.8	6.0
20 公園整備	0.8	1.4	2.8	5.0
21 住宅対策	1.7	2.7	2.4	6.9
22 駅前などの重点まちづくり	1.7	2.3	3.6	7.6
23 学校教育	2.0	4.7	3.9	10.5
24 文化・スポーツ	0.8	1.8	4.0	6.6
25 その他（具体的に)	0.7	0.4	0.3	1.3
26 特になし	0.9	—	—	0.9
無回答	2.0	3.9	7.5	2.0

【住みやすさの満足度についてうかがいます】

問 21 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか。

項目ごとにお答えください。(1つずつ○)

各 n=1,064

	良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	無回答
ア 交通の便	58.0	32.0	7.6	1.4	1.0
イ 買い物の便	44.7	38.2	12.4	3.0	1.7
ウ みどりの豊かさ	13.3	37.0	33.8	13.9	1.9
エ 公園や広場	11.5	38.1	33.0	14.9	2.5
オ 近所付き合い	10.3	45.2	26.0	15.9	2.5
カ 交通の安全性	11.4	48.3	28.7	8.8	2.8
キ 災害時の安全性	3.5	35.9	40.9	15.3	4.4
ク 風紀や治安	7.5	53.3	27.7	8.5	3.0
ケ 景観や街並み	9.8	44.1	32.4	10.5	3.2
コ 騒音や大気汚染	5.5	35.9	34.8	21.1	2.6
サ ごみ出しやリサイクル	12.6	57.0	22.3	5.6	2.5
シ 全体としての住みやすさ	18.0	64.4	13.9	1.2	2.4

【定住性についてうかがいます】

問 22 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1つに○)

n=1,064

1	2年未満	8.5
2	2年～5年未満	13.5
3	5年～10年未満	11.7
4	10年～20年未満	13.0
5	20年～30年未満	15.2
6	30年以上	27.4
7	生まれてからずっと住んでいる	10.2
	無回答	0.4

問 23 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか。(1つに○)

n=1,064

1	ずっと住み続けるつもり	31.7
2	今のところは住み続けるつもり	48.0
3	いずれ転出するつもり	9.9
4	近いうちに転出するつもり	2.4
5	わからない	7.6
	無回答	0.4

(問 23 で 1、2 に○をつけた方に)

問 23-1 あなたが中野区に住み続ける主な理由は何ですか (3つ以内に○)

	n=848
1 自分の家(土地)があるから	58.8
2 家賃(地代)が安いから	7.4
3 通勤・通学に便利だから	35.0
4 買い物に便利だから	22.5
5 子育てしやすいから	1.4
6 仕事や商売の関係で	11.7
7 地域での人間関係が良いから	7.2
8 周囲の環境が良いから	11.9
9 まちの雰囲気が好きだから	8.4
10 親や子どもなど、親族が近く(または一緒)にいるから	18.2
11 住宅に満足しているから	8.3
12 物価が安いから	3.4
13 土地になじみや愛着があるから	23.6
14 その他(具体的に)	2.1
15 特に理由はない	1.4
無回答	1.3

(問 23 で 3、4 に○をつけた方に)

問 23-2 あなたが中野区から転出する主な理由は何ですか (3つ以内に○)

	n=131
1 自分の家(土地)でないから	38.2
2 家賃(地代)が高いから	23.7
3 通勤・通学に不便だから	9.2
4 買い物に不便だから	6.1
5 子育てしにくいから	7.6
6 仕事や商売の関係で	21.4
7 地域での人間関係が悪いから	3.1
8 周囲の環境が悪いから	15.3
9 まちの雰囲気が嫌いだから	5.3
10 親や子どもなど、親族の近く(または一緒)に住みたいから	14.5
11 住宅に不満をもっているから	16.0
12 物価が高いから	9.9
13 土地になじみや愛着がないから	16.0
14 その他(具体的に)	16.8
15 特に理由はない	1.5
無回答	0.8

※ここからは「新しい中野をつくる10か年計画」に関する設問です。

区は現在、区政運営の基本計画である「新しい中野をつくる10か年計画」を作成しています。この計画では、項目ごとに10年後の達成すべき目標を定めています。また、区はこの目標に向けて、毎年、区の仕事の評価し、見直しをしています。

次の設問はこの計画や、仕事の見直しに活かします。ご協力をお願いします。

問24 区は、幅広い区民の参加を得て、実現可能な区の指針である新しい「中野区基本構想」を今年3月に策定しました。あなたはこの「中野区基本構想」を知っていますか。

n=1,064

1	内容を大体知っている	6.4
2	ことばは聞いたことがあるが、内容は知らない	22.8
3	知らない	68.1
	無回答	2.6

問25 区は、誰もが気持ちよく利用できる区役所を目標としています。

あなたは、過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがありますか。

n=1,064

1	ある	57.0	2	ない	41.6	無回答	1.3
---	----	------	---	----	------	-----	-----

(問25で1に○をつけた方に)

問25-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに○)

n=607

1	非常に良い	10.2	4	悪い	4.8
2	良い	35.4	5	非常に悪い	1.6
3	普通	47.9		無回答	—

問26 また、過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがありますか。

n=1,064

1	ある	36.4	2	ない	62.3	無回答	1.3
---	----	------	---	----	------	-----	-----

(問26で1に○をつけた方に)

問26-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに○)

n=387

1	非常に良い	9.8	4	悪い	5.7
2	良い	37.5	5	非常に悪い	3.4
3	普通	43.7		無回答	—

問 27 区は、区民の声を受止めるしくみを整え、答えや説明をすばやくきちんと返すことを目標としています。

あなたは、区が区民の意見や要望を聴く姿勢について、満足していますか。(1つに○)

n=1,064

1	満足している	5.5
2	どちらかといえば満足している	22.7
3	どちらかといえば不満である	12.4
4	不満である	6.5
5	わからない	50.6
	無回答	2.3

問 28 区は、多くの区民の意見・要望を区政運営に活かすことを目標にしています。

あなたは、現在、区民の意見・要望などが区政に反映されていると思いますか。(1つに○)

n=1,064

1	反映されている	3.2
2	どちらかといえば反映されている	12.7
3	どちらかといえば反映されていない	14.6
4	反映されていない	8.9
5	わからない	57.9
	無回答	2.7

問 29 区は、区民のみなさんに、税金を納得したうえで負担していただくことを目標にしています。

区民のみなさんが区に納めている住民税は、区民サービスのための基本的な財源です。あなたは、住民税がどのような用途に使われているか知っていますか。(1つに○)

n=1,064

1	知っている	7.2
2	多少は知っている	29.6
3	ほとんど知らない	34.4
4	知らない	27.3
	無回答	1.4

問 30 区は、ボランティア活動など、区民の自主的な活動が活発に行われる社会を目標としています。
あなたは、この1年間に町会・自治会、PTAなどの地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。(1つに○)

n=1,064

1 週に1回以上ある	2.2
2 月に1、2回程度ある	4.4
3 年に数回ある	11.1
4 ない	80.8
無回答	1.5

問 31 区は、区民の一人ひとりの方に環境にやさしい生活を送っていただくことを目標としています。
あなたは、環境にやさしい行動(冷暖房機の温度設定に気をつける/リサイクル、レジ袋を断るなど、ごみの発生を少なくする努力をする/車の停車時にエンジンを切るなど)をしていますか。(1つに○)

n=1,064

1 している	36.7
2 多少はしている	46.8
3 あまりしていない	8.9
4 していない	5.0
無回答	2.6

問 32 区は、地域に応じたまちづくりを進め、安全で快適な生活空間づくりを目標としています。
あなたは、お住まいの周辺道路にどの程度満足していますか。
各項目についてお答えください。(1つずつ○)

各 n=1,064

	満足	やや満足	やや不満	不満	いえない どちらとも	わからない	無回答
ア 車の流れや渋滞	5.5	21.8	28.9	23.6	7.6	7.6	5.1
イ 車に乗っているときの安全性	4.7	28.0	26.2	12.1	8.8	14.1	6.0
ウ 歩道の歩きやすさ	4.2	21.3	32.1	33.3	3.6	0.9	4.5
エ 沿道の景観	4.5	25.8	26.7	24.4	11.1	2.6	4.8
オ 災害時の避難路としての安心感	1.5	13.7	31.5	32.5	8.6	7.4	4.7
カ 道路補修や維持管理	2.9	25.3	26.6	21.3	10.9	7.9	5.1
キ 総合的にみて	2.5	23.9	36.0	20.2	8.9	3.7	4.8

問 33 区は、全ての人に多様な働き方が選択できる社会を目標にしています。

民間企業の中には一人あたりの労働時間を短くして、仕事を分かち合うワークシェアリングを導入するところも出始めています。あなたは、このような方法を用いて男女が多様な働き方ができるようになるべきだと思いますか。(1つに○)

n=1,064

1	そう思う	50.5
2	そう思わない	6.6
3	どちらともいえない	24.8
4	わからない	14.7
	無回答	3.5

【フェースシート】

統計的に処理するために、あなた自身とご家族についてお聞きします。

F 1 あなたの性別はどちらですか。

n=1,064

1	男	42.3	2	女	57.7
---	---	------	---	---	------

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

n=1,064

1	20～24 歳	6.0	7	50～54 歳	9.6
2	25～29 歳	8.3	8	55～59 歳	11.0
3	30～34 歳	10.7	9	60～64 歳	9.6
4	35～39 歳	9.0	10	65～69 歳	6.2
5	40～44 歳	7.5	11	70 歳以上	14.0
6	45～49 歳	8.1			

F 3 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(主なもの1つに○)

n=1,064

1	自営業	11.0	5	家事専業	15.0
2	常勤の勤め人	36.5	6	無職	15.9
3	パート・臨時・アルバイト	14.8	7	その他(具体的に)	1.7
4	学生	3.2		無回答	2.0

1. 調査のあらまし

(1) 調査目的

区政の重要課題に対する区民の意識・要望などを把握し、今後の区政運営の基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ① 区政情報
- ② 区政への参加と自治
- ③ インターネットの利用
- ④ 税や保険料などの支払方法
- ⑤ 施策への要望
- ⑥ 生活環境の満足度
- ⑦ 定住意向
- ⑧ 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項

(3) 調査設計

- ① 調査地域 中野区全域
- ② 調査対象 中野区内に住む満20歳以上の男女個人
- ③ 標本数 1,300人
- ④ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤ 調査方法 調査員による訪問配付、訪問回収法
- ⑥ 調査期間 平成17年7月11日(月)～7月31日(日)

(4) 回収結果

- ① 標本数 1,300
- ② 有効回収数 1,064 (81.8%)
- ③ 回収不能数 236 (18.2%)

(内 訳)

合 計	転 居	長期不在	一時不在	住所不明	拒 否	そ の 他
236	41 (17.4%)	19 (8.1%)	75 (31.8%)	21 (8.9%)	65 (27.5%)	15 (6.4%)

※ () 内の百分比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(F3で1、2、3、4に○をつけた方に)

F3-1 勤務先または通学先は、どちらですか。(1つに○)

		n=696		
1	自宅と同じ	8.8	5 東京都以外	6.2
2	中野区内	15.5	6 その他(具体的に)	0.4
3	中野区以外の区	60.6	7 特に決まっていない	2.6
4	多摩地区	4.5	無回答	1.4

F4 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(1つに○)

		n=1,064	
1	一戸建ての家(土地・家とも自分または家族のもの)	36.9	
2	一戸建ての家(土地は借地で家が自分または家族のもの)	6.5	
3	一戸建ての借家	2.1	
4	分譲マンション	11.7	
5	民間の賃貸マンション(木造・モルタル造以外の賃貸アパート)	19.3	
6	民間の木造・モルタル造のアパート	10.1	
7	公団・公社の賃貸住宅	4.2	
8	公営住宅など(都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート)	3.1	
9	給与住宅など(寮、社宅、公務員住宅)	2.6	
10	間借り、住み込み	0.5	
11	その他(具体的に)	1.2	
	無回答	1.9	

F5 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(1つに○)

		n=1,064	
1	20~30代の独身者	23.0	
2	20~30代の子どものいない夫婦または、一番上の子どもが就学前の親	8.3	
3	一番上の子どもが小学生~中学生	6.1	
4	一番上の子どもが高校生~大学生	6.2	
5	64歳以下で、一番上の子どもが学校を卒業している	16.0	
6	40~64歳の独身者または、40~64歳の子どものいない夫婦	18.4	
7	65歳以上	20.1	
	無回答	1.9	

F6 現在、いっしょにお住まいのご家族は、あなたを含め、次のどれにあたりますか。

(1つに○)

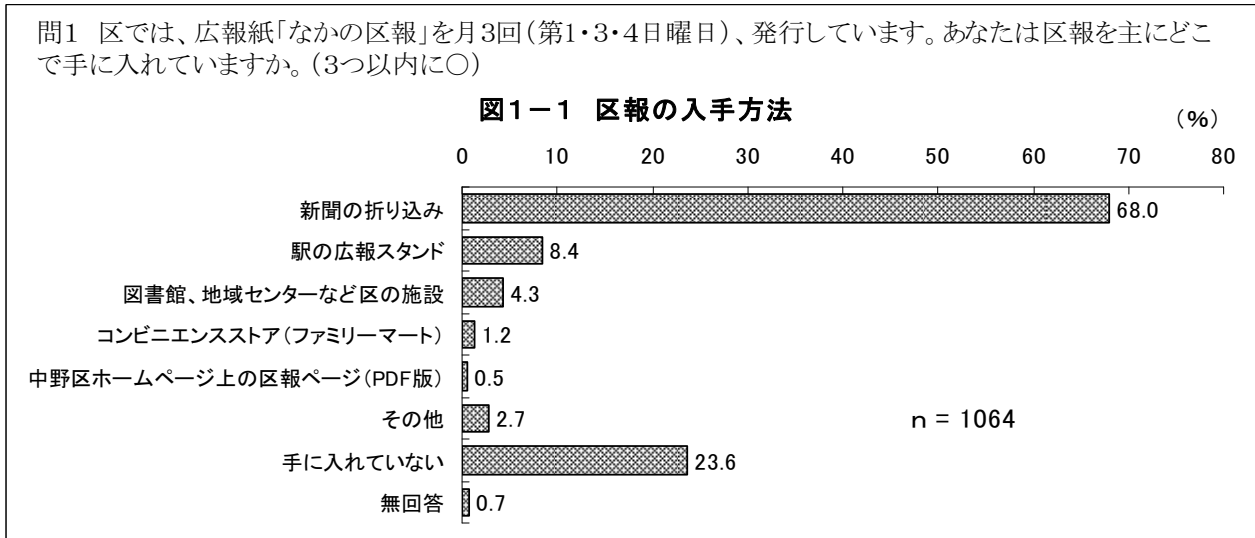
		n=1,064		
1	ひとり暮らし	22.7	4 親と子どもと孫	5.7
2	夫婦のみ	19.5	5 その他(具体的に)	4.3
3	親と子ども	46.3	無回答	1.3

Ⅱ 調査結果の詳細

1. 区政情報
2. 区政への参加と自治
3. インターネットの利用
4. 税や保険料などの支払方法
5. 施策への要望
6. 生活環境の満足度
7. 定住意向
8. 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項

1. 区政情報

(1) 区報の入手方法……「新聞折り込み」が7割近くでトップ、「手に入れていない」は2割強

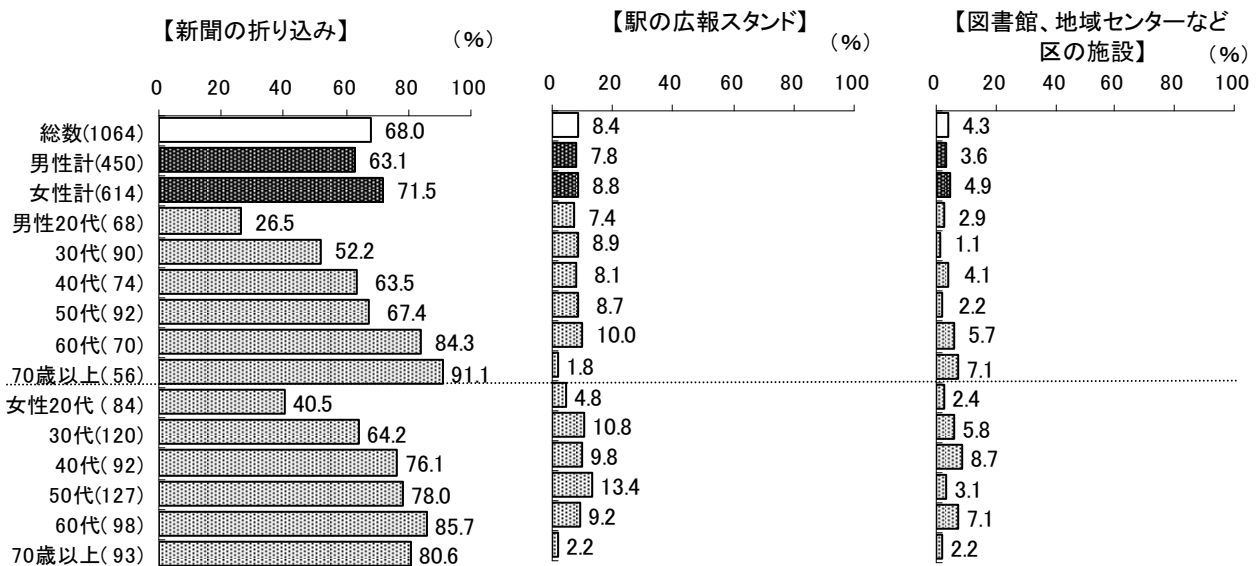


区報をどこで手に入れているか複数回答(3つまで)で尋ねたところ、「新聞の折り込み」が68.0%で突出して高く、それ以外は「駅の情報スタンド」8.4%、「図書館、地域センターなど区の施設」4.3%、「コンビニエンスストア」1.2%などいずれも低い割合となっている。

また、4人に1人が「手に入れていない」(23.6%)と答えた。

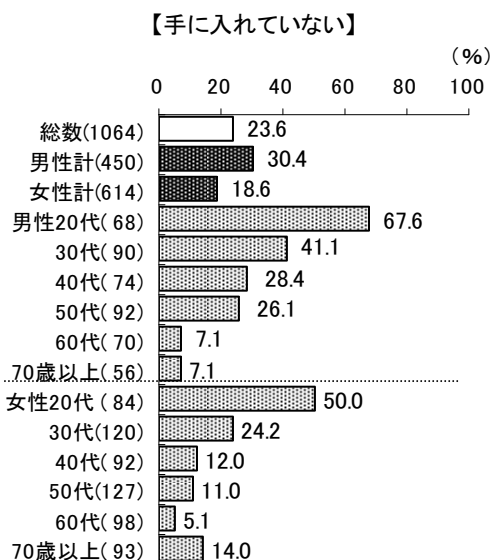
性・年代別でみると、「新聞の折り込み」は、男女ともほぼ年代に比例して高くなる傾向があり、最も高いのは男性70歳以上の91.1%、最も低いのは男性20代の26.5%となっている。

図1-2 区報の入手方法 ー性・年代別ー (上位3項目)

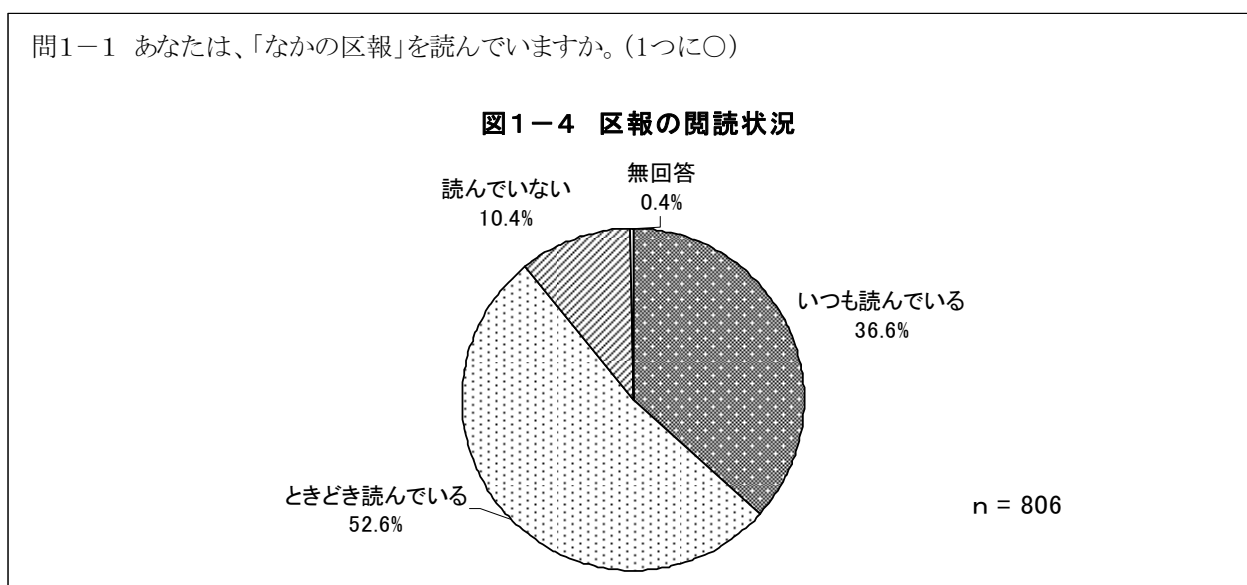


また、「手に入れていない」と答えた人の割合は、男性（30.4%）が女性（18.6%）を上回り、男女とも20代が目立っている。

図1-3 区報の入手方法 一性・年代別一（「手に入れていない」）



(2) 区報の閲読状況……区報を手に入れている人のうち、区報を読んでいるのは9割
【問1で区報を手に入れているとした人に】



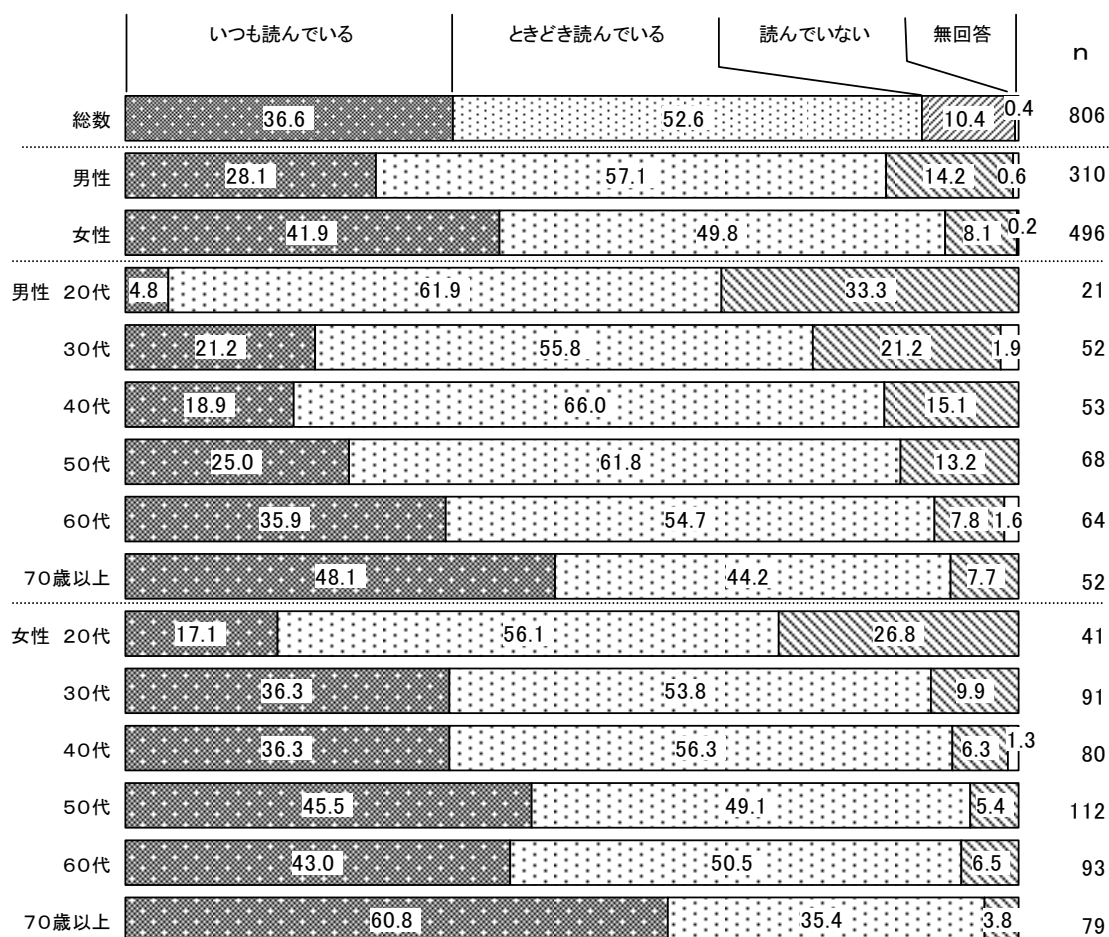
区報を手に入れている人に、区報を読んでいるか尋ねたところ、「いつも読んでいる」（36.6%）と「ときどき読んでいる」（52.6%）を合わせた『読んでいる層』は89.2%となった。

また、『読んでいる層』（719人）は回答者総数（1064人）の67.6%となる。質問文や選択肢は多少異なるが、過去の同様の調査では、総数に対する『読んでいる層』の割合が1994年度は71.0%、1999年度は67.5%であった。

性・年代別でみると、『読んでいる層』は、男性は年代が上がるほど割合が高くなり、70歳以上では92.3%となっている。女性は20代（73.2%）がやや低いが、30代以降はすべての年代で9割を超え、最も高い70歳以上は96.2%となっている。

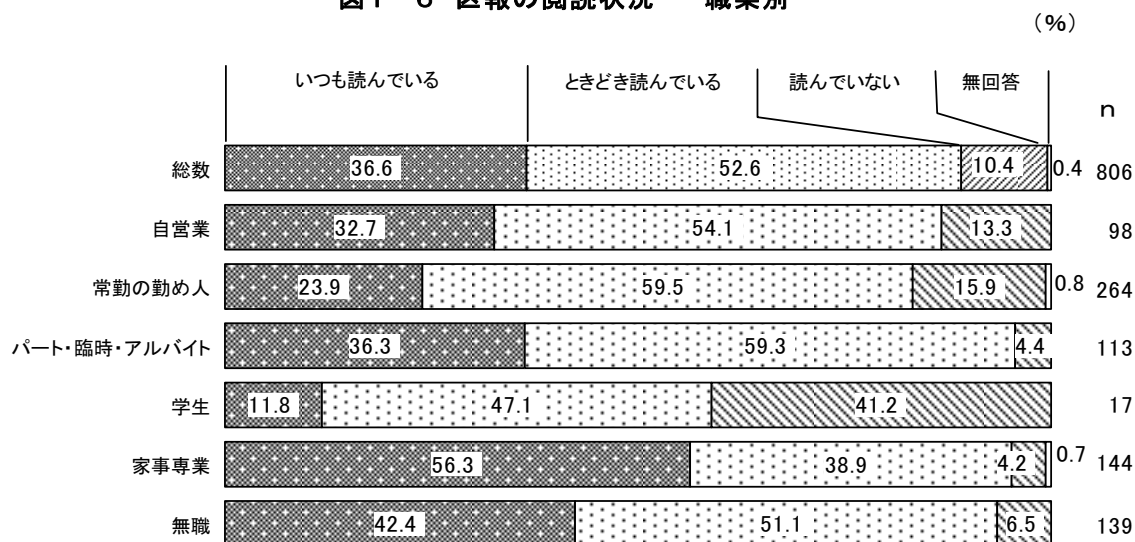
また、「いつも読んでいる」は、年代による差が大きく、女性70歳以上が60.8%であるのに対して男性20代は4.8%と極端に低い。

図1-5 区報の閲読状況 - 性・年代別 -

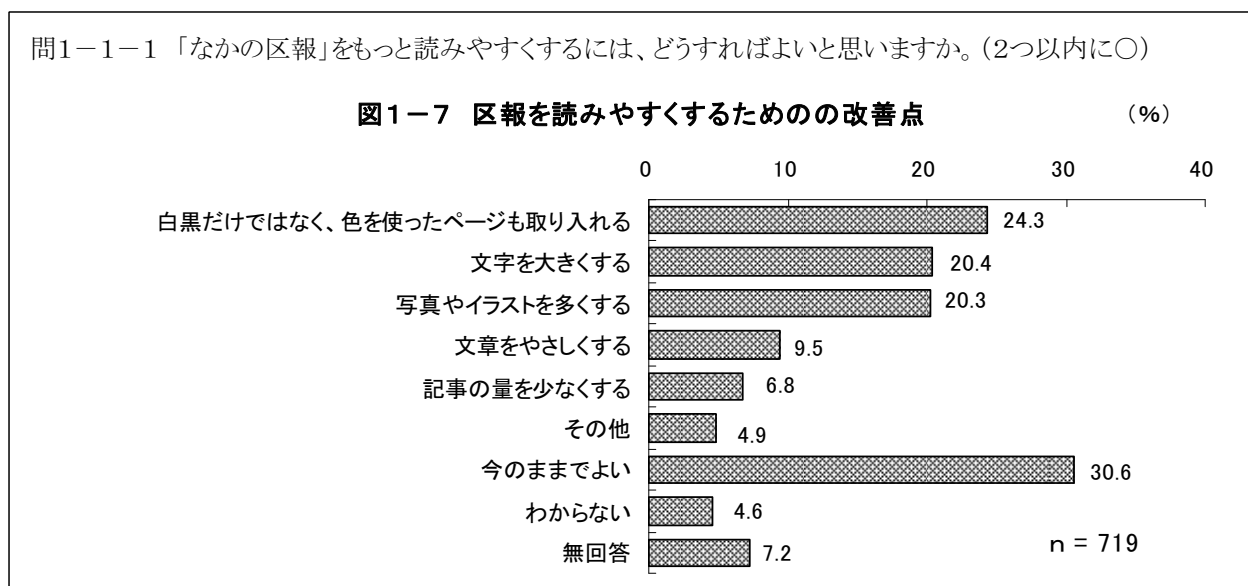


職業別では、『読んでいる層』の割合が高いのはパート・臨時・アルバイト(95.6%)、家事専業(95.2%)、無職(93.5%)、反対に低いのは学生(58.9%)となっている。

図1-6 区報の閲読状況 -職業別-



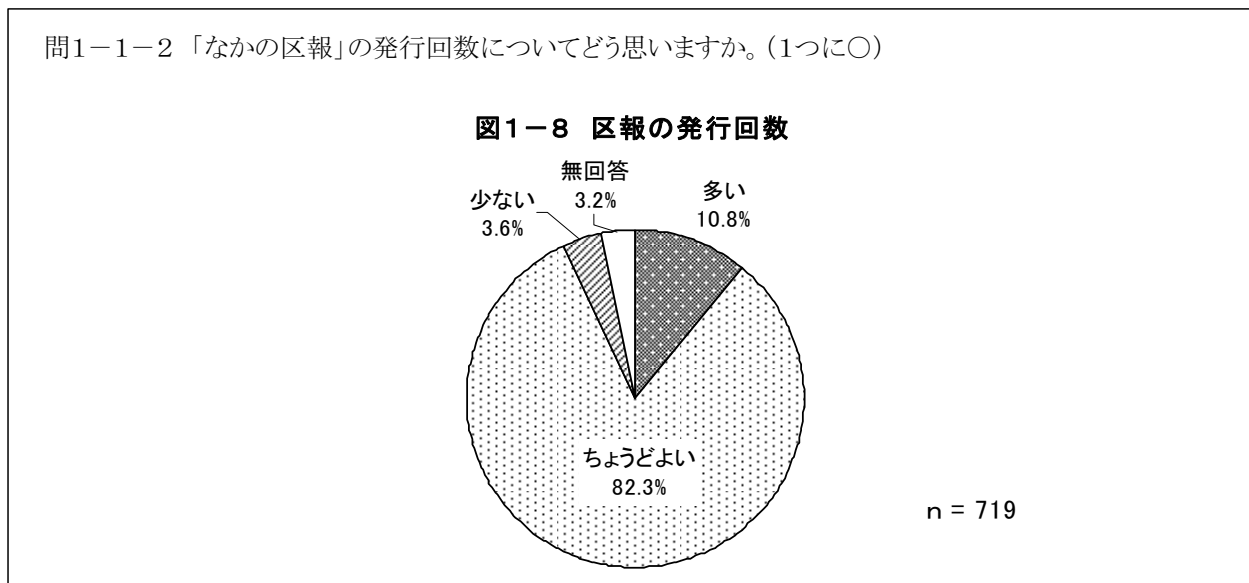
(3) 区報を読みやすくするための改善点……「白黒だけでなく、色を使ったページも取り入れる」がトップ
【問1-1で区報を読んでいると答えた人に】



区報を読んでいる人に「なかの区報」をもっと読みやすくするにはどうすればよいか複数回答(2つまで)で尋ねたところ、「白黒だけでなく、色を使ったページも取り入れる」が24.3%で最も高く、「文字を大きくする」(20.4%)と「写真やイラストを多くする」(20.3%)が続いた。
なお、3割の人が「今のままでよい」と答えている。

(4) 区報の発行回数……「ちょうどよい」が8割強

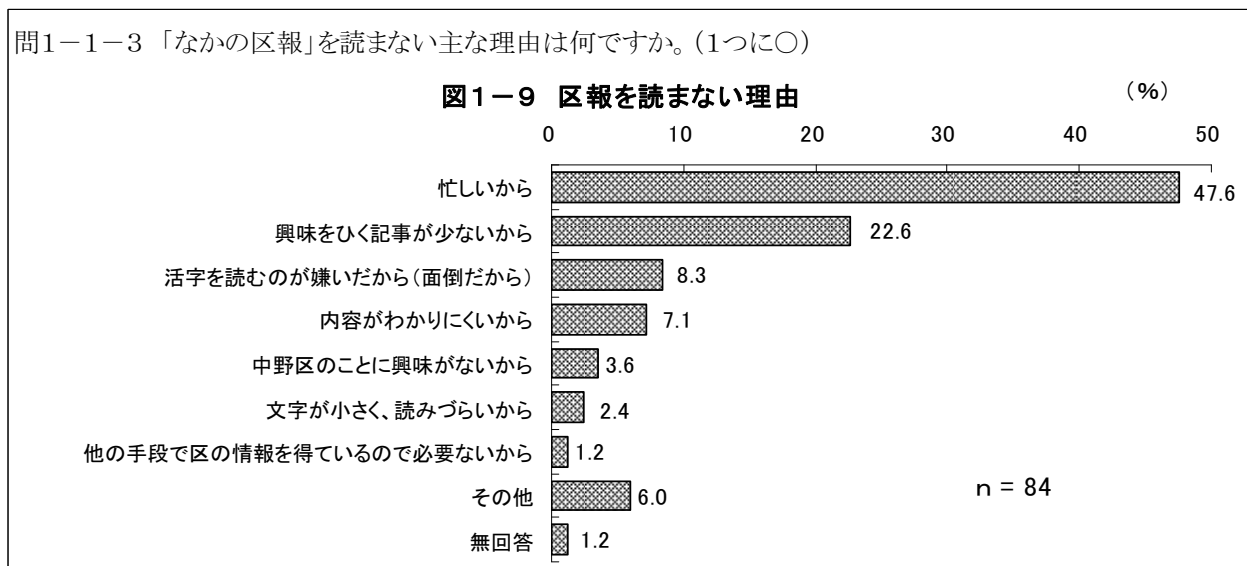
【問1-1で区報を読んでいるとした人に】



区報を読んでいる人に「なかの区報」の発行回数について尋ねたところ、8割を超える人が「ちょうどよい」と答えた。「多い」は10.8%、「少ない」は3.6%だった。

(5) 区報を読まない理由……「忙しいから」が5割弱、「興味をひく記事が少ないから」が2割強

【問1-1で「読んでいない」とした人に】

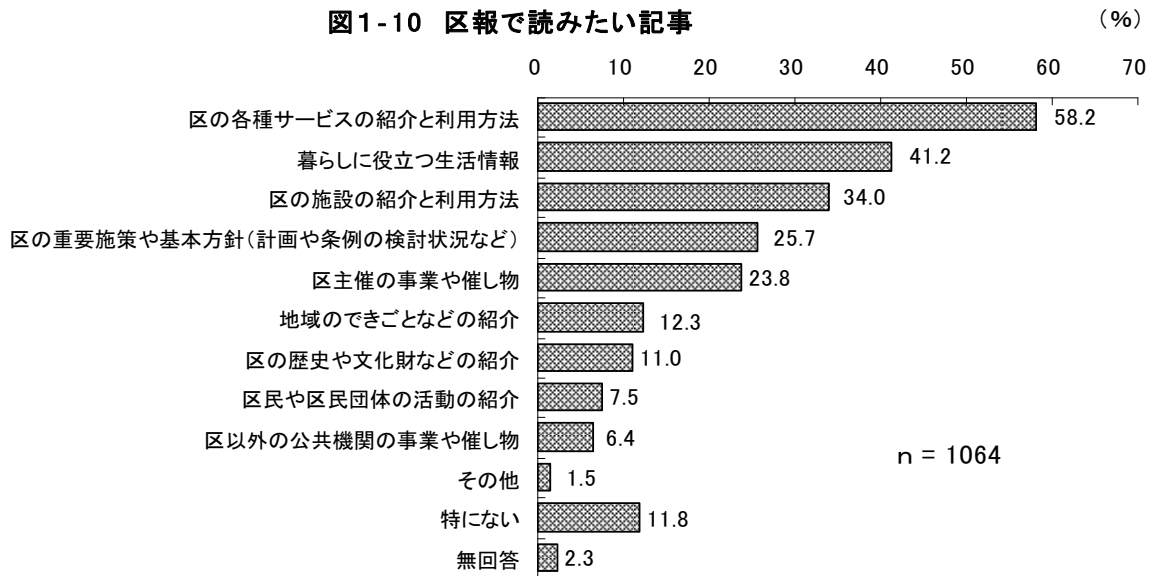


区報を読んでいない人にその理由を尋ねたところ、「忙しいから」(47.6%)が最も高く、「興味をひく記事が少ないから」(22.6%)が続いた。他の理由はいずれも1割に満たなかった。

(6) 区報で読みたい記事……「区の各種サービスの紹介と利用方法」がトップ

問2 「なかの区報」で読みたいと思う記事は何ですか。(3つ以内に○)

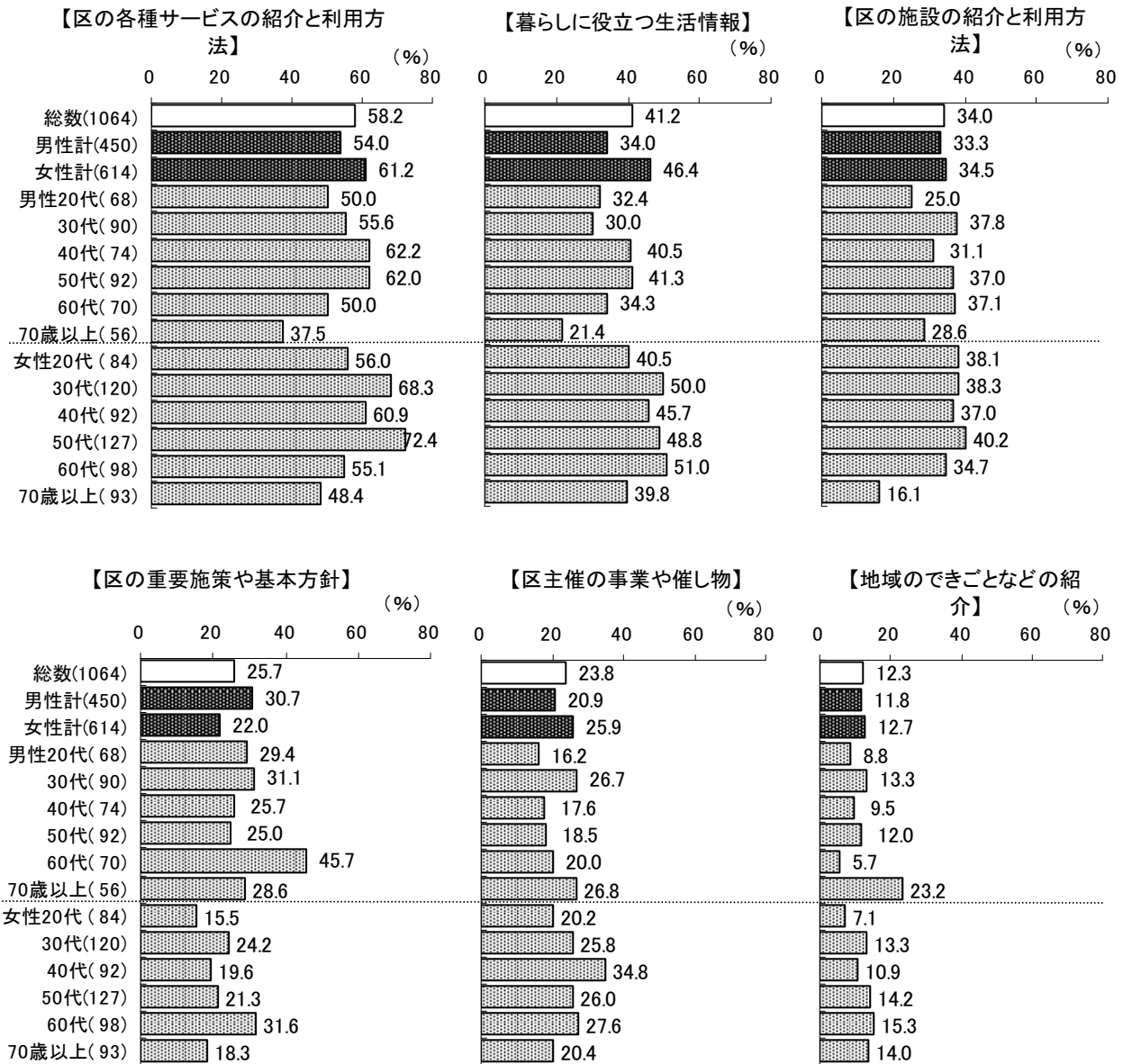
図1-10 区報で読みたい記事



区報で読みたいと思う記事を複数回答で3つまで挙げてもらった。結果は、1位「区の各種サービスの紹介と利用方法」(58.2%)、2位「暮らしに役立つ生活情報」41.2%、3位「区の施設の紹介と利用方法」(34.0%)となった。

性・年代別でみると、「区の各種サービスの紹介と利用方法」がすべての年代でトップとなっている。女性はすべての年代で「暮らしに役立つ生活情報」が2位となっている。男性は20代・40代・50代で「暮らしに役立つ生活情報」が2位であるが、30代は「区の施設の紹介と利用方法」、60代は「区の重要施策や基本方針」がそれぞれ2位で、70歳以上は「区の施設の紹介と利用方法」と「区の重要施策や基本方針」が同率2位となっている。

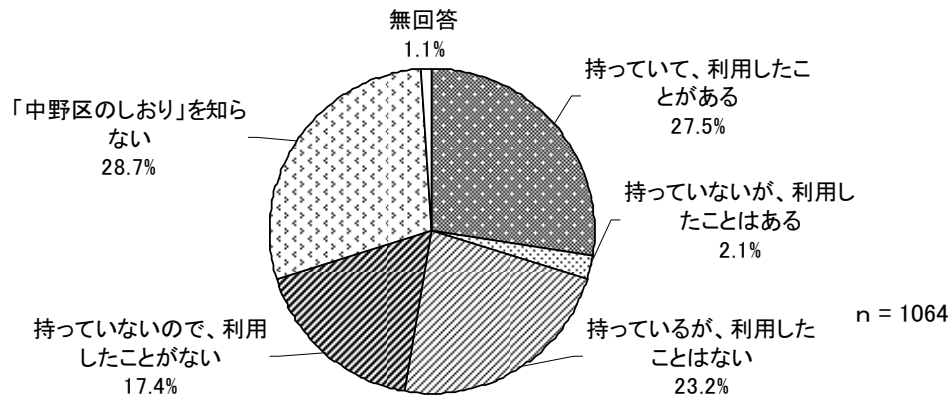
図1-11 区報で読みたい記事 -性・年代別- (上位6項目)



(7)「中野区のしおり」の利用経験……利用したことがある人は3割

問3 あなたは、区の便利帳である「中野区のしおり」(区のサービスや相談先などを紹介した冊子)を利用したことがありますか。(1つに○)

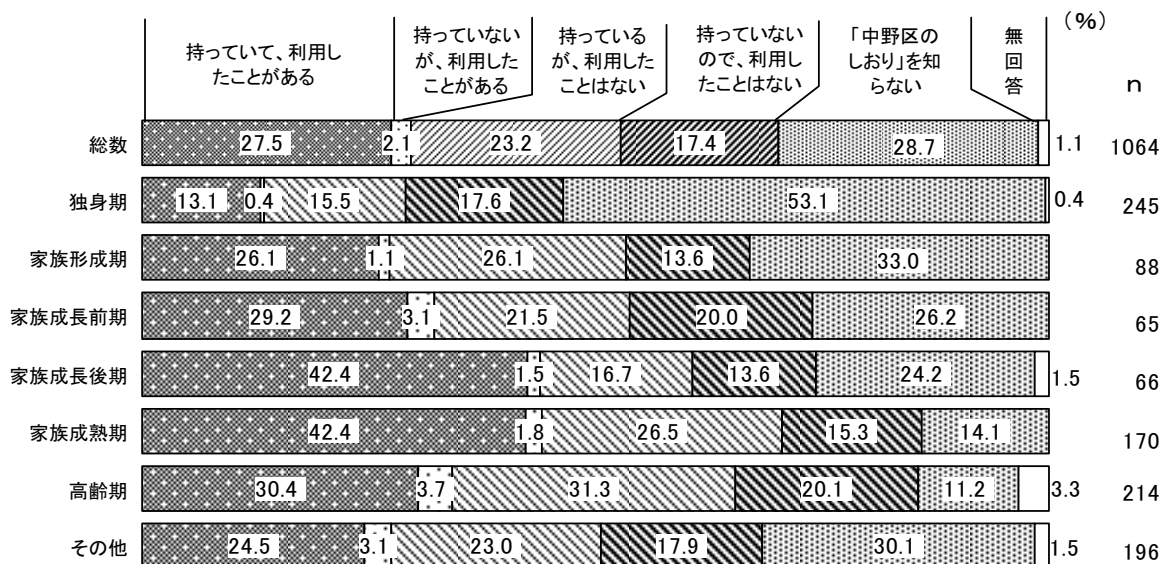
図1-12 「中野区しおり」の利用経験



「中野区のしおり」を利用したことがあるか尋ねたところ、「持っている、利用したことがある」(27.5%)と「持っていないが、利用したことはある」(2.1%)を合わせた『利用したことがある層』は29.6%であった。また、「持っていないが、利用したことはある」(2.1%)、「持っていないので、利用したことはない」(17.4%)、「中野区のしおりを知らない」(28.7%)を合わせると、48.2%となり、半数近い人が「中野区のしおり」を持っていない結果となった。

ライフステージ別では、『利用したことがある層』は家族成熟期(44.2%)と家族成長後期(43.9%)で高く、独身期(13.5%)で低い。また、独身期は「中野区のしおり」を知らない人が5割を超えている。

図1-13 「中野区のしおり」の利用経験 - ライフステージ別 -



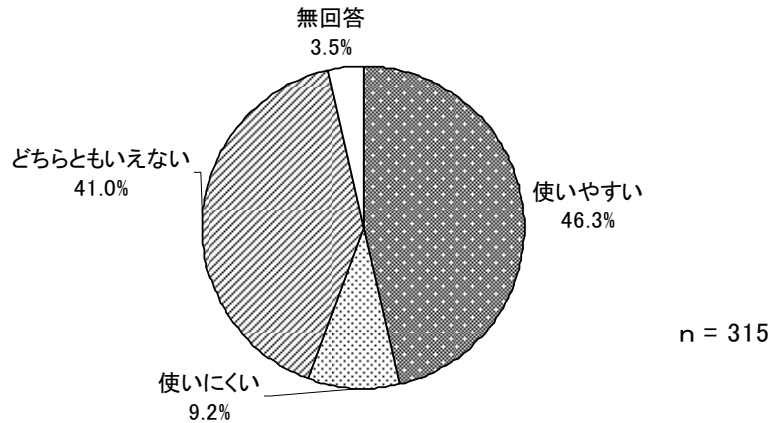
独身期：20・30代の独身者 家族形成期：20代・30代で子どもがいない夫婦 一番上の子どもが小学校入学前
 家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生 家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生 家族成熟期：本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 高齢期：65歳以上 その他：40～64歳で、独身か夫婦のみ

(8)「中野区のしおり」の使いやすさ……「使いにくい」は1割弱

【問3で利用したことがあると答えた人に】

問3-1 使いやすさはいかがですか。(1つに○)

図1-14 「中野区のしおり」の使いやすさ



「中野区のしおり」を利用したことがある人に使いやすさを尋ねたところ、「使いやすい」が46.3%、「使いにくい」が9.2%、「どちらともいえない」が41.0%だった。

(9)「中野区のしおり」の使いにくい点……「知りたいことがどこに載っているか見つけづらい」が半数

【問3-1で「使いにくい」とした人に】

問3-1-1 使いにくいと思うのはどのようなところですか。(いくつでも○)

		n = 29
1	知りたいことが、どこに載っているか見つけづらい	15人
2	知りたいことが載っていない	4人
3	文章等が難しく、掲載内容がわかりづらい	1人
4	掲載内容が簡単すぎて、用を足さない	7人
5	字が小さい	2人
6	その他(具体的に)	7人
	無回答	1人

※この設問は、基数(回答者数)が少ないため、百分比ではなく、人数で示す

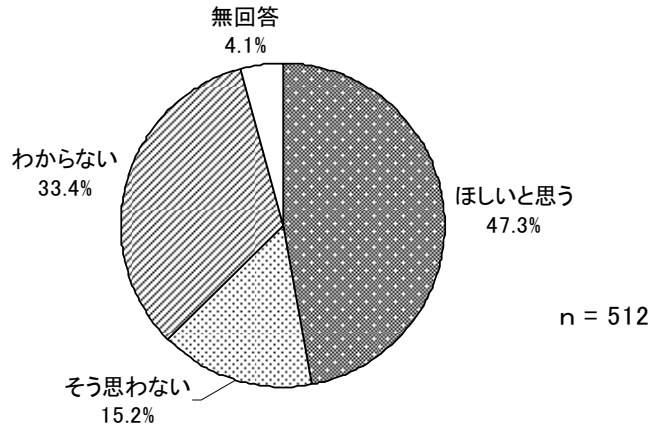
「中野区のしおり」を利用したことがある人で使いにくいと答えた人(29人)に、使いにくいと思うところを複数回答(いくつでも)で尋ねたところ、半数の15人が「知りたいことがどこに載っているか見つけづらい」と答えた。

「その他」の意見としては、「古いものしかないため内容が現在も正しいかわからない。」「内容が改訂されていても改訂版が出たのもわからない。」「見出しに具体的な項目を入れてほしい。」「杉並区との境に住んでいるので医療情報など近隣区の医院も紹介してほしい。」「中野区の地図が載っていない。各施設の分布マップ、兼地図があるといい。」などが挙げられている。

(10)「中野区のしおり」の入手意向……「ほしいと思う」が半数近く
 【問3で「中野区のしおり」を持っていないと答えた人に】

問3-2 あなたは、区の便利帳をほしいと思いますか。(1つに○)

図1-15 「中野区のしおり」の入手意向

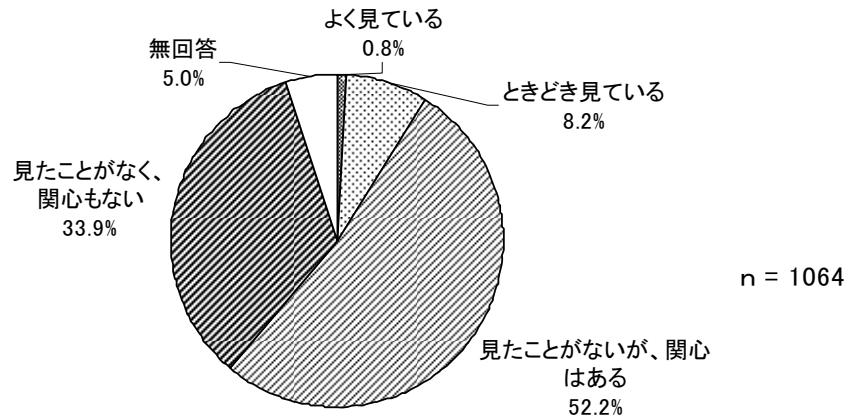


「中野区のしおり」を持っていないと答えた人に、区の便利帳がほしいと思うか尋ねたところ、「ほしいと思う」が半数近く、「そう思わない」は1割半ばであった。

(11)リニューアル後のホームページの閲覧状況……見たことがある人は1割

問4 中野区のホームページは、今年4月1日にリニューアルしました。あなたはリニューアル後のホームページをご覧になったことがありますか。(1つに○)

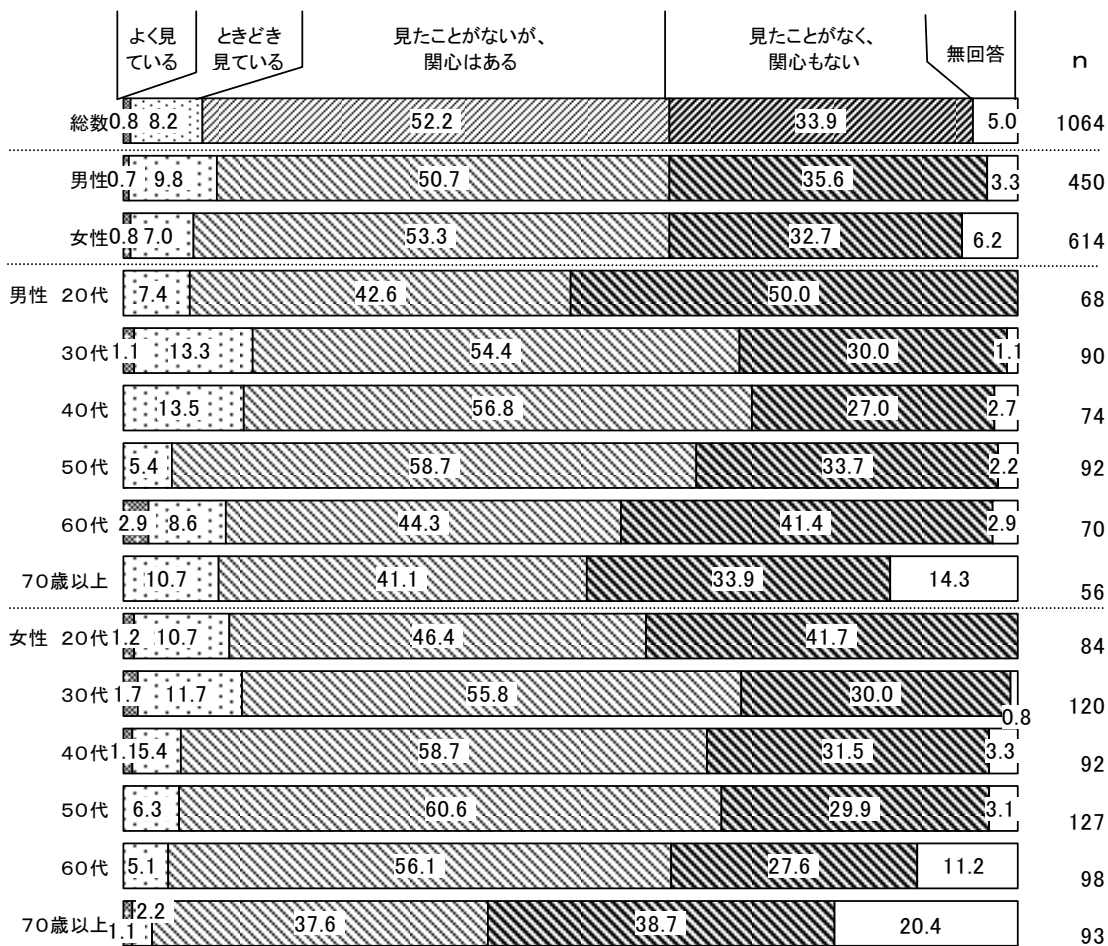
図1-16 ホームページの閲覧状況



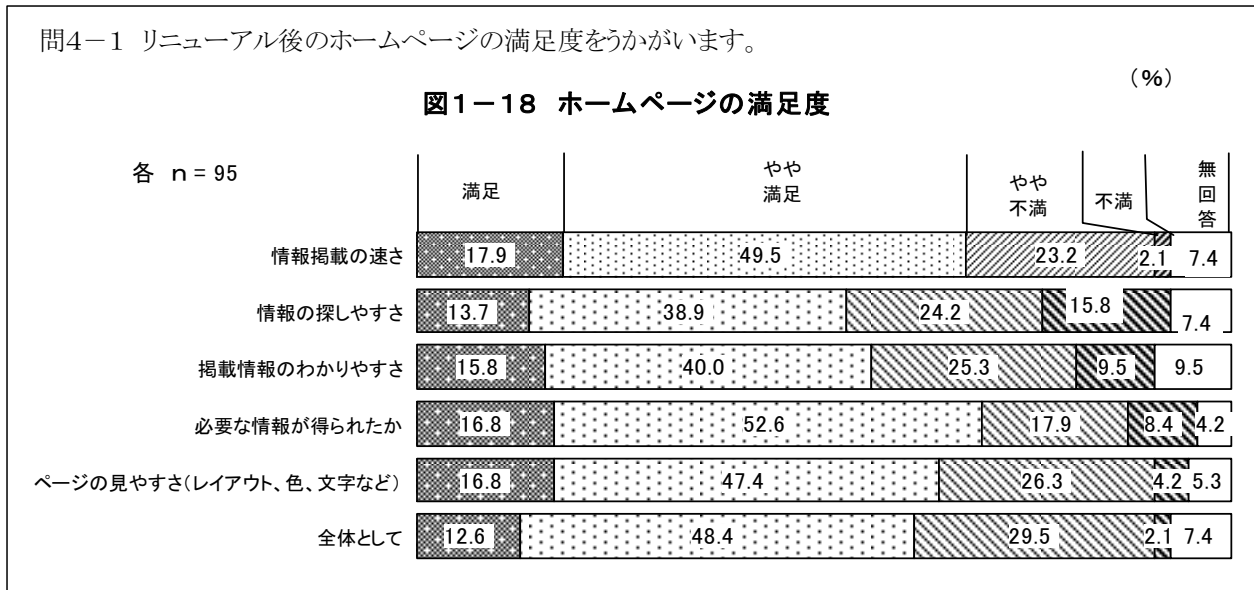
リニューアル後のホームページの閲覧状況は、「よく見ている」(0.8%)と「ときどき見ている」(8.2%)を合わせた『見ている層』はほぼ1割で、「見たことがないが、関心はある」は5割強、「見たことがなく、関心もない」が3割強であった。

性・年代別では、『見ている層』が高いのは、男性では30代(14.4%)と40代(13.5%)、女性では20代(11.9%)と30代(13.4%)となっている。また、男性の60代(11.5%)、70歳以上(10.7%)は『見ている層』が比較的高いが、女性は60代が5.1%、70歳以上が3.3%と低い。

図1-17 リニューアル後のホームページの閲覧状況 - 性・年代別 - (%)



(12)ホームページの満足度……満足層(「満足」+「やや満足」)は6割
【問4で「よく見ている」「ときどき見ている」とした人に】



リニューアル後のホームページを見たことがある人に「情報掲載の速さ」など、6項目について満足度を尋ねた。「満足」と「やや満足」を合わせたが『満足層』が最も高かったのは「必要な情報がえられたか」の69.4%、一方、『不満層』(「不満」+「やや不満」)が最も高かったのは「情報の探しやすさ」の40.0%であった。

「全体として」では、『満足層』が61.0%、『不満層』が31.6%であった。

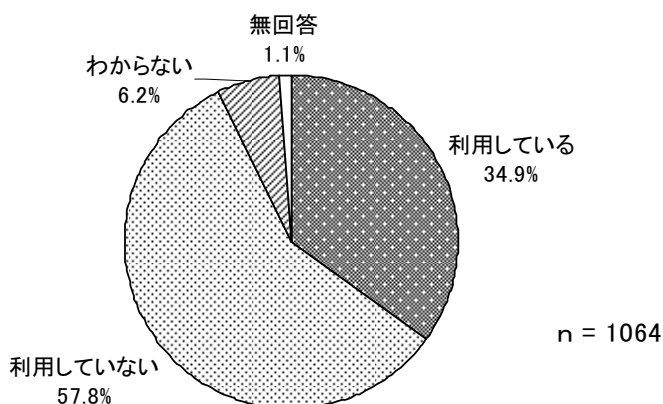
また、中野区ホームページについて記述式で意見を求めたところ、以下のようなことが挙げられた。

- ・見づらい。(30代・女性)
- ・地域情報が少ない。もっと多くのお店や施設を紹介してほしい。(20代・男性)
- ・他区のホームページには動画があったり、見ていて楽しい。もう少し細かい情報があればと思う。
(50代・女性)
- ・情報量が最低しかなくおもしろみに欠けていて地域情報のサイト(一般の人が作っている)の方が必要情報が載っている。トップページは見やすいと思うが各ページにいくと見にくい。イラストや整然とした表を作って見やすくした方がいい。区民の立場にたったら、もう少し技術をアップしたら如何でしょう。各ページのレイアウトなら私でもできるレベルです。(40代・女性)

(13)ケーブルテレビの利用の有無……「利用している」と答えた人は3割半ば

問5 あなたは、ケーブルテレビを利用していますか？(1つに○)

図1-19 ケーブルテレビの利用の有無



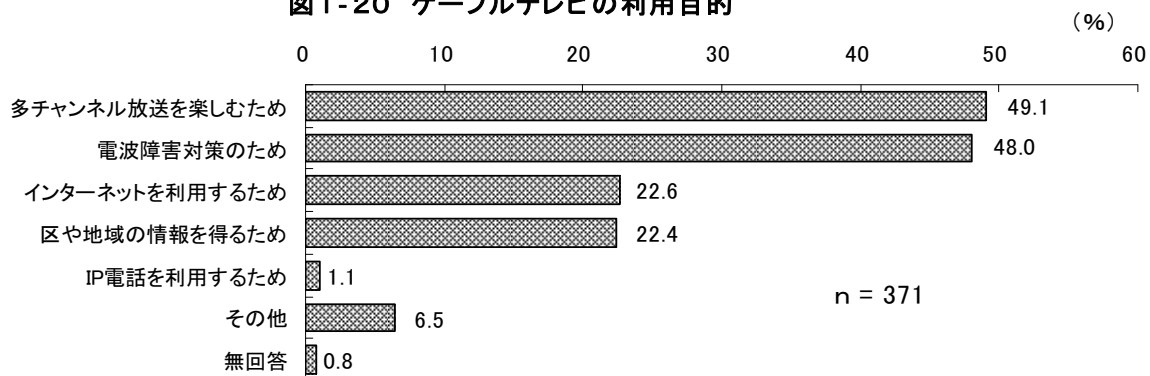
ケーブルテレビを利用しているか尋ねたところ、「利用している」と答えた人は34.9% (*)、「利用していない」は57.8%、「わからない」は6.2%だった。

(*注) 実際の加入者数とは異なる。ちなみに中野区総世帯数 169,550 世帯に対する(株)シティテレビ中野の加入世帯数(114,631 世帯)の割合は、67.2%(2005年10月現在)。この他、テレビ電波受診障害の原因となるビルなどの建築主によるケーブルテレビ(有線放送)利用世帯が、約 15,200 世帯あると思われる。調査結果と実際の数値が大幅に違うのは、(株)シティテレビ中野や上記の建築主が電波受診障害対策のために行っているアナログ地上波・1~12チャンネルの放送を、ケーブルテレビと認識していない人が多いためと推測される。

(14)ケーブルテレビの利用目的……「多チャンネル放送を楽しむため」と「電波障害対策のため」が半数近く【問5で「利用している」とした人に】

問5-1 ケーブルテレビを利用する目的は何ですか？(いくつでも○)

図1-20 ケーブルテレビの利用目的



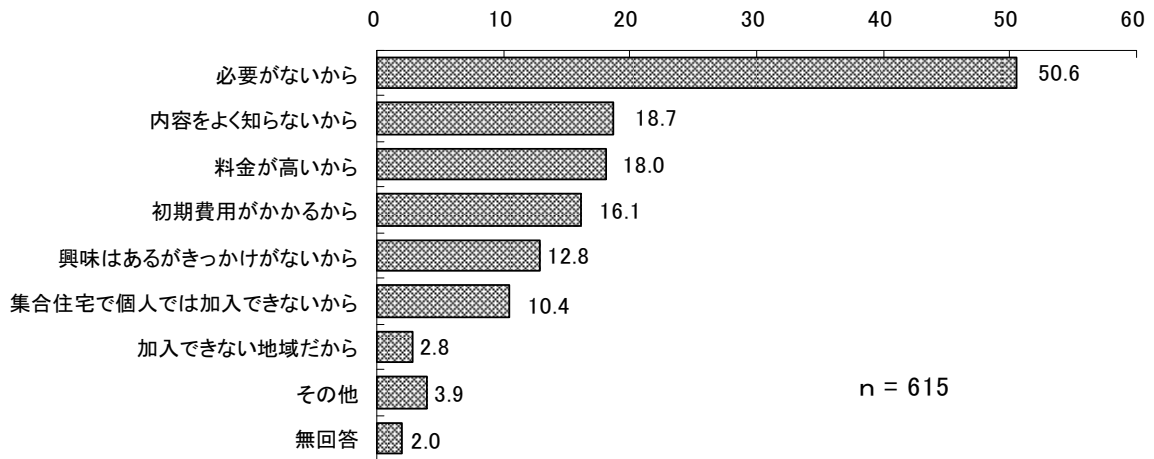
ケーブルテレビを利用していると答えた人に利用目的を複数回答(いくつでも)で尋ねたところ、「多チャンネル放送を楽しむため」(49.1%)と「電波障害対策のため」(48.0%)が、それぞれ半数近い割合となった。「インターネットを利用するため」は22.6%、「区や地域の情報を得るため」は22.4%であった。

(15)ケーブルテレビを利用しない理由……「必要がないから」が半数
 【問5で「利用していない」とした人に】

問5-2 ケーブルテレビを利用しない主な理由は何ですか。(2つ以内に○)

図1-21 ケーブルテレビを利用しない理由

(%)

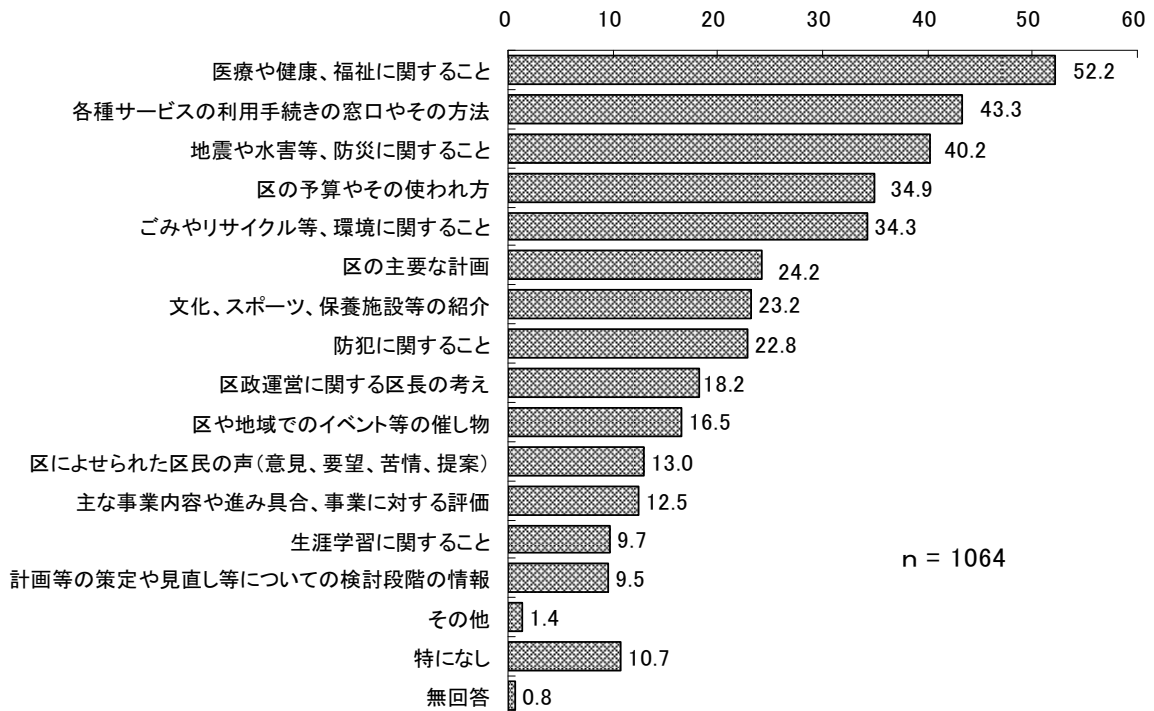


ケーブルテレビを利用していないと答えた人にその理由を尋ねたところ、「必要がないから」が50.6%で最も高く、「内容をよく知らないから」(18.7%)、「料金が安いから」(18.0%)が続いた。

(16)知りたい区政情報……「医療や健康、福祉に関すること」がトップ

問6 あなたが、日頃、区政について知りたいと思っていることはどのようなことですか。(5つ以内に○)

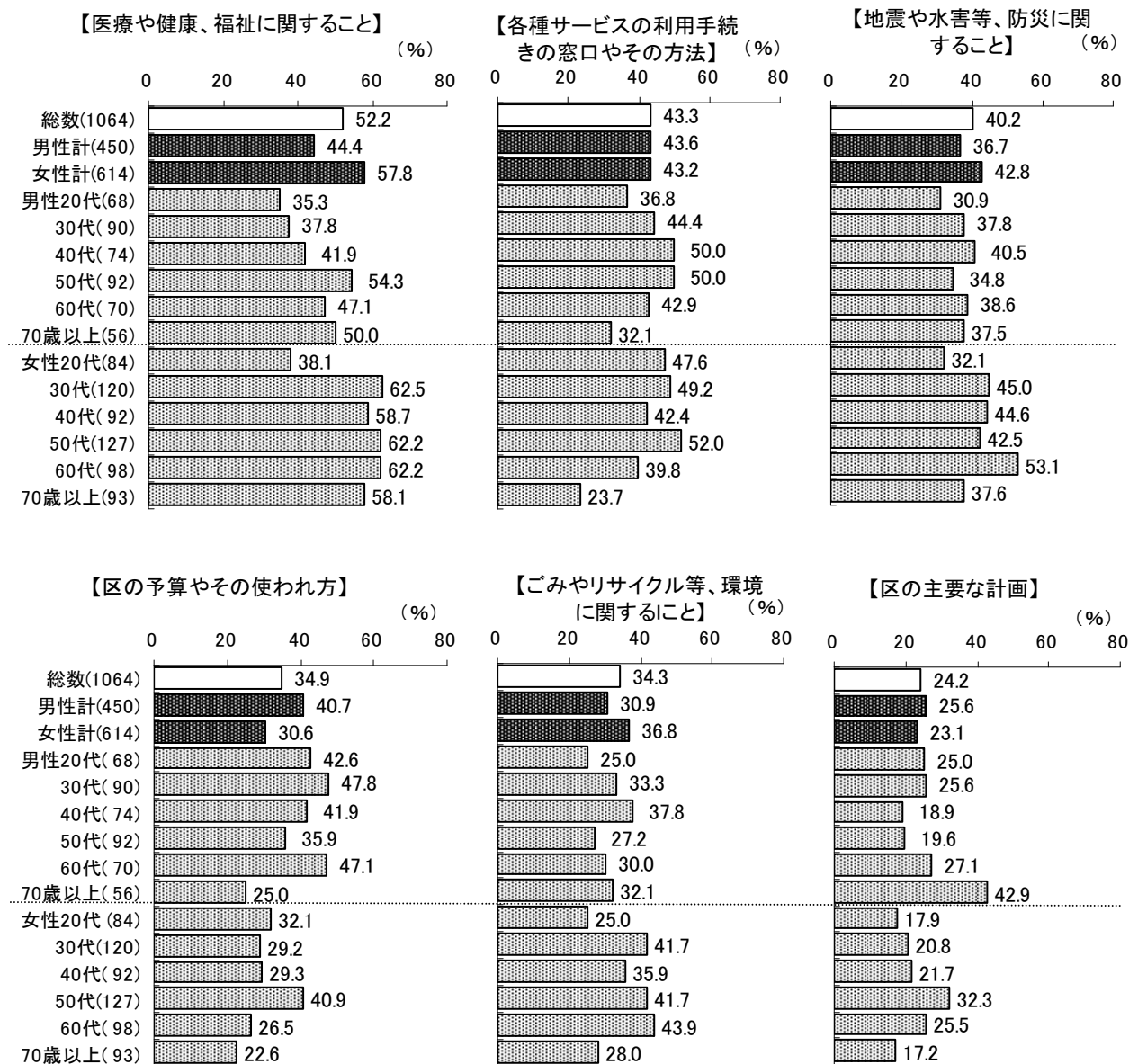
図1-22 知りたい区政情報



区政について知りたいと思うことを複数回答（5つまで）で挙げてもらった。結果は、1位「医療や健康、福祉に関すること」52.2%、2位「各種サービスの利用手続きの窓口やその方法」43.3%、3位「地震や水害等、防災に関すること」40.2%であった。

性・年代別でみると、男女とも1位は「医療や健康、福祉に関すること」(各44.4%、57.8%)で2位が「各種サービスの利用手続きの窓口やその方法」(各43.6%、43.2%)であるが、3位は男性が「区の予算やその使われ方」(40.7%)、女性が「地震や水害等、防災に関すること」(42.8%)であった。「区の主要な計画」は全体で6位であるが、男性70歳以上(42.9%)では2位となっている。

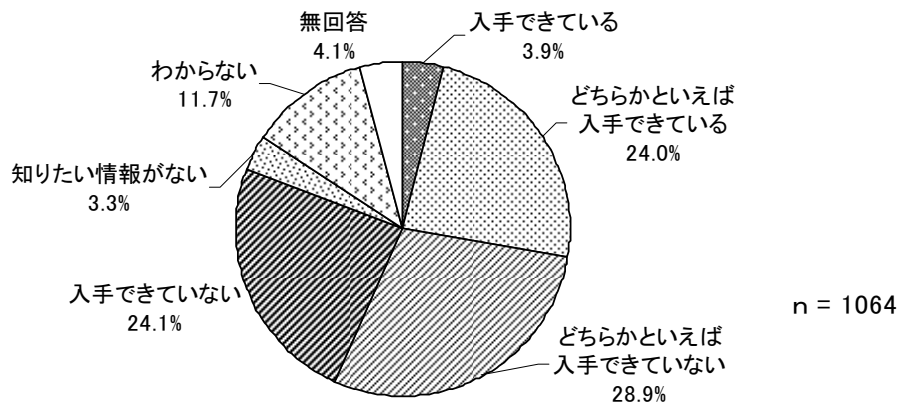
図1-23 知りたい区政情報 -性・年代別- (上位6項目)



(17) 区政情報の入手状況……「入手できている」+「どちらかといえば入手できている」は3割弱

問7 あなたは、それらの情報を入手できていますか。(1つに○)

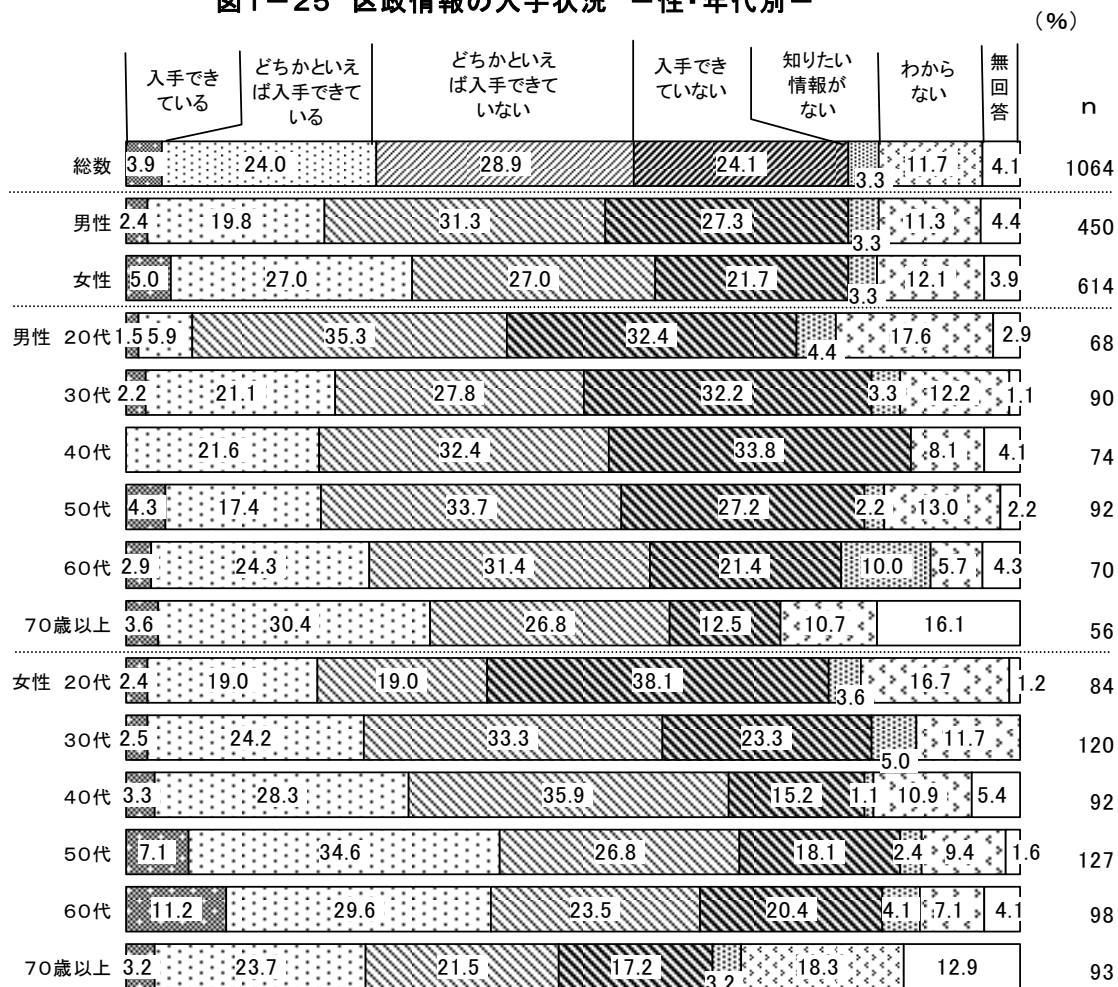
図1-24 区政情報の入手状況



知りたい区政情報を入手できているか尋ねたところ、「入手できている」(3.9%)と「どちらかといえば入手できている」(24.0%)を合わせた『入手できている層』は27.9%であった。一方、「入手できていない」(24.1%)と「どちらかといえば入手できていない」(28.9%)を合わせた『入手できていない層』は53.0%だった。

性・年代別でみると、『入手できている層』が男性は 22.2%であるのに対し、女性は 32.0%でやや開きがある。『入手できている層』が高いのは、女性 50 代 (41.7%)・60 代 (40.8%)、反対に低いのは男性 20 代 (7.4%) となっている。

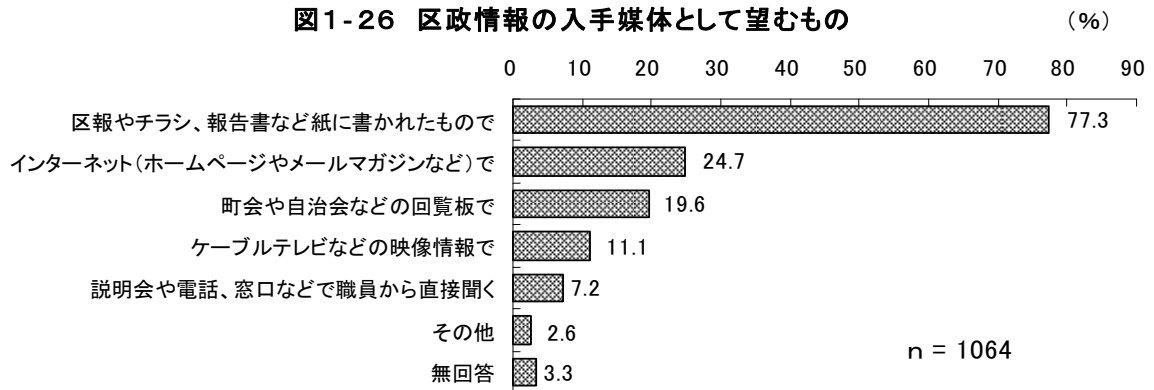
図1-25 区政情報の入手状況 - 性・年代別 -



(18) 区政情報の入手媒体として望むもの……「区報やチラシ、報告書など紙に書かれたもので」が8割弱

問8 あなたは、区の情報を主にどのような方法で入手したいと思いますか。(2つ以内に○)

図1-26 区政情報の入手媒体として望むもの



区の情報をどのような方法で入手したいか複数回答(2つまで)で尋ねた。結果は、「区報やチラシ、報告書など紙に書かれたもので」が77.3%で突出して高く、「インターネット(ホームページやメールマガジンなど)で」24.7%、「町会や自治会などの回覧板で」19.6%が続いた。

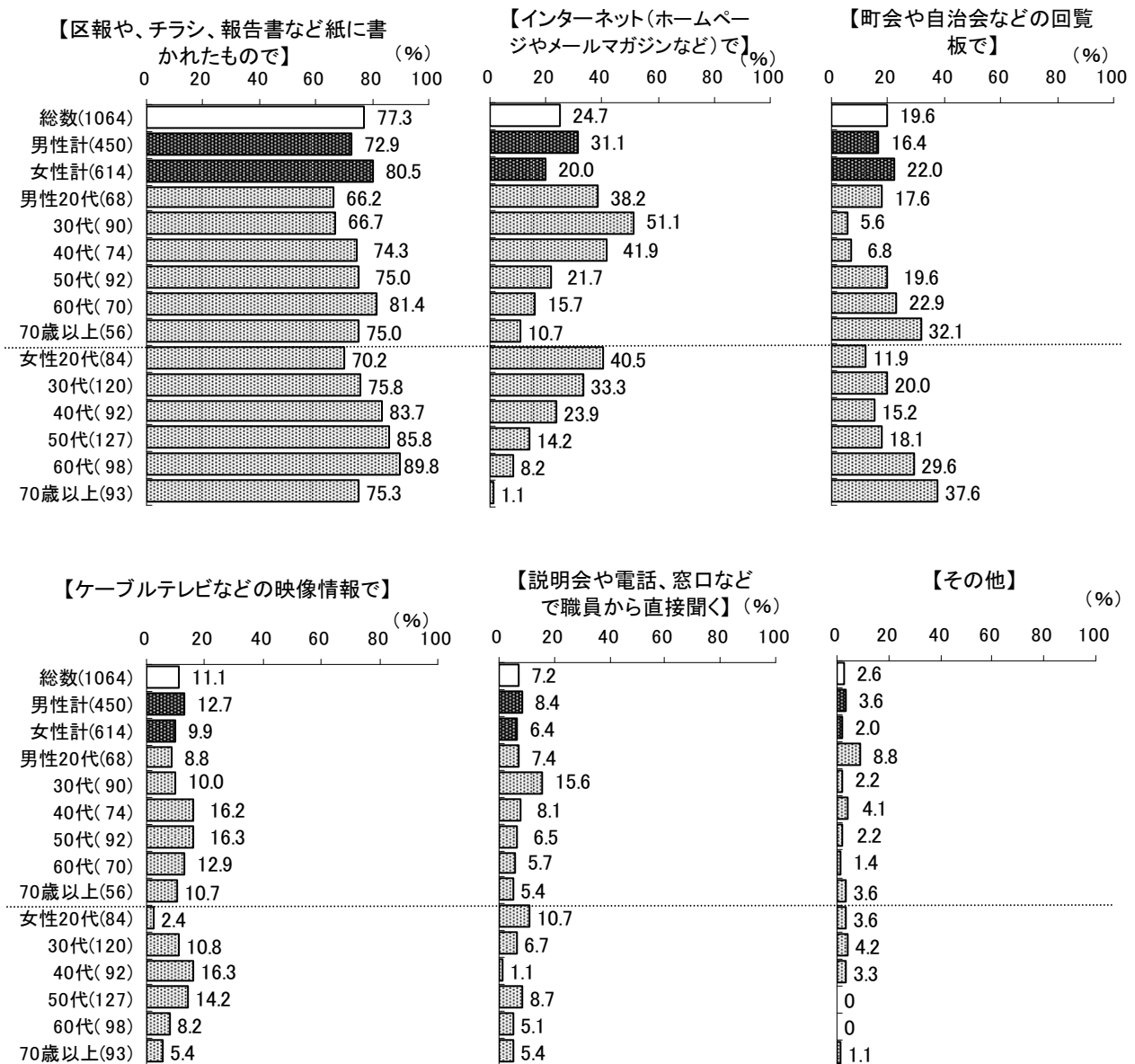
性・年代別では、「区報やチラシ、報告書など紙に書かれたもので」はすべての年代で割合が高く、最も高い女性60代では89.8%となっている。

「インターネット（ホームページやメールマガジンなど）で」は男性31.1%、女性20.0%となっており、男女間で開きがある。また、年代による差も大きく、若い世代ほど支持率が高い。

「町会や自治会などの回覧板で」は男女とも70歳以上（各32.1%、37.6%）が他の年代に比べ、高い割合となっている。

「ケーブルテレビなどの映像情報で」は、男女とも40代・50代が他の年代に比べ高い。

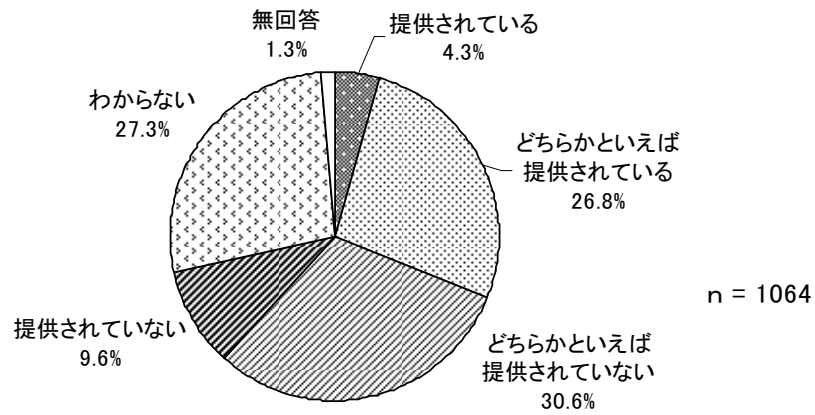
図1-27 区政情報の入手媒体として望むもの ー性・年代別ー



(19) 区政情報の提供に対する評価……「提供されている」+「どちらかといえば提供されている」は3割

問9 あなたは、区の情報が、区民に十分に提供されていると思いますか。(1つに○)

図1-28 区政情報の提供に対する評価



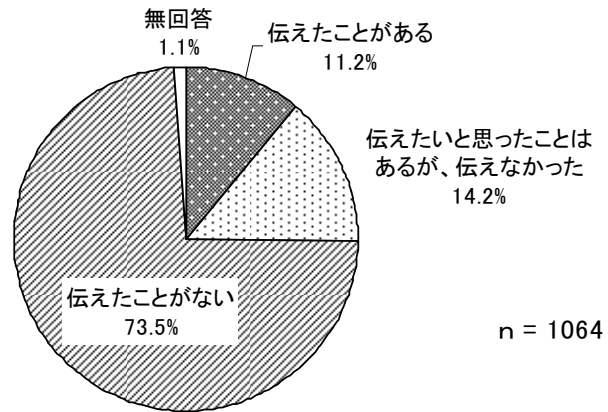
区の情報が区民に十分に提供されていると思うか尋ねたところ、「提供されている」(4.3%)と「どちらかといえば提供されている」(26.8%)を合わせた『提供されている層』は31.1%、「提供されていない」(9.6%)と「どちらかといえば提供されていない」(30.6%)を合わせた『提供されていない層』は40.2%であった。

2. 区政への参加と自治

(1) 区に意見や要望などを伝えた経験………伝えたことがある人は1割

問10 あなたは区に意見や要望、苦情などを伝えたことがありますか。(1つに○)

図2-1 区に意見や要望などを伝えた経験



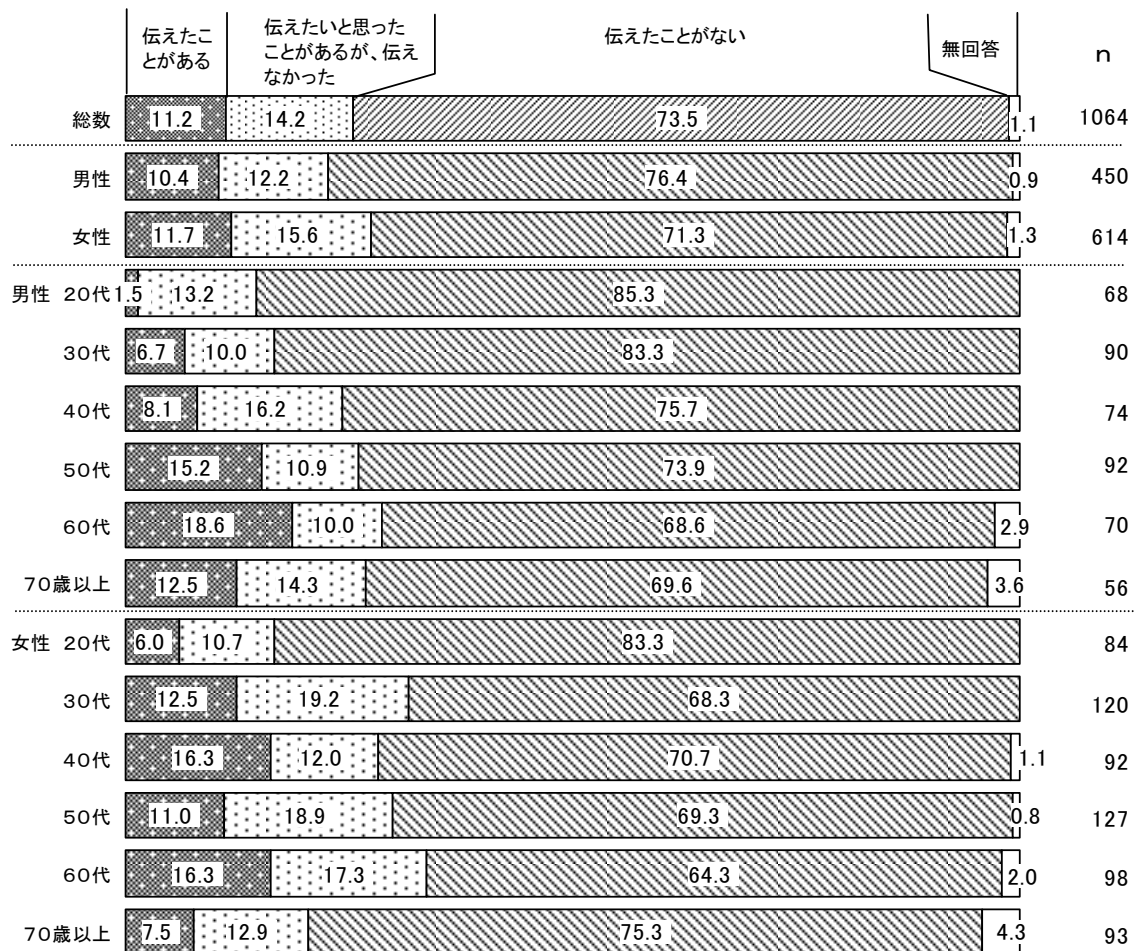
区に意見や要望、苦情などを伝えたことがあるか尋ねたところ、「伝えたことがある」は11.2%、「伝えたいと思ったことはあるが、伝えなかった」は14.2%、「伝えたことがない」は73.5%だった。

性・年代別でみると、「伝えたことがある」は男女間ではほとんど差はないが、年代間では差異がみられ、最も高い男性60代が18.6%であるのに対し、最も低い男性20代は1.5%と極めて低い。

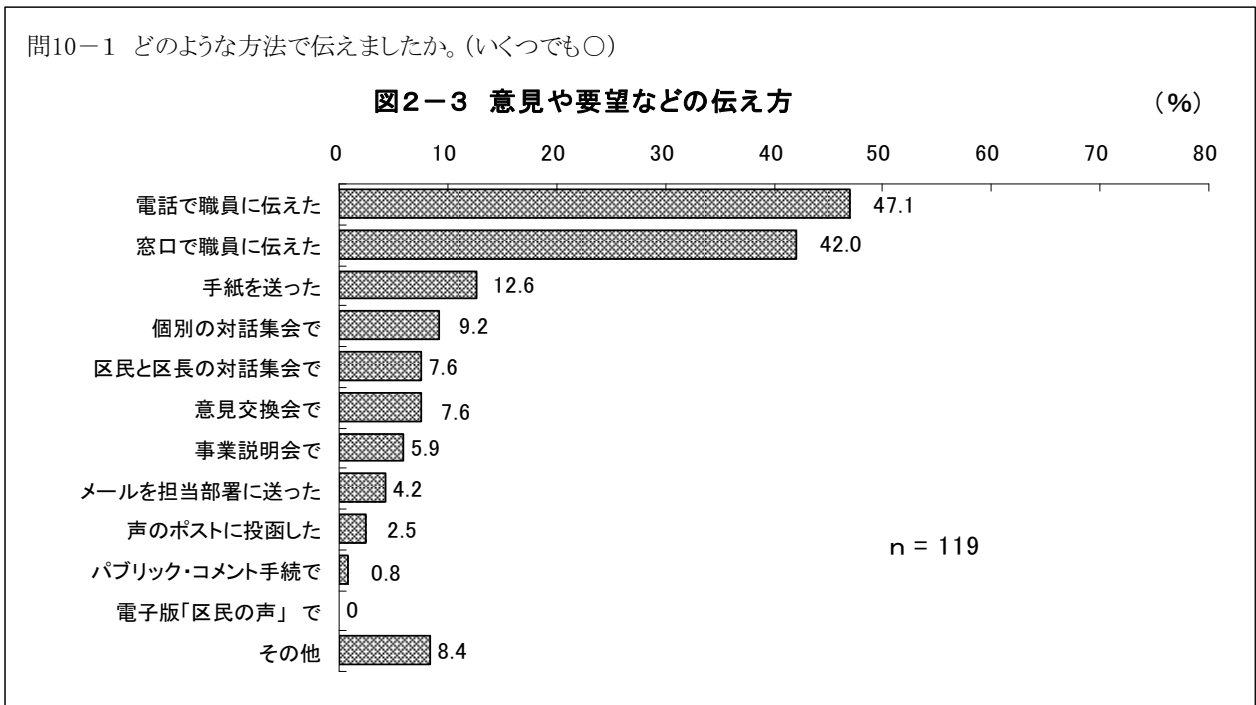
「伝えたいと思ったことはあるが、伝えなかった」は女性が男性をやや上回っている。年代間では大きな差はないが、女性30代(19.2%)・50代(18.9%)・60代(17.3%)、男性40代(16.2%)でやや高い。

なお、男性50代・60代、女性40代以外は、「伝えたいと思ったことはあるが、伝えなかった」が「伝えたことがある」を上回っている。

図2-2 区に意見や要望などを伝えた経験 一性・年代別一 (%)

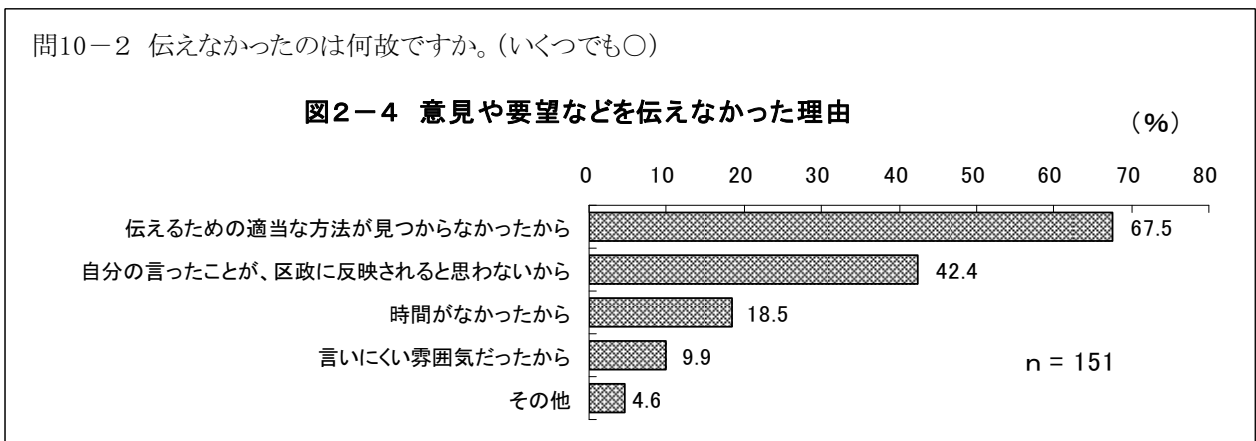


(2)意見や要望などの伝え方……「電話で職員に伝えた」、「窓口で職員に伝えた」がとびぬけて高い
【問 10 で「伝えたことがある」とした人に】



区に意見や要望などを伝えたことがある人に、どのような方法で伝えたかを複数回答（いくつでも）で尋ねた。結果は、「電話で職員に伝えた」（47.1％）と「窓口で職員に伝えた」（42.0％）が4割を超えて高く、「手紙を送った」（12.6％）が続いた。他はいずれも1割に満たなかった。

(3)意見や要望などを伝えなかった理由……「適切な方法が見つからなかったから」が67.5%でトップ
【問 10 で「伝えたいと思ったことはあるが、伝えなかった」とした人に】

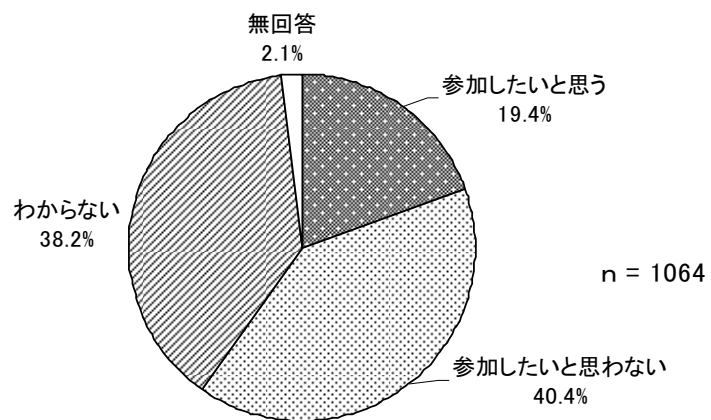


「意見や要望などを伝えたいと思ったことはあるが、伝えなかった」と答えた人にその理由を複数回答（いくつでも）で尋ねた。結果は、「適切な方法が見つからなかったから」（67.5％）と「区政に反映されると思わないから」（42.4％）の割合が高かった。

(4) 区政への参加意向……「参加したいと思う」は2割

問11 あなたは、区政に参加したいと思えますか。

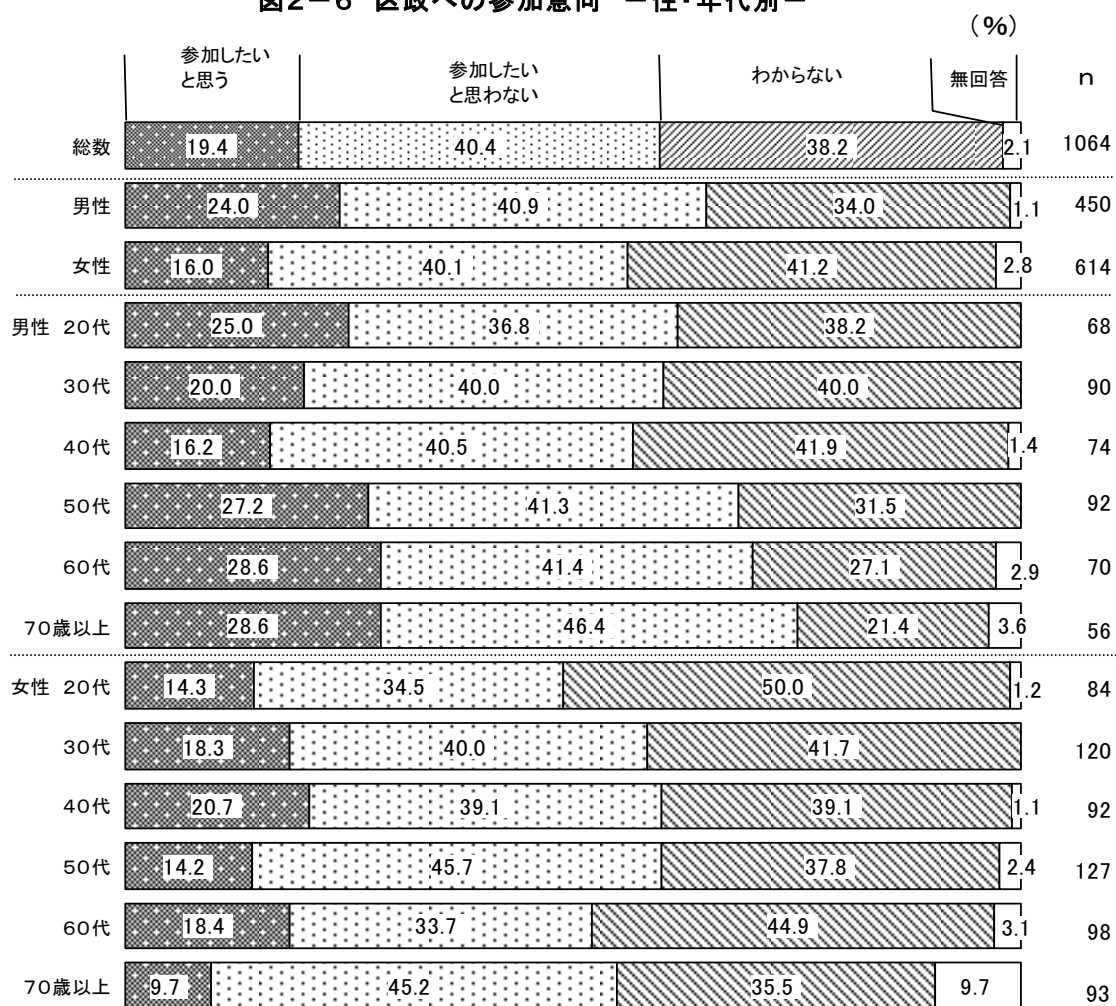
図2-5 区政への参加意向



区政に参加したいと思うか尋ねたところ、「参加したいと思う」が19.4%、「参加したいと思わない」が40.4%、「わからない」が38.2%であった。

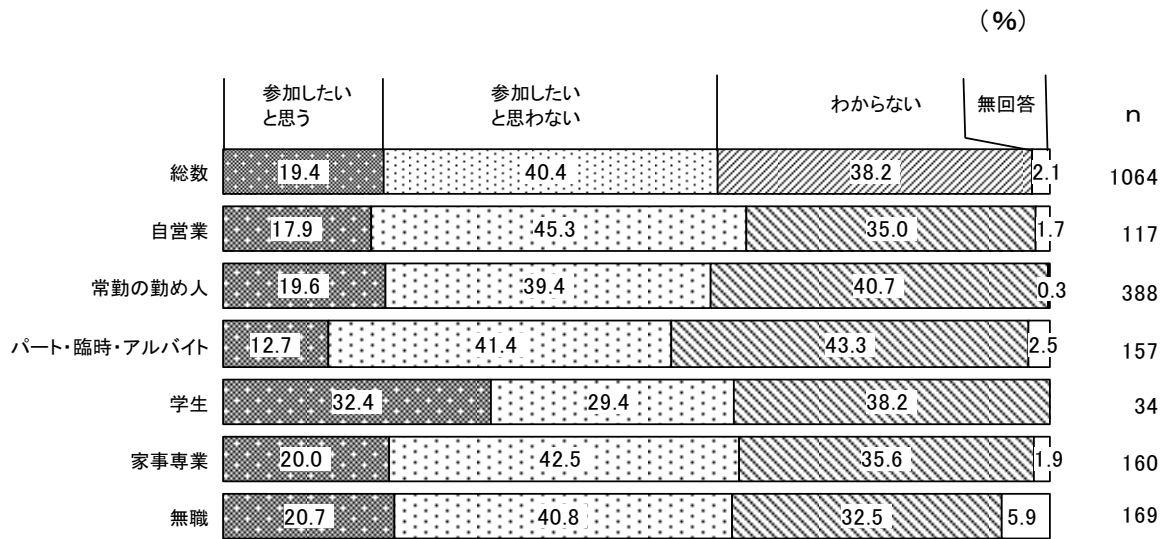
性・年代別でみると、「参加したいと思わない」は男女間で差異はないが、「参加したいと思う」は男性（24.0%）が女性（16.0%）を上回っている。特に男性の50代以降はいずれも3割近くとなっており、他の年代に比べ、参加意向が高い。

図2-6 区政への参加意向 ー性・年代別ー

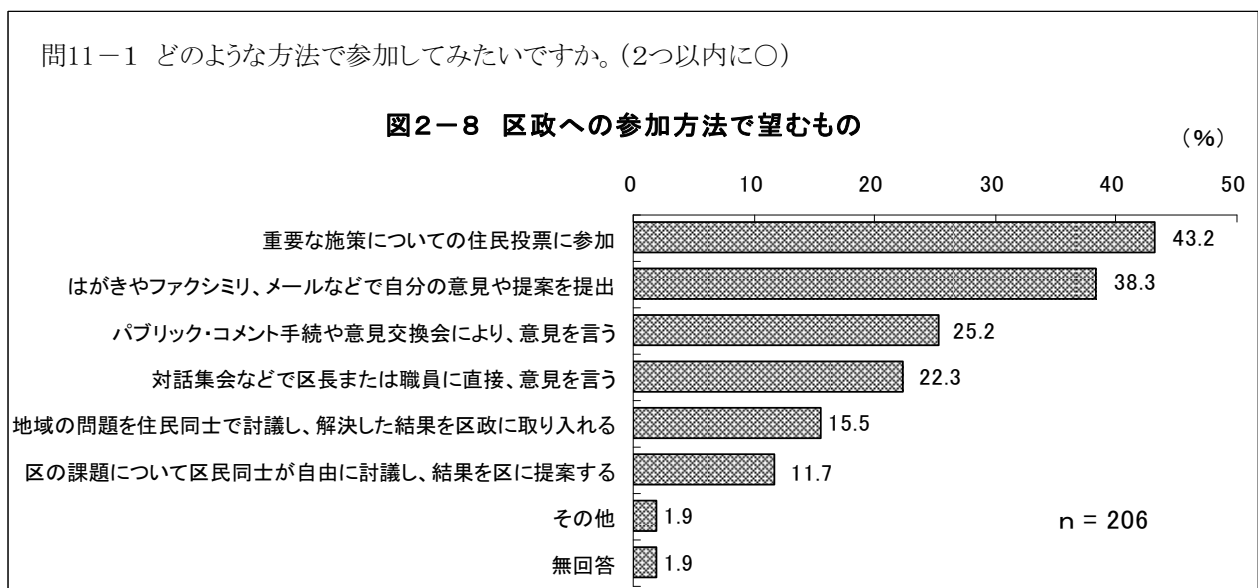


職業別では、「参加したいと思う」が最も高いのは学生（32.4%）、最も低いのはパート・臨時・アルバイト（12.7%）であった。

図2-7 区政への参加意向 - 職業別 -

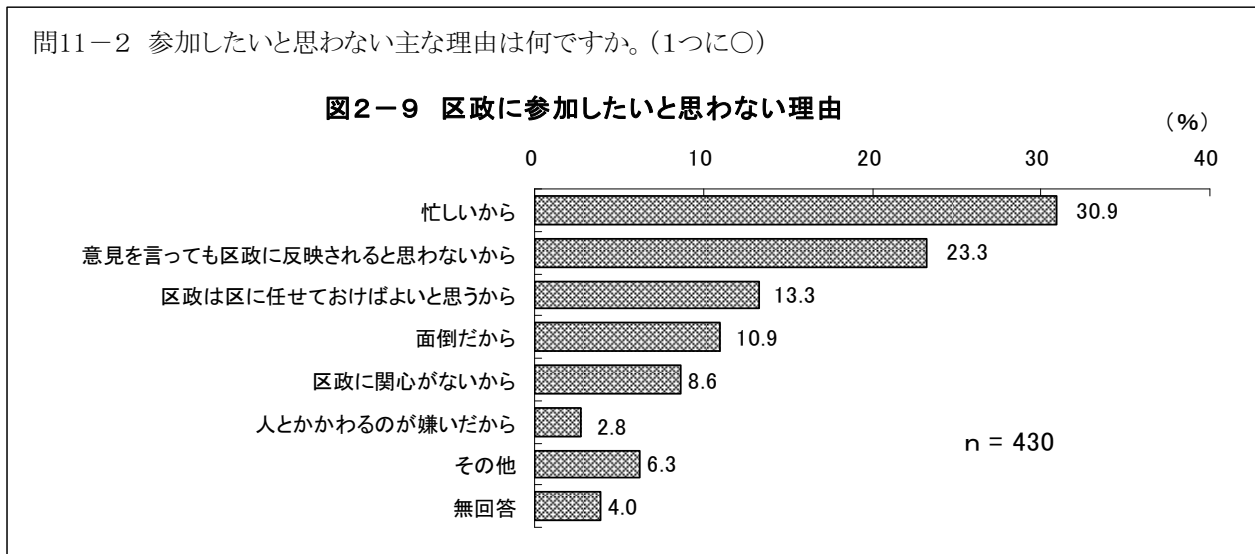


(5) 区政への参加方法で望むもの……「重要な施策についての住民投票」がトップ
【問 11 で「参加したいと思う」とした人に】



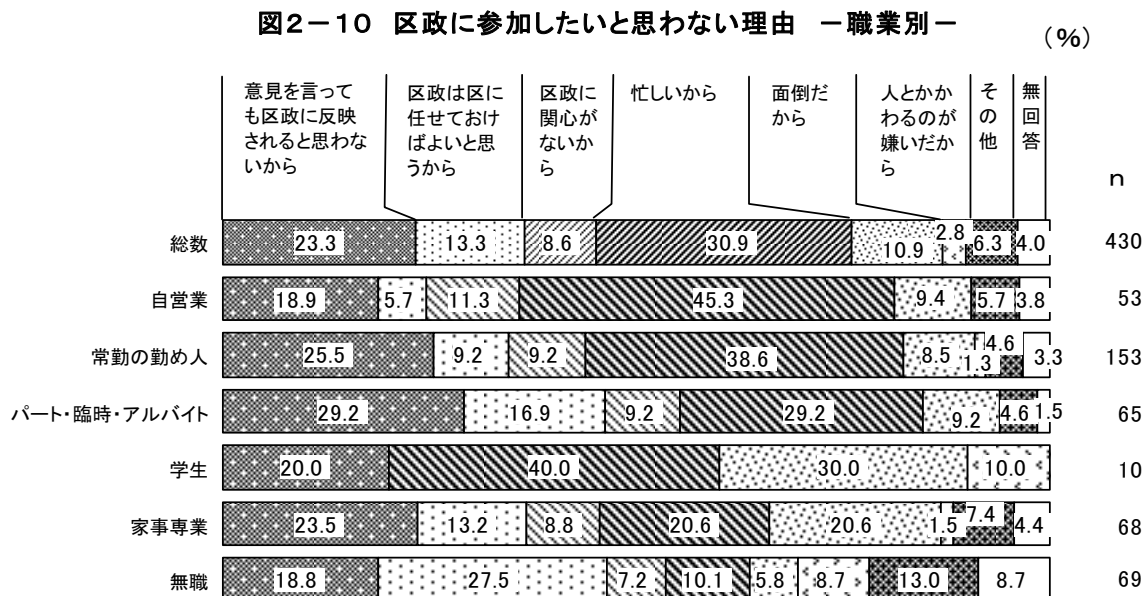
区政に参加してみたいと答えた人に、どのような方法で参加してみたいか複数回答（2つまで）で尋ねた。結果は、「重要な施策についての住民投票に参加する」（43.2%）と「はがきやファクシミリ、メールなどで自分の意見や提案を提出する」（38.3%）の割合が高く、「パブリック・コメント手続や意見交換会により、重要な施策や計画についての意見を言う」（25.2%）、「対話集会などで区長または職員に直接、意見を言う」（22.3%）が続いた。

(6) 区政に参加したいと思わない理由……「忙しいから」が3割でトップ、続いて「区政に反映されと思わないから」が2割強



区政に参加したいと思わないと答えた人にその理由を尋ねたところ、「忙しいから」が30.9%でトップ、「意見を言っても区政に反映されと思わないから」(23.3%)、「区政は区に任せておけばよいと思うから」(13.3%)が続いた。

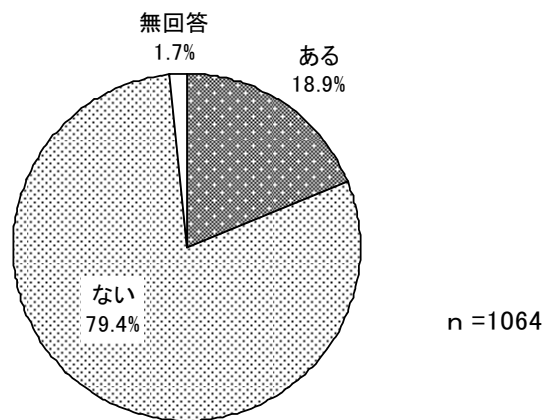
職業別でみると、「忙しいから」は自営業(45.3%)、学生(40.0%)、常勤の勤め人(38.6%)で高く、「意見を言っても区政に反映されと思わないから」はパート・臨時・アルバイト(29.2%)、常勤の勤め人(25.5%)、家事専業(23.5%)で高い。「区政は区に任せておけばよいと思うから」は無職(27.5%)で高い。



(7) 自治活動の参加経験……参加したことがある人は2割弱

問12 あなたは、地域で自治活動に参加している、または参加したことがありますか。

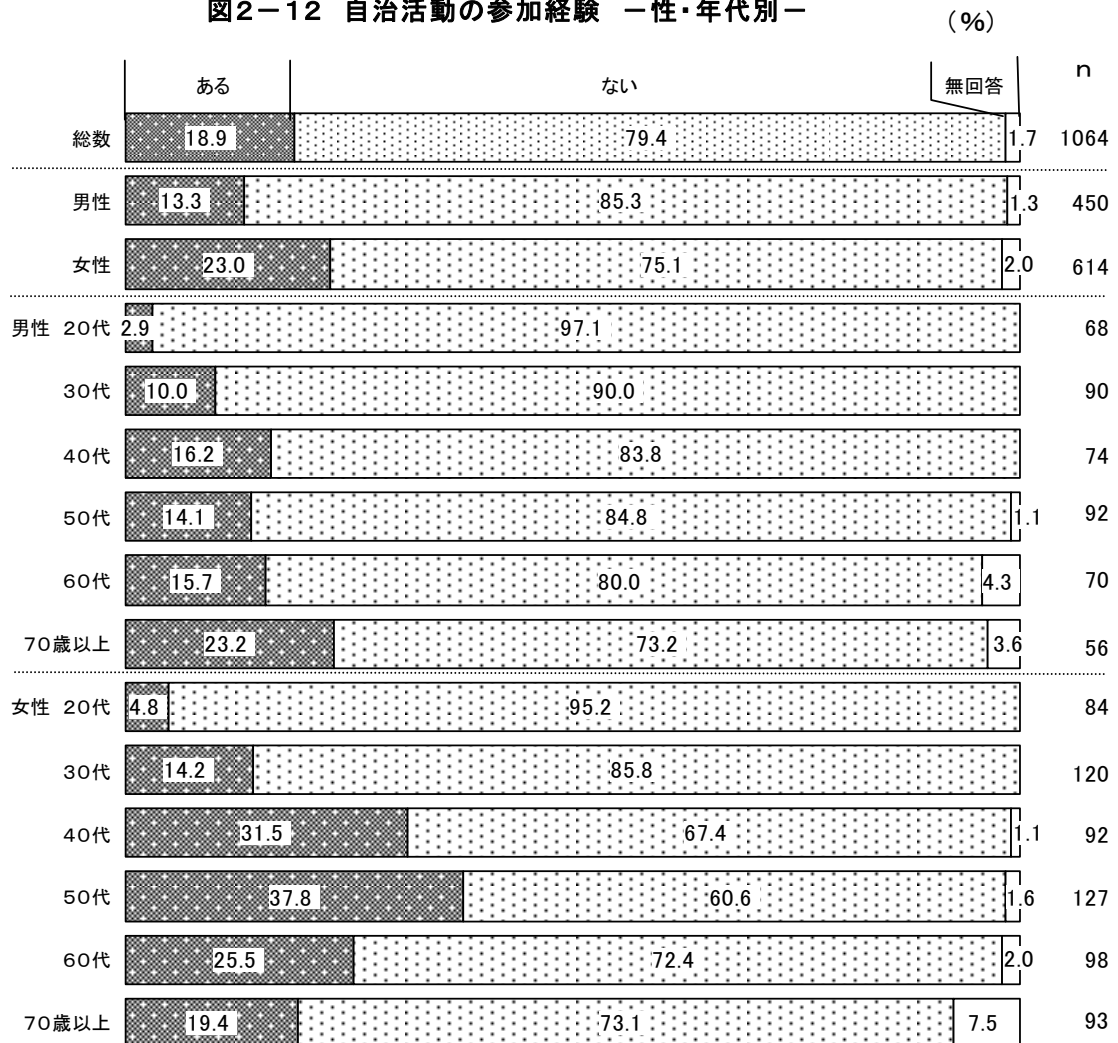
図2-11 自治活動の参加経験



地域で自治活動に参加している、または参加したことがあるか尋ねたところ、「ある」が18.9%、「ない」が79.4%だった。

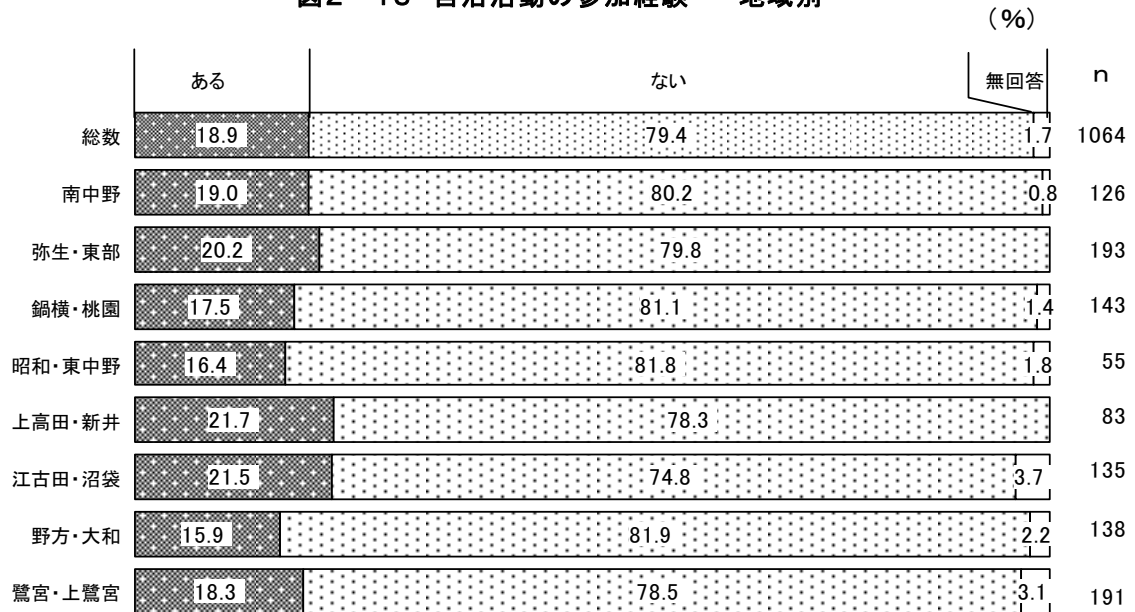
性・年代別でみると、参加したことがある人の割合は女性（23.0%）が男性（13.3%）を大きく上回っている。女性は50代（37.8%）と40代（31.5%）の割合が高く、男性は70歳以上（23.2%）が高い。

図2-12 自治活動の参加経験 - 性・年代別 -



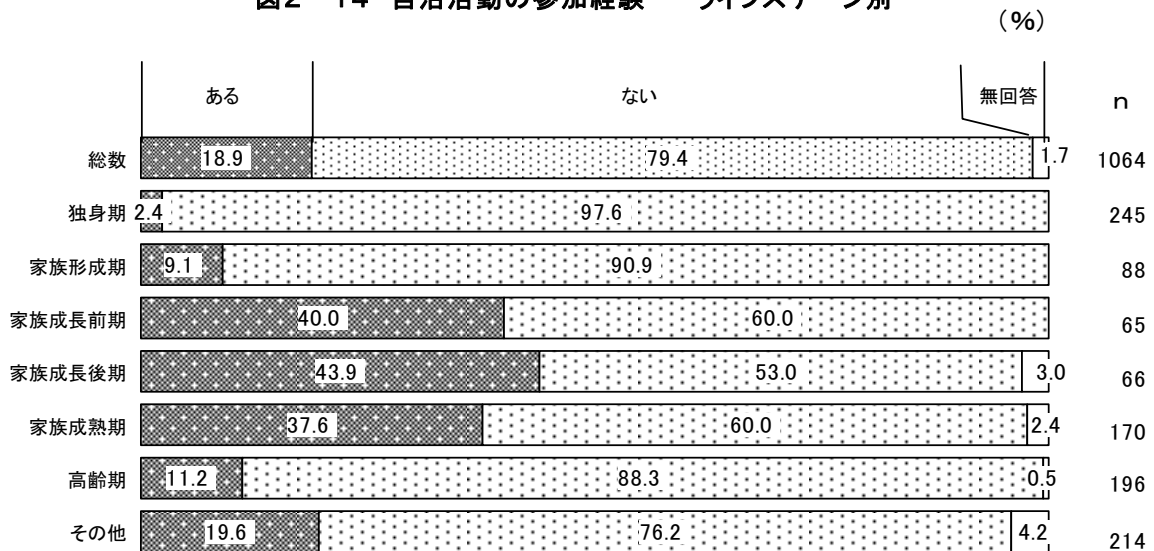
地域別では差があまり見られないが、弥生・東部、上高田・新井、江古田・沼袋は「ある」が2割を超え、他の地域に比べやや高くなっている。

図2-13 自治活動の参加経験 -地域別-



ライフステージ別では、家族成長前期 (40.0%)、家族成長後期 (43.9%)、家族成熟期 (37.6%) で「ある」の割合が高く、他のライフステージと大きな開きがある。

図2-14 自治活動の参加経験 -ライフステージ別-

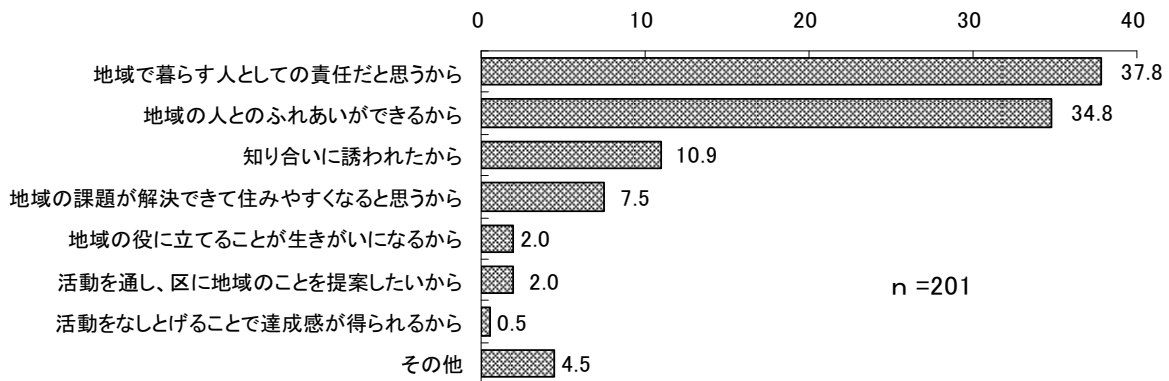


独身期：20・30代の独身者 家族形成期：20代・30代で子どもがいない夫婦 一番上の子どもが小学校入学前
 家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生 家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生 家族成熟期：本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 高齢期：65歳以上 その他：40～64歳で、独身か夫婦のみ

(8) 自治活動に参加する理由……「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」がトップ
【問 12 で「ある」とした人に】

問12-1 あなたが、地域で自治活動に参加する主な理由は何ですか。(1つに○)

図2-15 自治活動に参加する理由 (%)

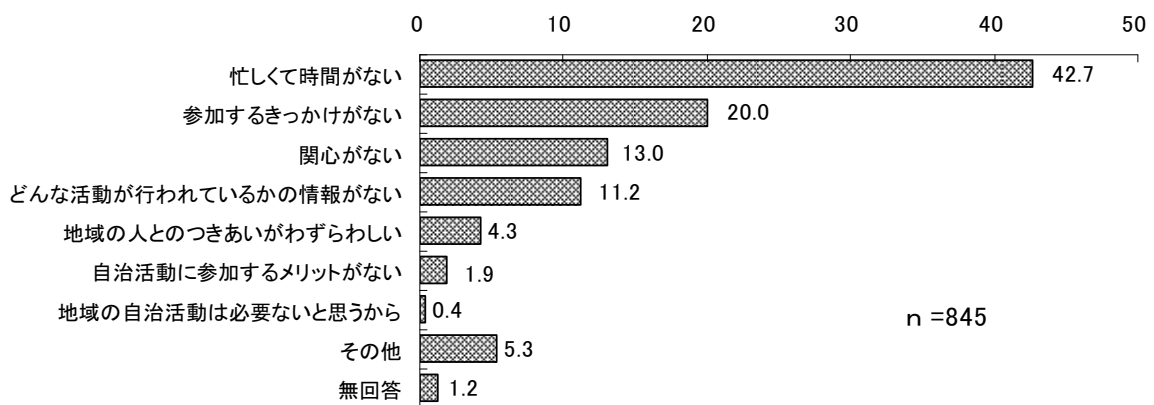


自治活動の参加経験がある人に参加する理由を尋ねた。結果は「地域で暮らす人の責任だと思ふから」(37.8%)と「地域の人とのふれあいができるから」(34.8%)の割合が高かった。

(9) 自治活動に参加しない理由……「忙しくて時間がない」が4割を超える
【問 12 で「ない」とした人に】

問12-2 あなたが、地域で自治活動に参加しない主な理由は何ですか。(1つに○)

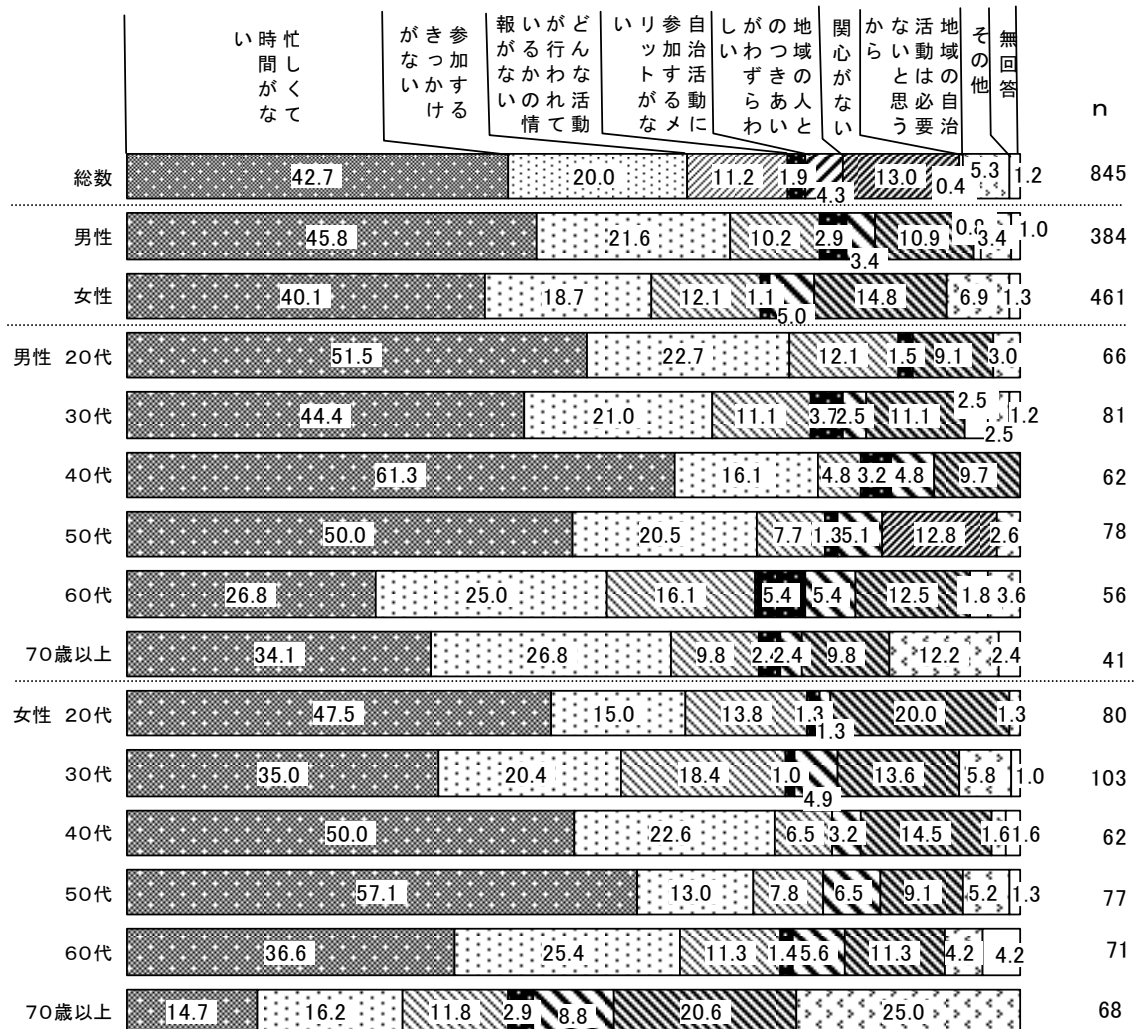
図2-16 自治活動に参加しない理由 (%)



自治活動に参加したことがない人にその理由を尋ねたところ、「忙しくて時間がない」が42.7%で最も高く、「参加するきっかけがない」(20.0%)、「関心がない」(13.0%)、「どんな活動が行われているかの情報がない」(11.2%)が続いた。

性・年代別でみると、「忙しくて時間がない」は男性40代(61.3%)、女性50代(57.1%)で高く、「参加するきっかけがない」は男性60代(25.0%)・70歳以上(26.8%)と女性60代(25.4%)で高い。「関心がない」は女性20代(20.0%)・70歳以上(20.6%)が目立っている。「どんな活動が行われているかの情報がない」は女性30代(18.4%)と男性60代(16.1%)が他の年代に比べ、高い。

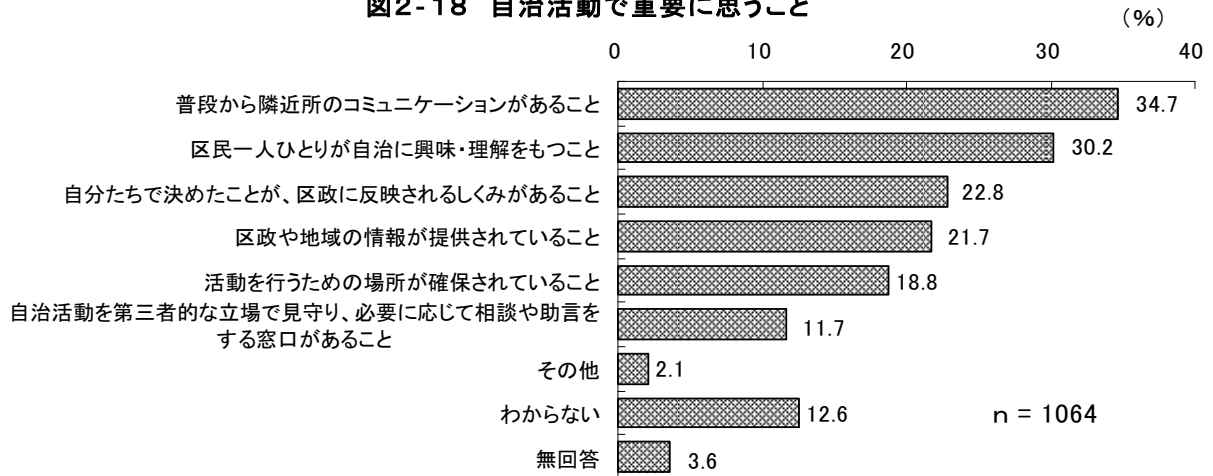
図2-17 自治活動に参加しない理由 -性・年代別- (%)



(10) 自治活動で重要と思うこと……「普段から隣近所のコミュニケーションがあること」と「区民一人ひとりが自治に興味・理解をもつこと」の割合が3割を超え、高い

問13 あなたは、地域の自治活動が活発に行われるためにはどのようなことが重要と考えますか。(2つ以内に○)

図2-18 自治活動で重要と思うこと

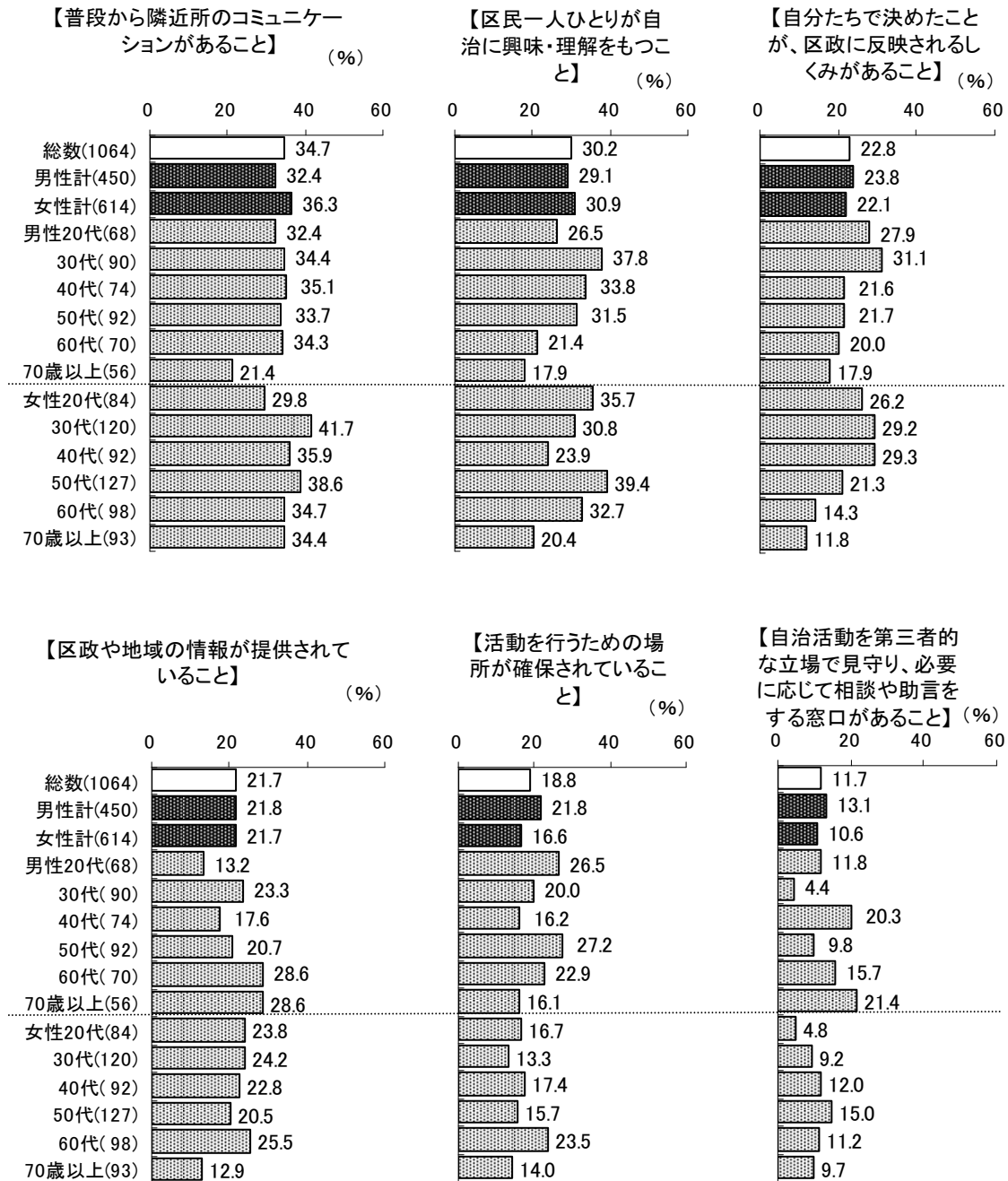


地域の自治活動が活発に行われるために重要と思うことを複数回答（2つまで）で尋ねた。

結果は、「普段から隣近所のコミュニケーションがあること」（34.7%）と「区民一人ひとりが自治に興味・理解をもつこと」（30.2%）の割合が高く、「自分たちで決めたことが、区政に反映されるしくみがあること」（22.8%）、「区政や地域の情報が提供されていること」（21.7%）が続いた。

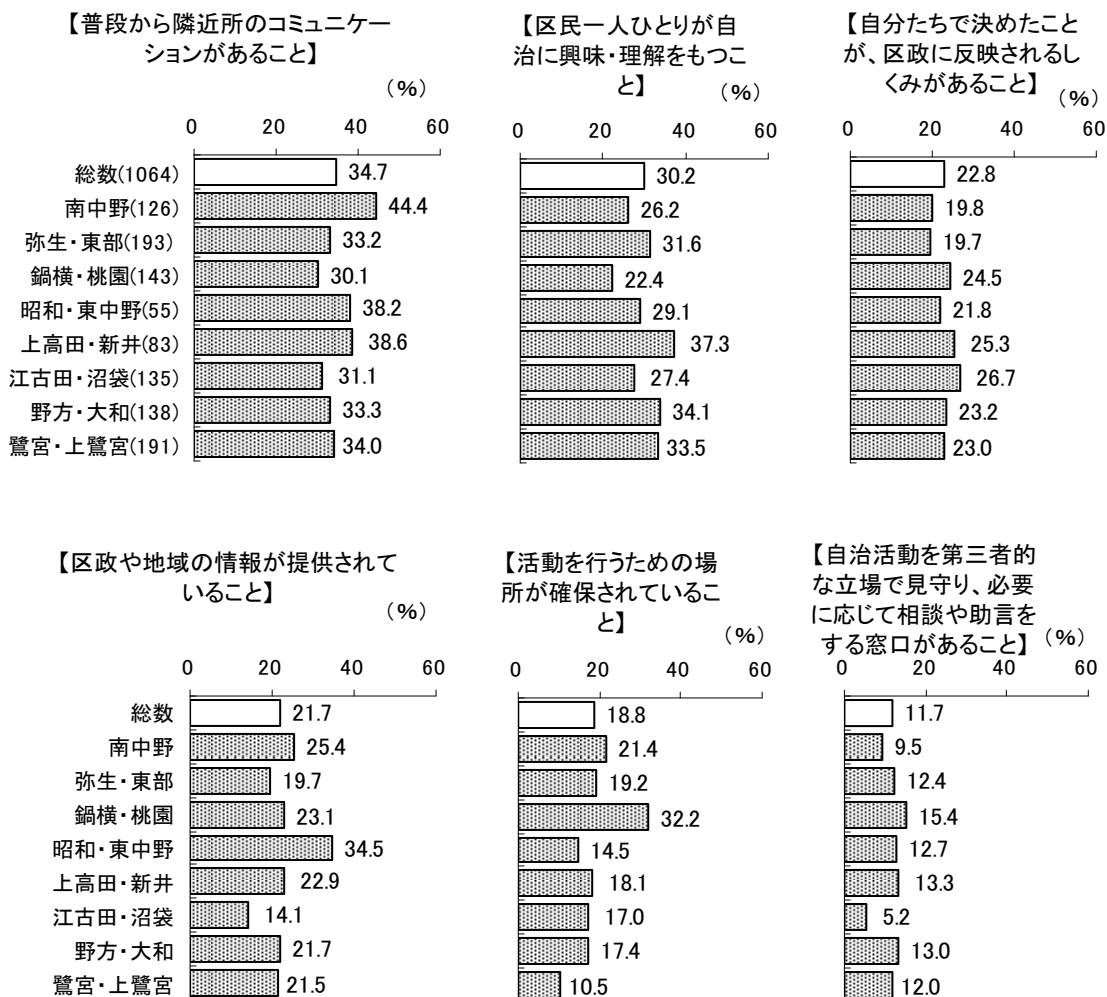
性・年代別でみると、「普段から隣近所のコミュニケーションがあること」は、男性70歳以上(21.4%)以外は年代による差が少なく、すべての年代で3割から4割前後となっている。ほとんどの年代で「普段から隣近所のコミュニケーションがあること」と「区民一人ひとりが自治に興味・理解をもつこと」が高い割合となっているが、男性70歳以上では「区政や地域の情報が提供されていること」(28.6%)が最も高くなっている。

図2-19 自治活動で重要に思うこと 一性・年代別一 (上位6項目)



地域別では、ほとんどの地域で「普段から隣近所のコミュニケーションがあること」と「区民一人ひとりが自治に興味・理解をもつこと」が上位2項目となっているが、鍋横・桃園では「活動を行うための場所が確保されていること」(32.2%)が1位となっている。また、昭和・東中野は「区政や地域の情報が提供されていること」が34.5%で「普段から隣近所のコミュニケーションがあること」(38.2%)に次いで2位となっている。

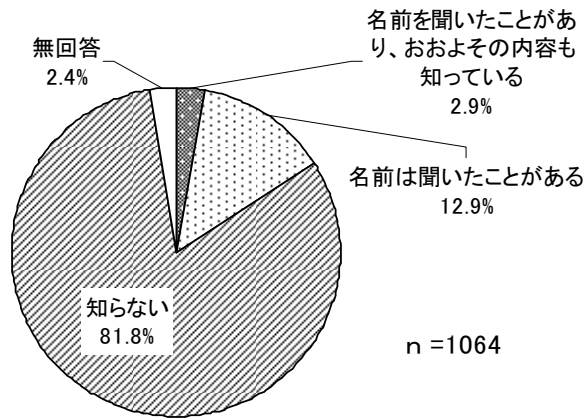
図2-20 自治活動で重要に思うこと -地域別- (上位6項目)



(11) 自治基本条例の周知度……知らない人が8割

問14 区は、今年の4月に、区民の自治と参加を基本に区政を運営することを定めた「中野区自治基本条例」を施行しました。あなたはこの条例をご存知ですか。(1つに○)

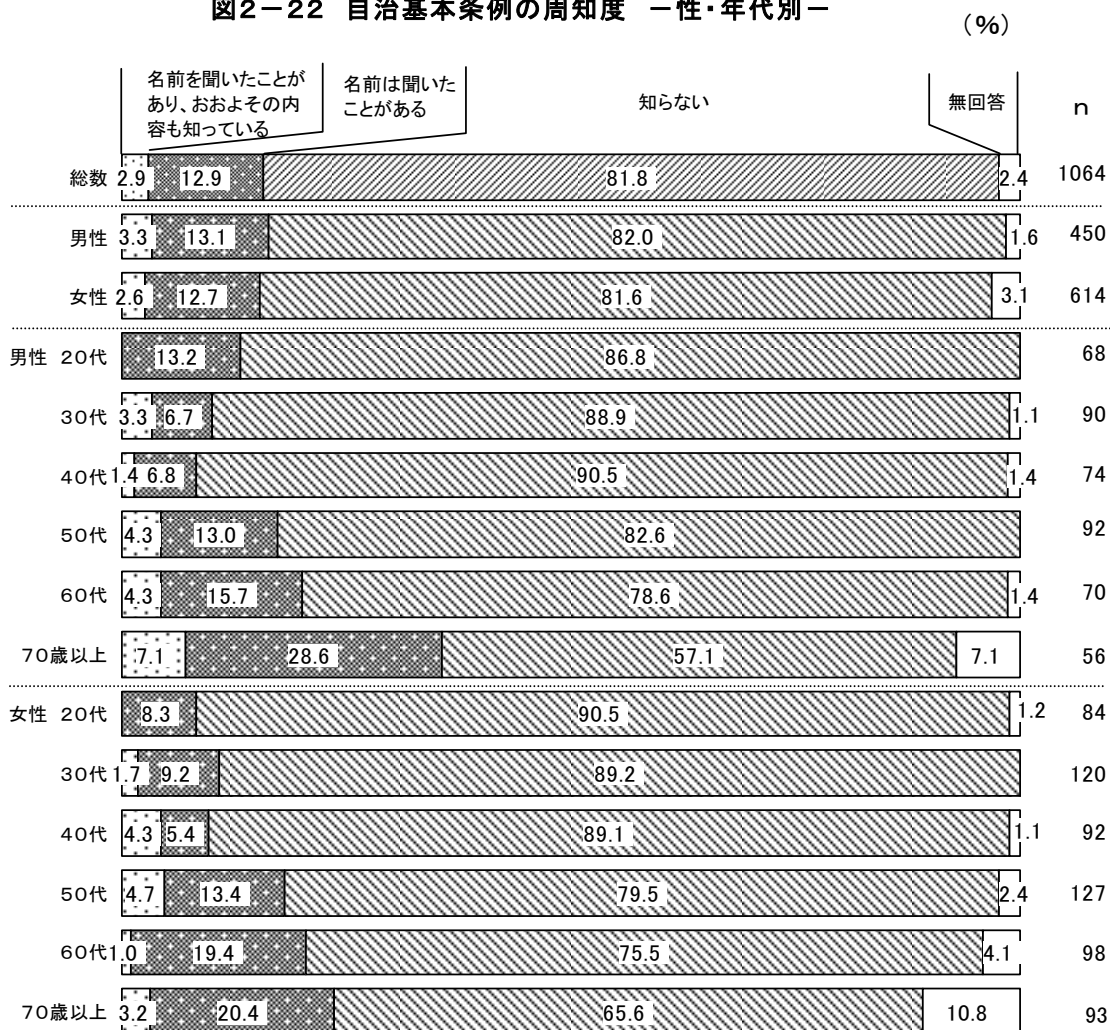
図2-21 自治基本条例の周知度



中野区自治基本条例を知っているか尋ねたところ、「名前を聞いたことがあり、おおよその内容も知っている」は2.9%、「名前は聞いたことがある」は12.9%、「知らない」は81.8%だった。

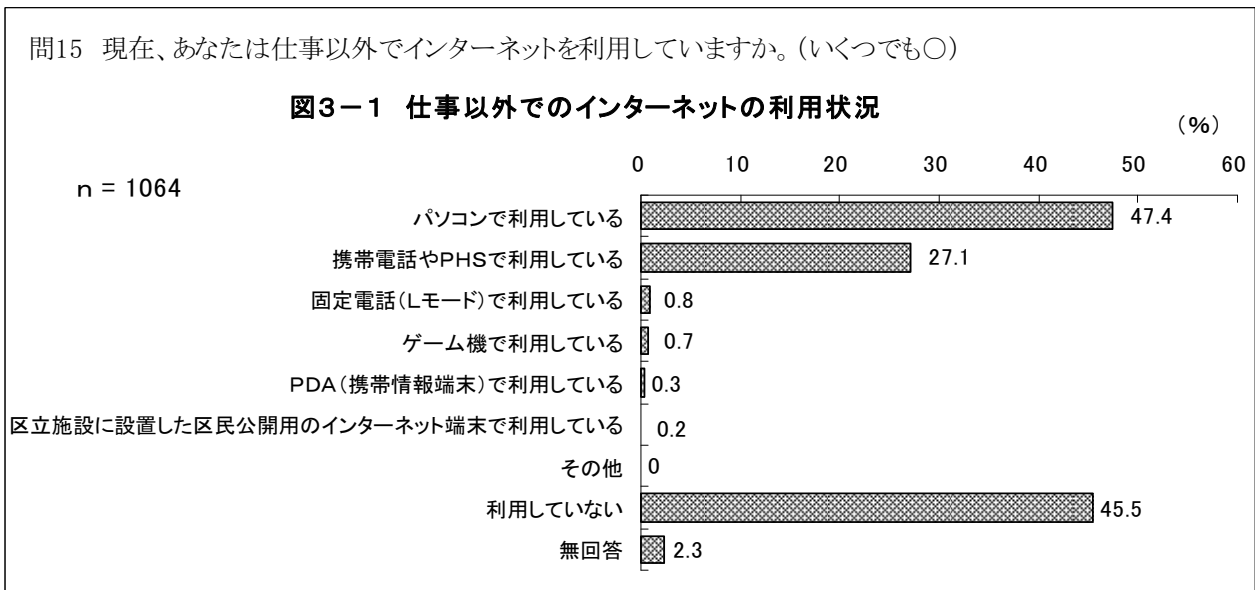
性・年代別でみると、「名前を聞いたことがあり、おおよその内容も知っている」はいずれの年代も1割に満たない。男性70歳以上が7.1%で最も高く、男女とも20代は内容まで知っている人はいなかった。「名前は聞いたことがある」は男性70歳以上（28.6%）で目立っている。

図2-22 自治基本条例の周知度 - 性・年代別 -



3. インターネットの利用

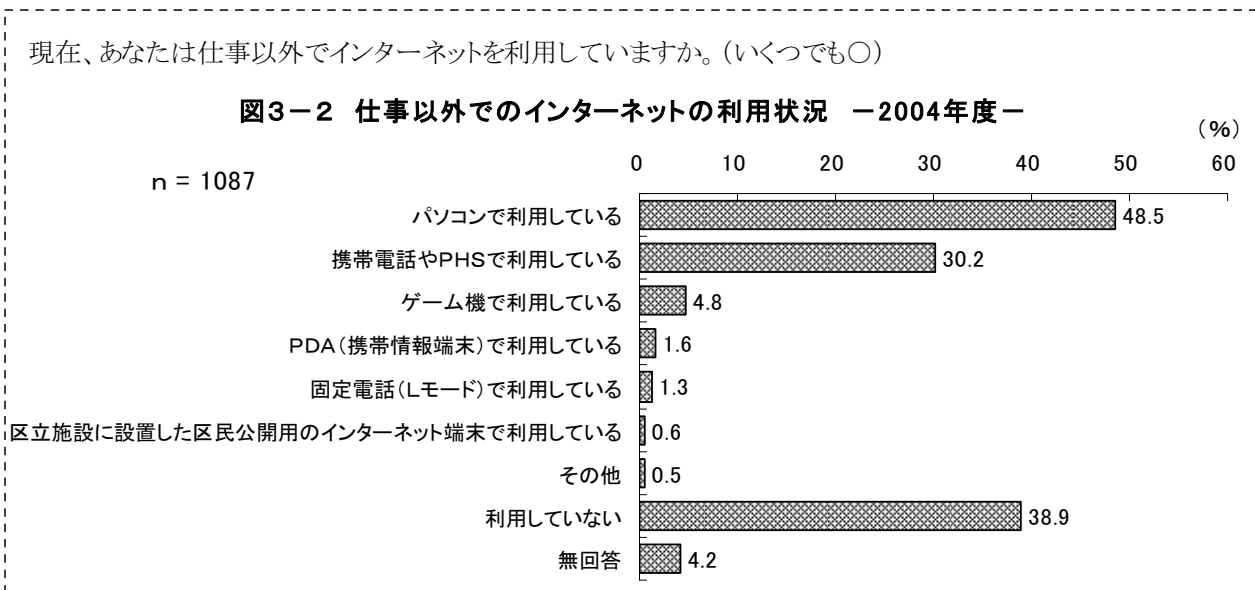
(1) 仕事以外でのインターネットの利用状況……半数の人が利用している



仕事以外でのインターネットの利用状況について、利用している場合は利用方法について複数回答で該当する方法をすべて挙げてもらった。

その結果、利用方法としては「パソコンで利用している」が47.4%で最も高く、「携帯電話やPHSで利用している」27.1%が続いた。「固定電話(Lモード)で利用している」(0.8%)、「ゲーム機で利用している」(0.7%)、「PDA(携帯情報端末)で利用している」(0.3%)、「区立施設に設置した区民公開用のインターネット端末で利用している」(0.2%)は、いずれもわずかであった。

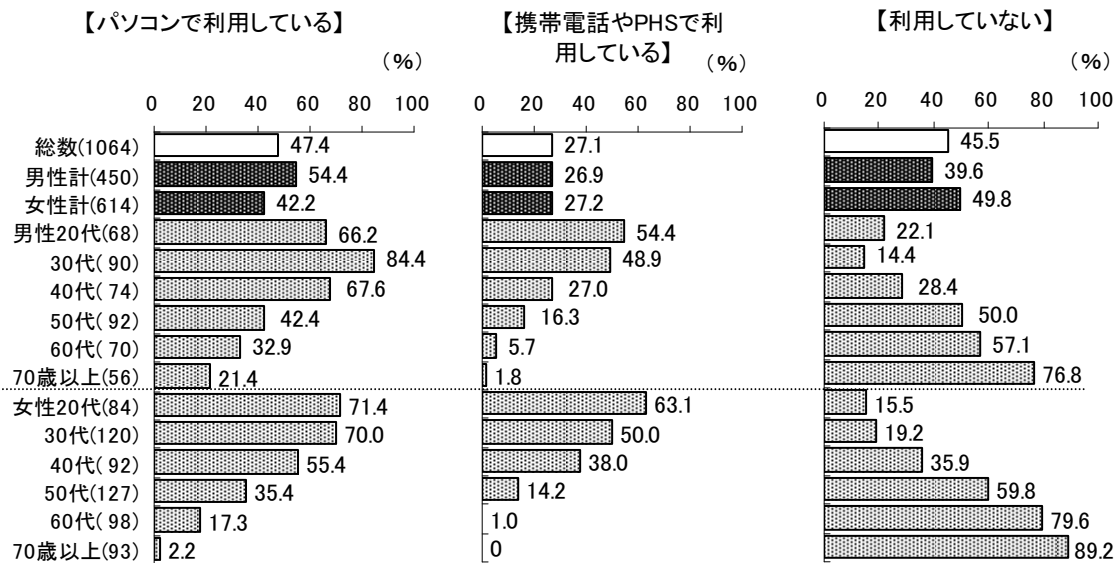
参考までに、昨年度(2004年度)の中野区政世論調査の結果を示す。このときも、利用方法は「パソコンで利用している」が48.5%で最も高く、「携帯電話やPHSで利用している」30.2%が続いた。



性・年代別でみると、「パソコンで利用している」は男女間でやや開きがある。また、年代が若いほど利用している割合が高くなる傾向があり、男性30代が84.4%で最も高く、女性70歳以上が2.2%で最も低い。「携帯電話やPHSで利用している」は男女間での差異がないが、年代間ではパソコンと同様に男女とも若い世代ほど利用率が高くなっている。

「利用していない」は、女性(49.8%)が男性(39.6%)を上回っている。男女とも年代が上がるほど利用していない割合が高くなる傾向があり、男性70歳以上(76.8%)と女性60代(79.6%)・70歳以上(89.2%)は特に高い。

図3-3 仕事以外でのインターネットの利用状況 一性・年代別一
(利用している場合の利用方法上位2項目と「利用していない」)



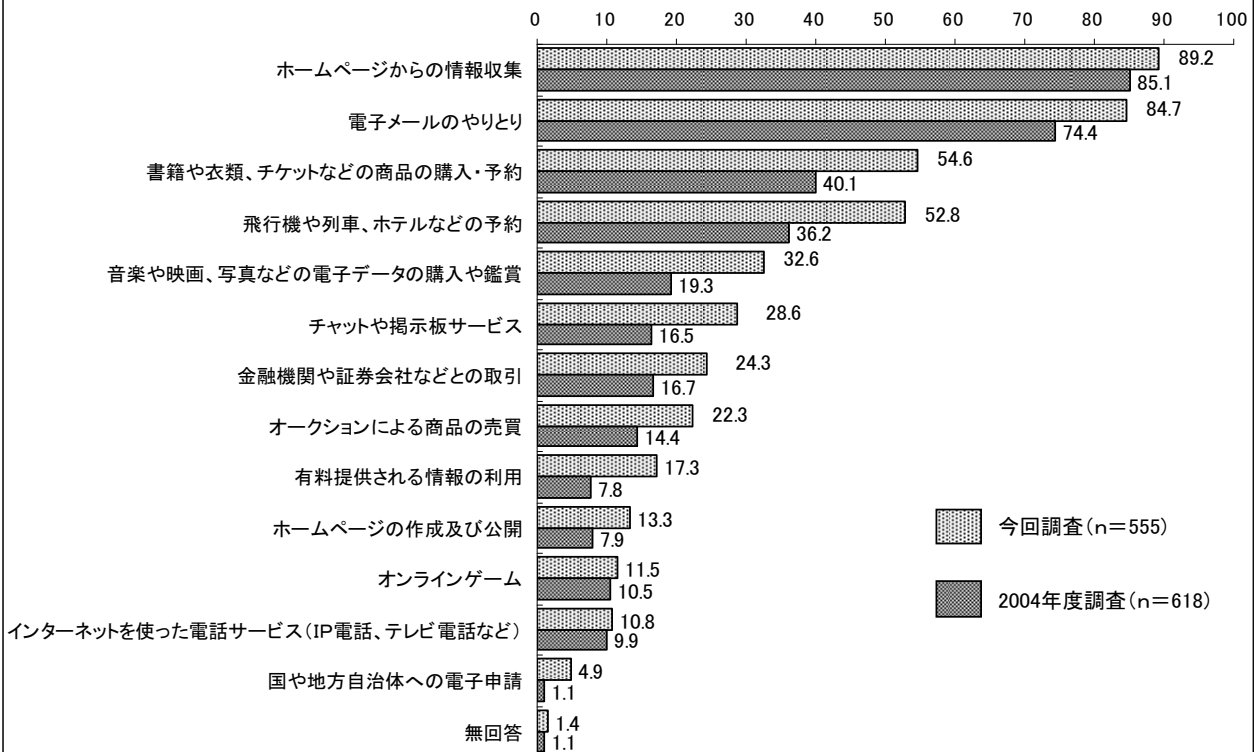
(2) インターネットの利用目的……「ホームページからの情報収集」と「電子メールのやりとり」が8割を超える

【問15でインターネットを利用しているとした方に】

問15-1 下記のサービスのうち、問15で○をつけた機器で利用しているものに○をつけてください。(いくつでも○)

図3-4 インターネットの利用目的

(%)



仕事以外でインターネットを利用している人に、利用しているサービスについて該当するものをすべて挙げてもらった。

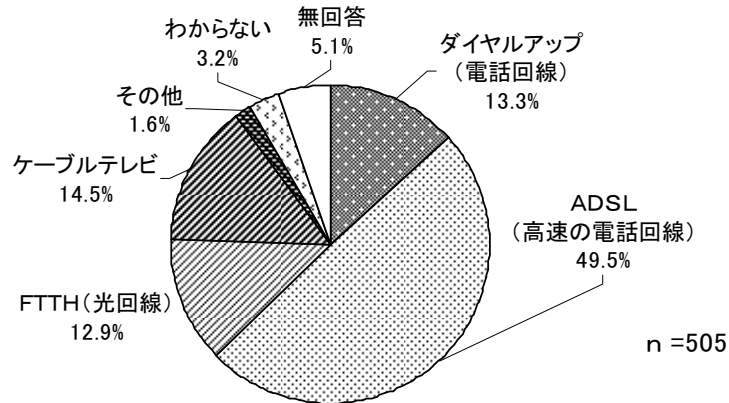
結果は「ホームページからの情報収集」(89.2%)、「電子メールのやりとり」(84.7%)が特に高く、「書籍や衣類、チケットなどの商品の購入・予約」(54.6%)、「飛行機や列車、ホテルなどの予約」(52.8%)が続いた。「国や地方自治体への電子申請」は4.9%となっている。

昨年度(2004年度)の中野区政世論調査の結果と比較すると、すべての項目で昨年度を上回り、特に「書籍や衣類、チケットなどの商品の購入・予約」、「飛行機や列車、ホテルなどの予約」「音楽や映画、写真などの電子データの購入や鑑賞」「チャットや掲示板サービス」は目立って増加している。「有料提供される情報の利用」と「国や地方自治体への電子申請」は、割合としては低いが伸び率は大きい。

(3)インターネットの接続方法……ADSL(高速の電話回線)が半数
【問15で「パソコンで利用している」「ゲーム機で利用している」とした方に】

問15-2 パソコン、ゲーム機でのインターネットの接続方法は次のうちどれですか。(1つに○)

図3-5 インターネットの接続方法

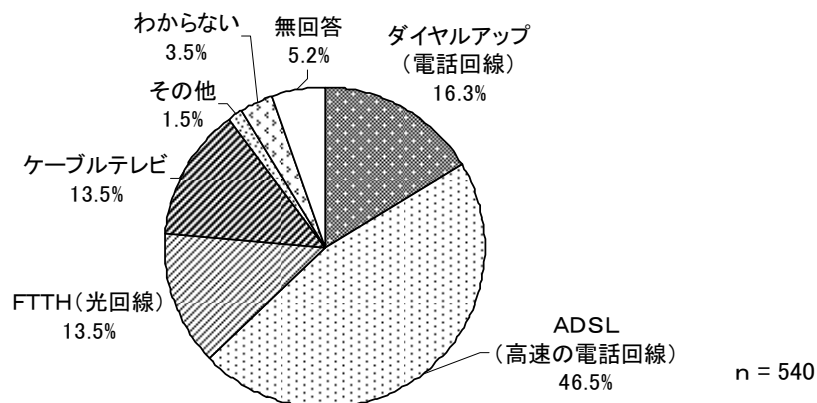


パソコンやゲーム機でインターネットを利用している人に、インターネットの接続方法を尋ねたところ、「ADSL (高速の電話回線)」(49.5%) が特に高く、「ケーブルテレビ」(14.5%) 「ダイヤルアップ (電話回線)」(13.3%)、「FTTH (光回線)」(12.9%) は僅差となっている。

昨年度 (2004 年度) の中野区政世論調査の結果からは大きな変化はみられない。

パソコン、ゲーム機でのインターネットへの接続方法は次のうちどれですか。(1つに○)

図3-6 インターネットへの接続方法 -2004年度-



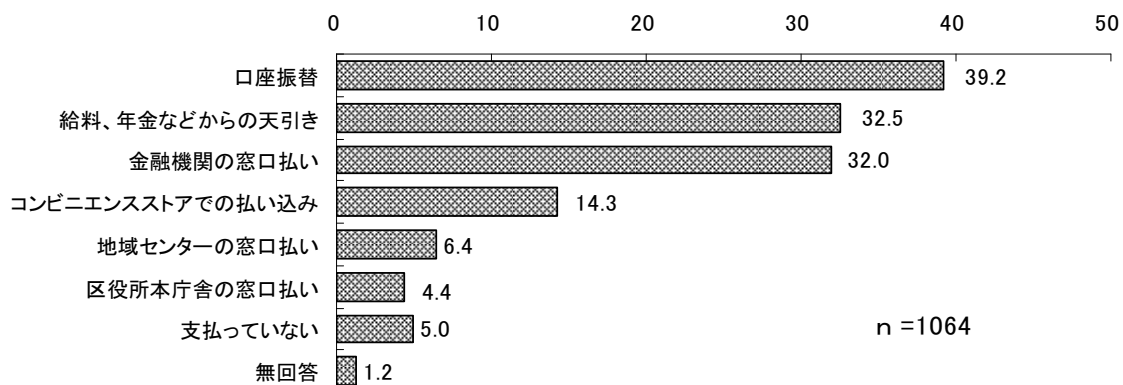
4. 税や保険料などの支払方法

(1) 税や保険料などの支払方法……「口座振替」が4割でトップ。「給料、年金などからの天引き」、「金融機関の窓口払い」が3割を超える

問16 あなたは現在、税(住民税や軽自動車税)や国民健康保険料、介護保険料、保育料など、区に納めるお金をどのような方法で支払っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図4-1 税や保険料などの支払方法

(%)



税や保険料など区に納めるお金をどのような方法で支払っているか複数回答（いくつでも）で尋ねた。

結果は「口座振替」が39.2%で最も高く、「給料、年金などからの天引き」(32.5%)、「金融機関の窓口払い」(32.0%)も3割を超えている。「コンビニエンスストアでの払い込み」は14.3%であった。

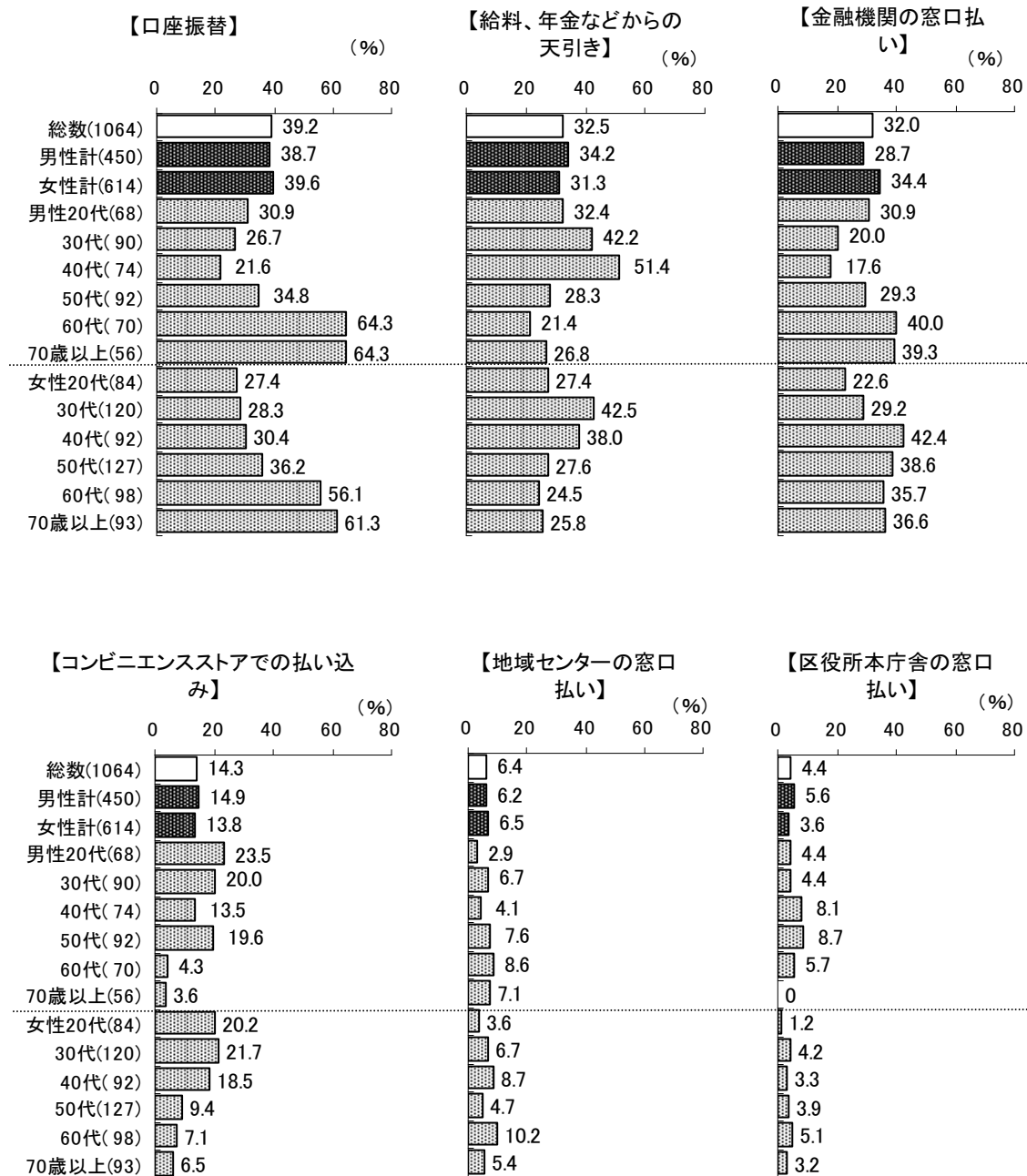
区の窓口払いは地域センターが6.4%、区役所本庁舎が4.4%で合わせて1割程度となっている。

性・年代別でみると、「口座振替」は男女とも60代以降の割合が高く、男性60代・70歳以上がともに64.3%、女性60代・70歳以上がそれぞれ56.1%・61.3%となっている。

「給料、年金などからの天引き」は男女とも30代（各42.2%、42.5%）・40代（各51.4%、38.0%）が他の年代に比べ高い。

「金融機関の窓口払い」は男性60代以降と女性40代以降がそれぞれ4割前後で比較的高い。「コンビニエンスストアでの払い込み」は男性60代以降、女性50代以降が低く、いずれも1割に満たない。

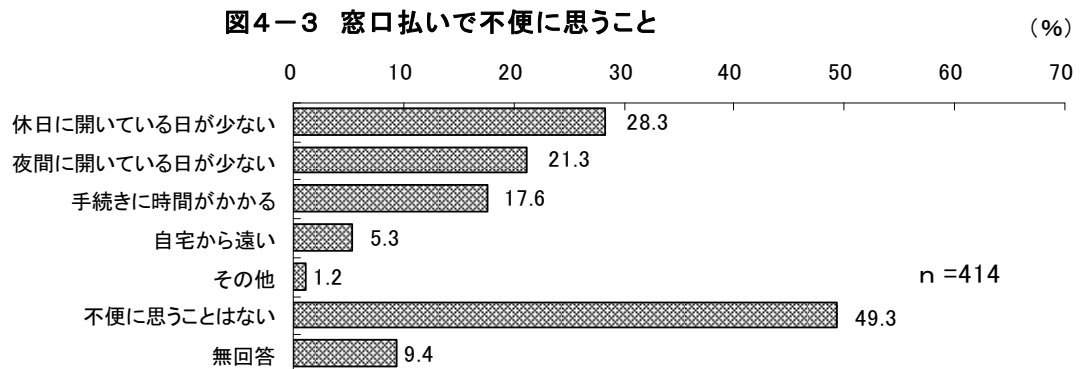
図4-2 税や保険料などの支払方法 ー性・年代別ー



(2) 窓口払いで不便に思うこと……「休日に開いている日が少ない」が 28.3%でトップ

【問 16 で「区役所本庁舎の窓口払い」「地域センターの窓口払い」「金融機関の窓口払い」とした方に】

問16-1 区や金融機関の窓口払いで不便に思うことはありますか。(いくつでも○)

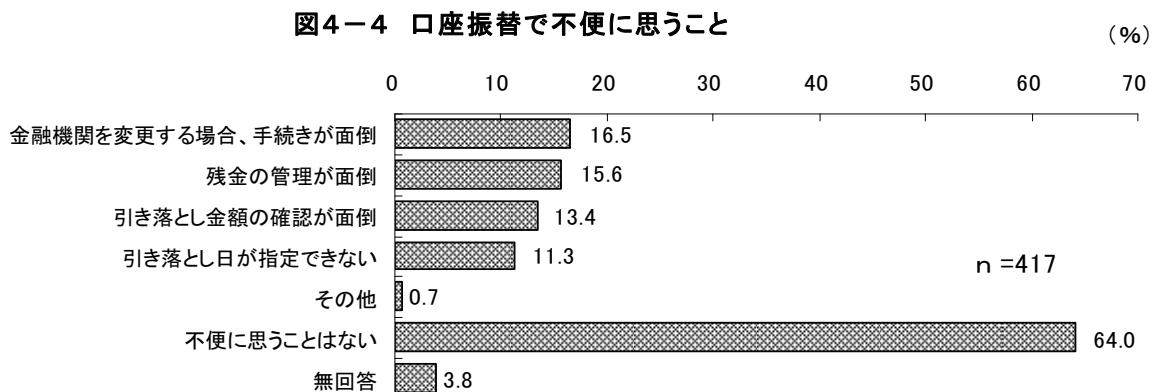


税や保険料などを区や金融機関の窓口で支払っている人に、不便に思うことがあるか複数回答（いくつでも）で尋ねたところ、「休日に開いている日が少ない」が 28.3%でトップ、続いて「夜間に開いている日が少ない」21.3%であった。なお、半数は「不便に思うことはない」と答えている。

(3) 口座振替で不便に思うこと……「金融機関を変更する場合、手続きが面倒」の 16.5%がトップ。「不便に思うことはない」は6割半ば

【問 16 で「口座振替」とした方に】

問16-2 口座振替で不便に思うことはありますか。(いくつでも○)



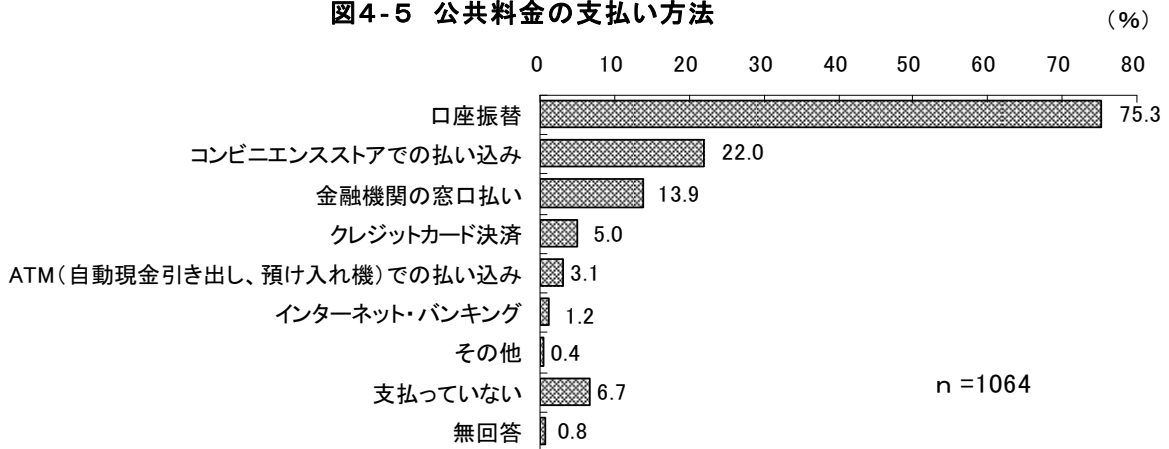
税や保険料などを口座振替で支払っている人に、不便に思うことがあるか複数回答（いくつでも）で尋ねた。

結果は、6割半ばの人が「不便に思うことはない」と答えているが、不便に思うこととしては「金融機関を変更する場合、手続きが面倒」が 16.5%でトップ、続いて「残金の管理が面倒」15.6%、「引き落とし金額の確認が面倒」13.4%となっている。

(4) 公共料金の支払方法……「口座振替」が7割半ばで突出して高い

問17 あなたは現在、公共料金(電気・ガス・水道・固定電話)をどのような方法で支払っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図4-5 公共料金の支払い方法

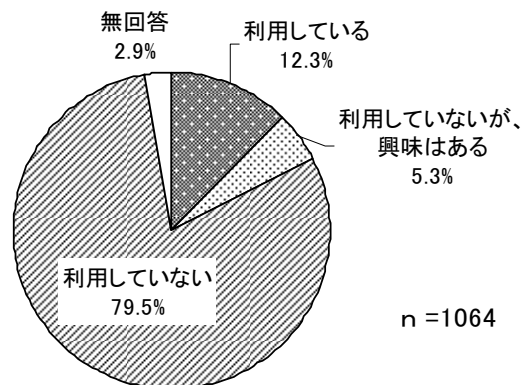


公共料金の支払方法を複数回答(いくつでも)で尋ねたところ、「口座振替」が75.3%で突出して高く、「コンビニエンスストアでの払い込み」が22.0%が続いた。「金融機関の窓口払い」は13.9%だった。

(5) インターネット・バンキングの利用経験……「利用している」は1割強

問18 あなたは現在、インターネット・バンキングを利用していますか。(1つに○)

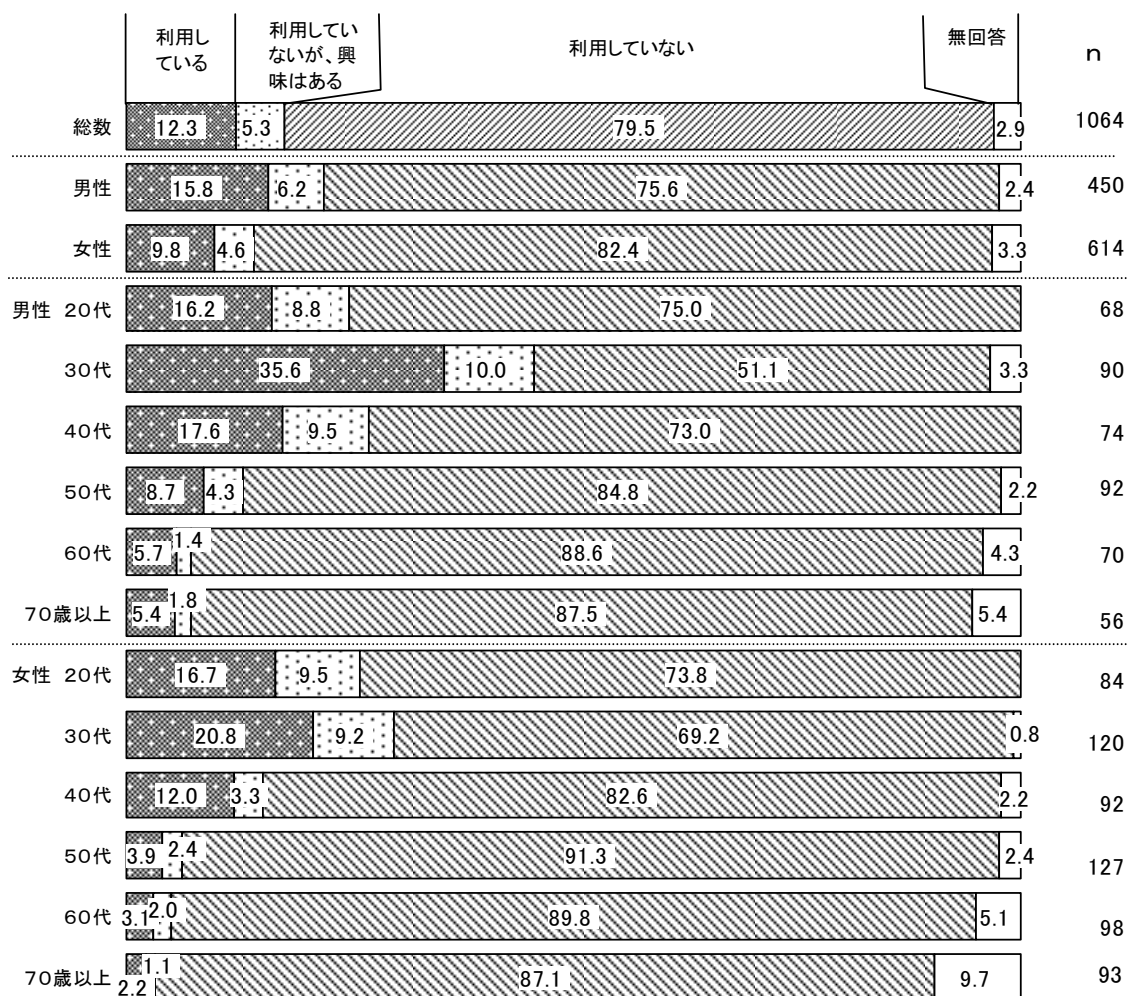
図4-6 インターネット・バンキングの利用経験



インターネット・バンキングを利用したことがあるか尋ねたところ、「利用している」は12.3%、「利用していないが、興味はある」は5.3%、「利用していない」は79.5%だった。

性・年代別でみると、「利用している」は男性（15.8%）が女性（9.8%）を上回っている。また、年代による差が大きく、男女とも30代（各35.6%、20.8%）で高く、50代以降で低い。

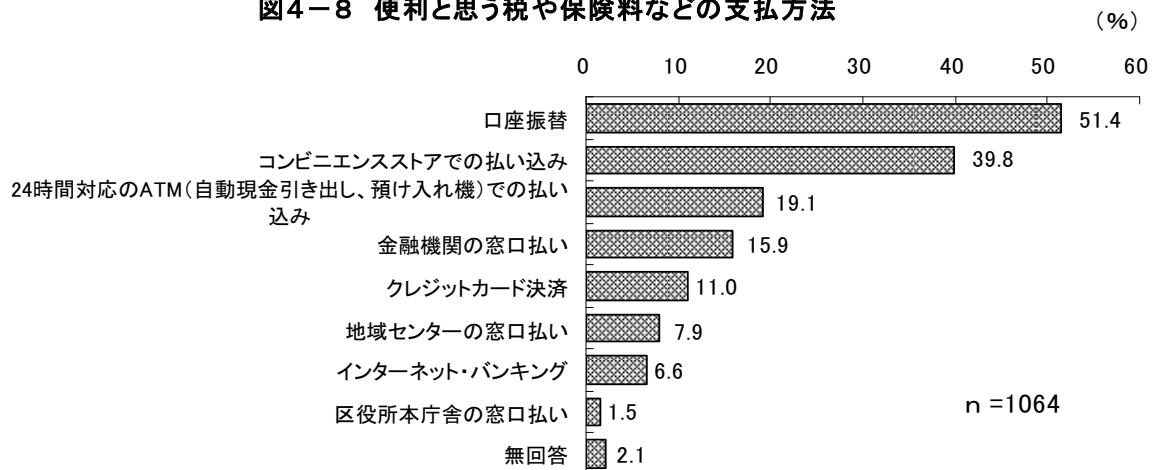
図4-7 インターネット・バンキングの利用経験 ー性・年代別ー (%)



(6) 便利と思う税や保険料などの支払方法……「口座振替」と「コンビニエンスストアでの払い込み」の割合が高い

問19 下記の方法の中から、税(住民税や軽自動車税)や国民健康保険料、介護保険料、保育料などを区に納めるとした場合、便利と思うものはどれですか。(2つ以内に○)

図4-8 便利と思う税や保険料などの支払方法



税や保険料などを区に納めるとした場合、便利と思う方法を複数回答(2つまで)で尋ねた。

結果は、「口座振替」が51.4%で最も高く、「コンビニエンスストアでの払い込み」が39.8%で続いた。最も低かったのは「区役所本庁舎の窓口払い」の1.5%だった。

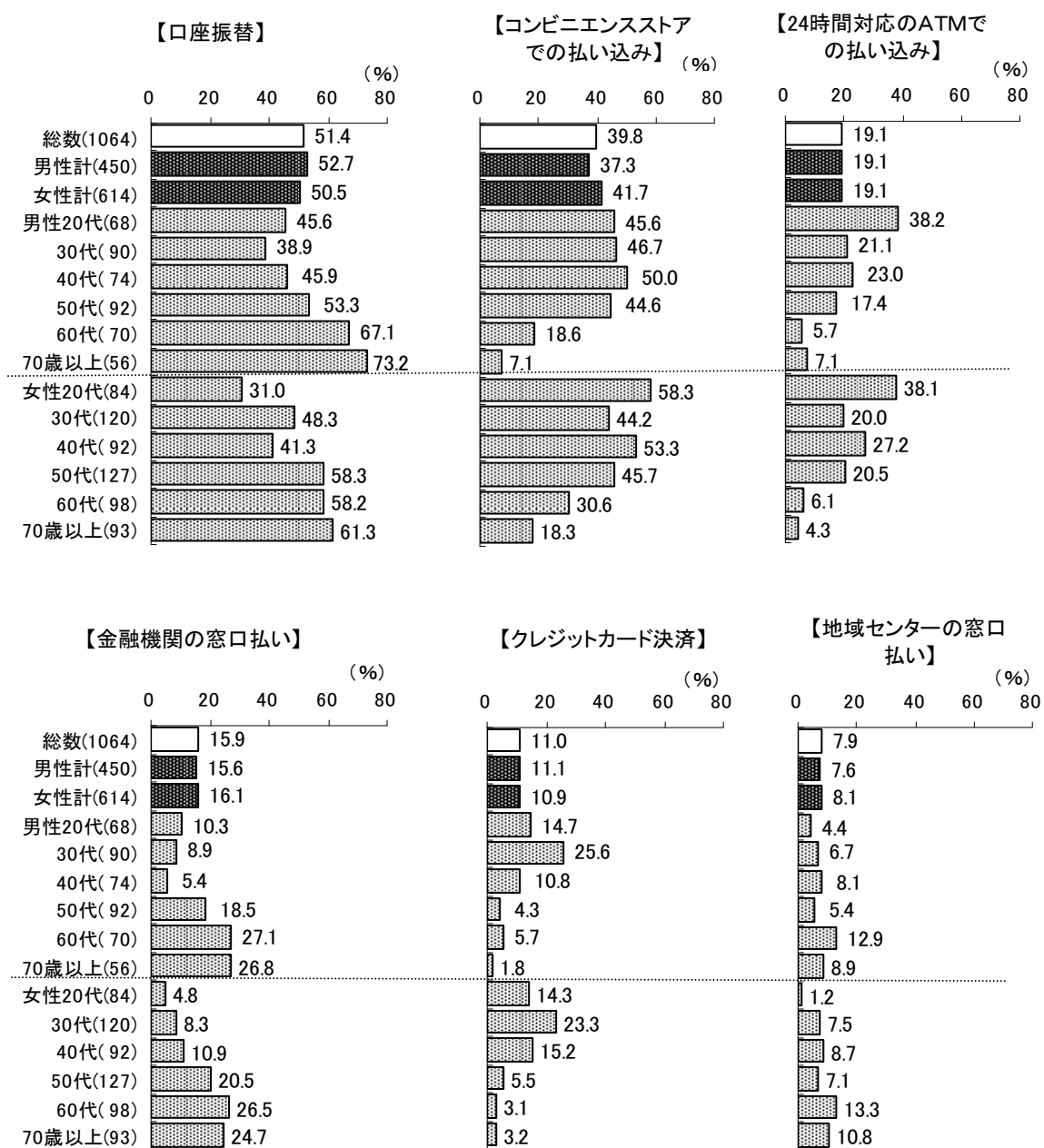
性・年代別で見ると、「口座振替」は男女とも50代以降の年代で5割を超え、特に男性60代(67.1%)・70歳以上(73.2%)で高い。反対に低いのは女性20代(31.0%)、男性30代(38.9%)となっている。

「コンビニエンスストアでの払い込み」は比較的幅広い年代で支持が高く、男女とも20～50代までの各年代で4割を超え、特に女性20代(58.3%)・40代(53.3%)で高い。男女とも60代以降は低くなり、男性70歳以上は7.1%で極端に低い。

「24時間対応のATMでの払い込み」は男女とも20代(各38.2%、38.1%)の支持が高い。「金融機関の窓口払い」は、男性は60代以降、女性は50代以降が2割を超え、他の年代に比べ高い。

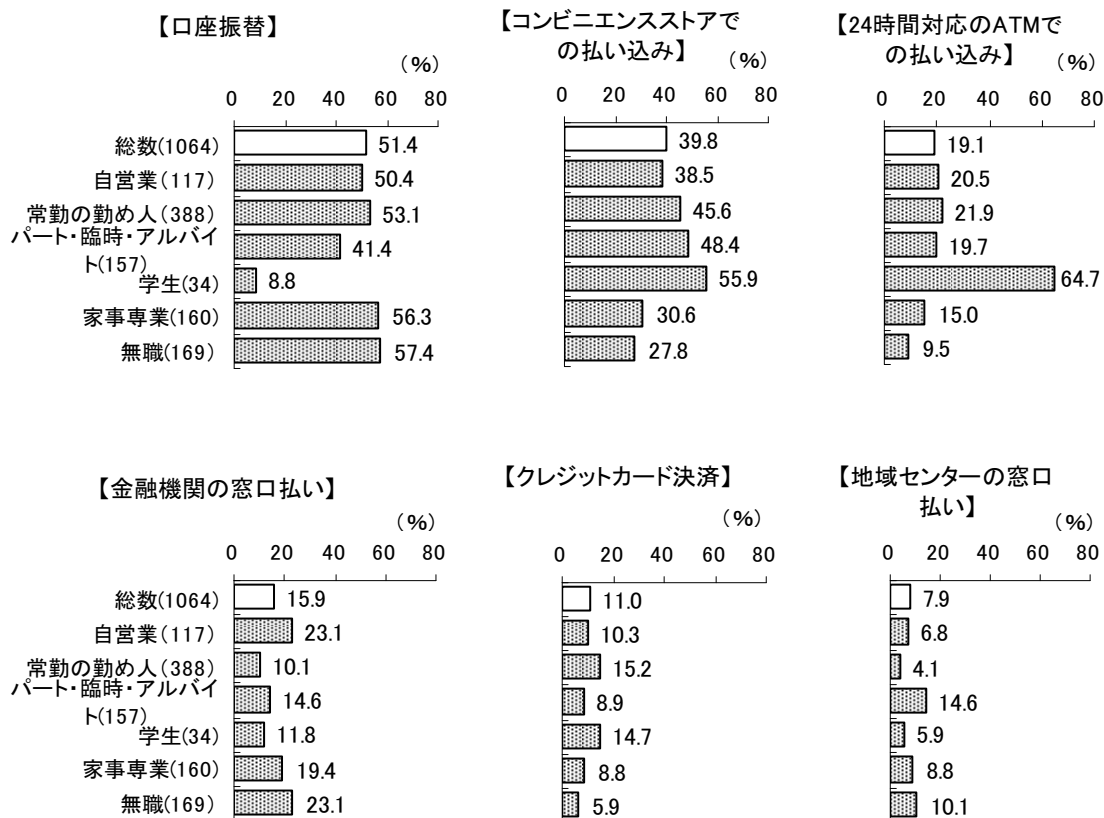
「クレジットカード決済」は全体的に低いですが、男女とも30代(各25.6%、23.3%)が他の年代に比べ、高い。「地域センターの窓口払い」も全体的に低いですが、男女とも60代(各12.9%、13.3%)が他の年代に比べ、やや高い。

図4-9 便利と思う税や保険料などの支払方法 -性・年代別- (上位6項目)



職業別でみると、「口座振替」はパート・臨時・アルバイトと学生以外は5割を超え、それぞれの職業でトップとなっている。「コンビニエンスストアでの払い込み」は他の支払方法に比べ、職業間での開きが比較的少なく、最も高いのが学生の55.9%、最も低いのが無職の27.8%となっている。「24時間対応のATMでの払い込み」は学生が64.7%で特に高く、無職(9.5%)が低い。

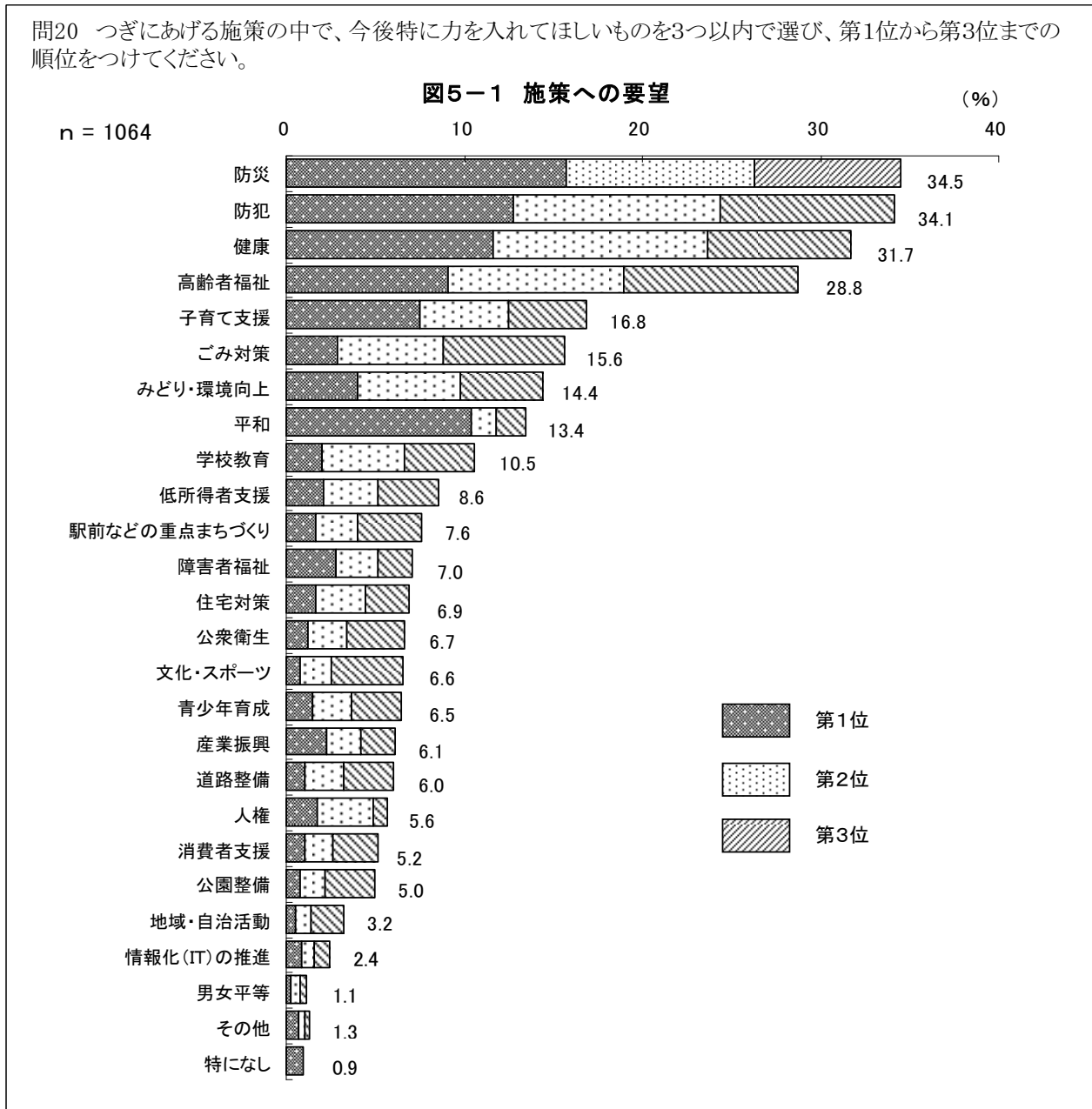
図4-10 便利と思う税や保険料などの支払方法 -職業別- (上位6項目)



5. 「施策への要望」について

(1) 施策への要望……ほぼ同率で1位「防災」、2位「防犯」

問20 つぎにあげる施策の中で、今後特に力を入れてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけてください。



24項目の中から、今後特に力を入れてほしい施策を3つ以内で第1位から第3位までの順位をつけて挙げてもらった。その結果、第1位から第3位までを合計すると、「防災」が34.5%で最も高く、ほぼ同率で「防災」(34.1%)が2位となり、「健康」(31.7%)、「高齢者福祉」(28.8%)が続いた。

過去10年間の上位6項目の推移を見ると、初めて「防災」がトップになり、昨年度1位だった「防犯」が2位、「健康」は昨年同様3位となった。一昨年まで11年間連続トップで昨年度2位だった高齢者福祉は4位だった。

また、これまで上位に挙げられなかった「子育て支援」（旧名称「児童福祉」）が今回は5位だった。

**表5-1 2005(平成17年度)までの施策への要望の時系列推移
第1位～第3位の合計値による上位6項目**

(%)

実施年度 ()は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
1996年 (1,041)	高齢者福祉 (43.1)	防災対策 (31.8)	公園・緑化推進 (26.8)	道路整備 (25.5)	環境・公害対策 (21.5)	都市計画など まちづくり (17.7)
1997年 (1,062)	高齢者福祉 (50.4)	環境・公害対策 (28.7)	防災対策 (26.8)	公園・緑化推進 (21.8)	障害者福祉 (17.3)	住宅施策 (16.0)
1998年 (1,063)	高齢者福祉 (53.5)	環境・公害対策 (35.6)	防災対策 (21.1)	公園・緑化推進 (18.2)	省資源施策 (リサイクル 等) (15.6)	障害者福祉 (15.2)
1999年 (1,057)	高齢者福祉 (44.9)	防災対策 (32.3)	環境・公害対策 (30.8)	住宅施策 (20.0)	省資源施策 (リサイクル 等) (19.3)	公園・緑化推進 (19.0)
2000年 (1,067)	高齢者福祉 (47.1)	環境・公害対策 (36.3)	防災対策 (23.5)	省資源施策 (リサイクル 等) (20.5)	学校教育 (17.3)	住宅施策 (16.1)
2001年 (1,122)	高齢者福祉 (45.3)	環境・公害対策 (32.0)	防災対策 (25.3)	省資源施策 (リサイクル 等) (20.2)	学校教育 (15.3)	住宅施策 (15.3)
2002年 (1,070)	高齢者福祉 (49.2)	環境・公害対策 (31.6)	防災対策 (19.4)	学校教育 (17.5)	住宅施策 (15.4)	省資源施策 (リサイクル 等) (12.7)
2003年 (1,084)	高齢者福祉 (38.4)	環境・公害対策 (29.6)	防災対策 (27.7)	住宅施策 (14.8)	公園・緑化推進 (14.7)	文化・スポーツ 施策 (13.7)
2004年 (1,087)	防犯 (43.6)	高齢者福祉 (25.5)	健康 (24.9)	防災 (20.2)	みどり・環境向 上 (17.6)	平和 (16.8)
2005年 (1,064)	防災 (34.5)	防犯 (34.1)	健康 (31.7)	高齢者福祉 (28.8)	子育て支援 (16.8)	ごみ対策 (15.6)

表5-2 施策への要望 順位の変化

	2001年	2002年	2003年	2004年	今回
1位	高齢者福祉 45.3%	高齢者福祉 49.2%	高齢者福祉 38.4%	防犯 43.6% (新規)	防災 34.5%
2位	環境・公害対策 32.0%	環境・公害対策 31.6%	環境・公害対策 29.6%	高齢者福祉 25.5%	防犯 34.1%
3位	防災対策 25.3%	防災対策 19.4%	防災対策 27.7%	健康 24.9% (新規)	健康 31.7%
4位	省資源施策 20.2%	学校教育 17.5%	住宅対策 14.8%	防災 20.2%	高齢者福祉 28.8%
5位	学校教育／ 住宅施策 15.3%	住宅施策 15.4%	公園・緑化推進 14.7%	みどり・環境向上 17.6% (新規)	子育て支援 16.8%
6位		省資源施策 12.7%	文化・スポーツ施策 13.7%	平和 16.8%	ごみ対策 15.6%
7位	清掃事業施策 12.7% (新規)	都市計画など まちづくり 12.2%	低所得者施策 13.5%	子育て支援 14.1% (新規)	みどり・環境向上 14.4%
8位	公園・緑化推進 11.2%	障害者福祉 11.7%	都市計画など まちづくり 13.1%	ごみ対策 12.7% (新規)	平和 13.4%
9位	児童福祉 10.7%	児童福祉 11.6%	学校教育 12.5%	駅前などの重 点まちづくり 11.7% (新規)	学校教育 10.5%
10位	低所得者施策 10.0%	公園・緑化推進 11.1%	児童福祉 11.7%	文化・スポーツ 11.2%	低所得者支援 8.6%
11位	都市計画など まちづくり 9.6%	清掃事業施策 ／文化・スポ ーツ施策 10.8%	省資源施策 11.4%	学校教育 10.8%	駅前などの重 点まちづくり 7.6%
12位	文化・スポーツ施策 9.5%		保健衛生施策 10.1%	住宅対策 8.7%	障害者福祉 7.0%

図5-2-① 施策への要望 順位変化

<注> () は 2003 年度までの旧名称

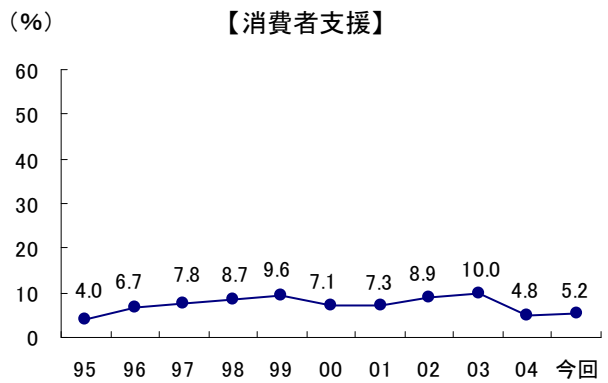
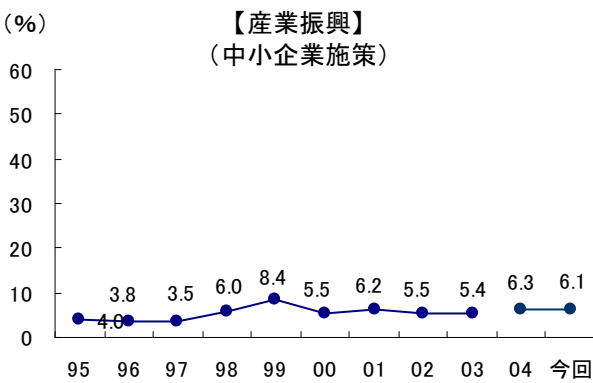
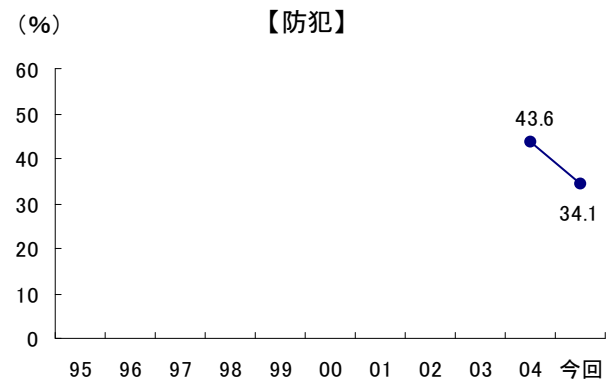
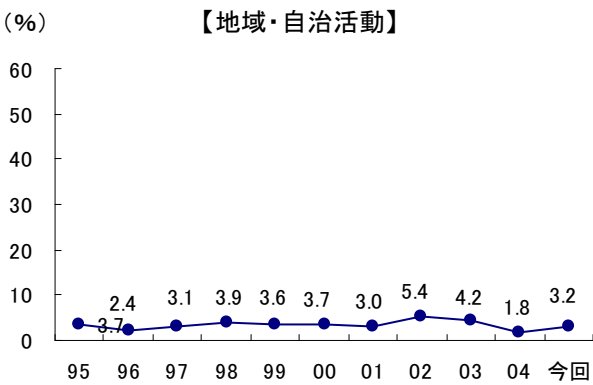
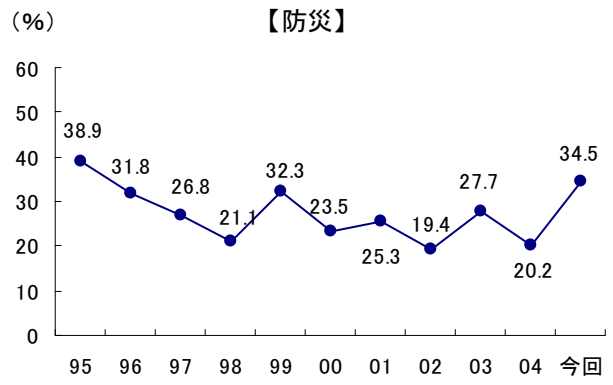
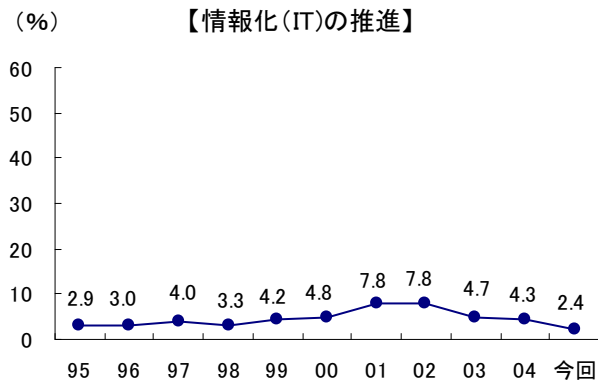
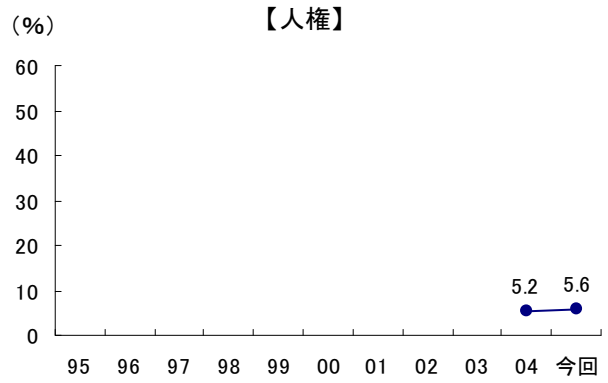
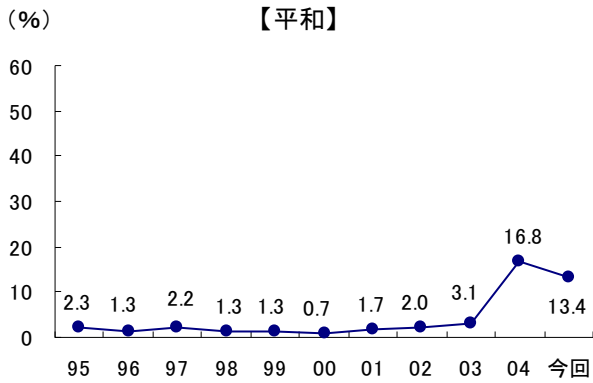


図5-2-② 施策への要望 順位変化

<注> () は 2003 年度までの旧名称

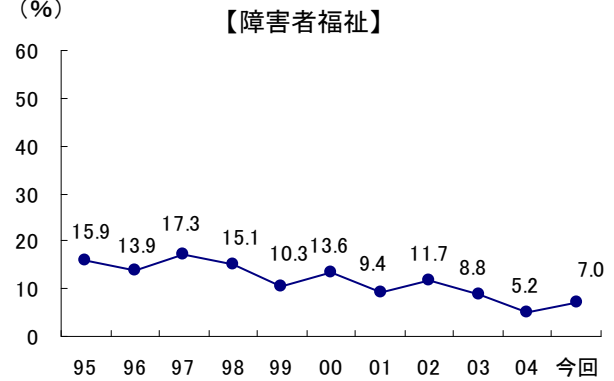
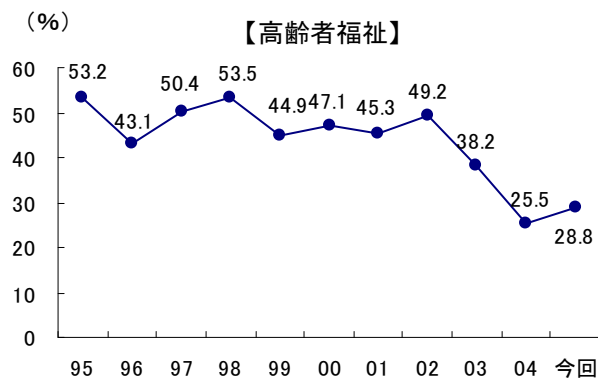
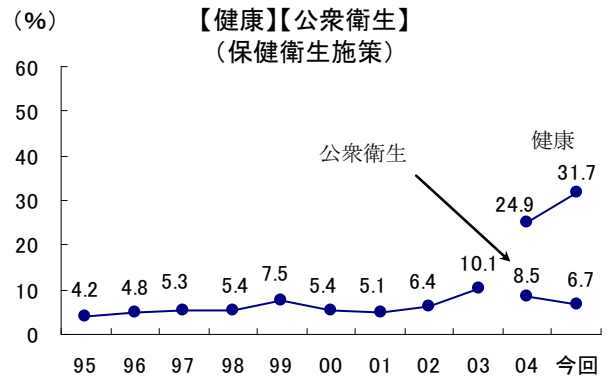
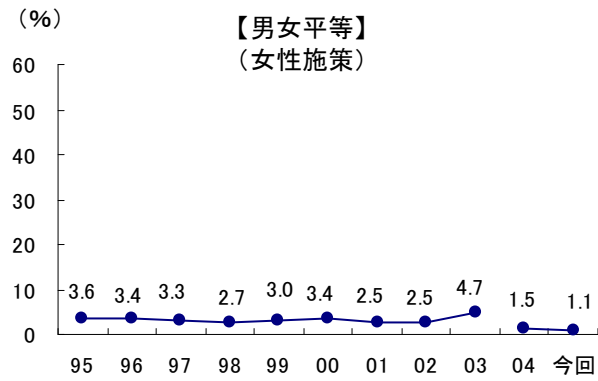
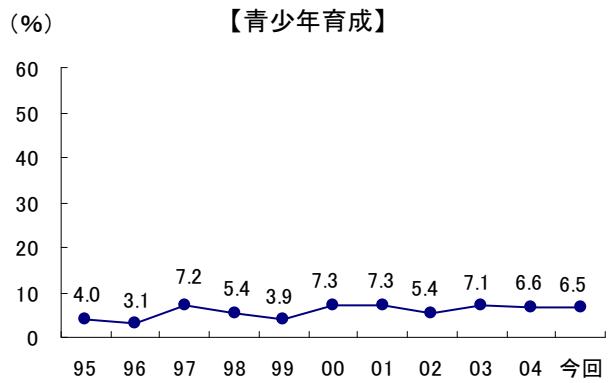
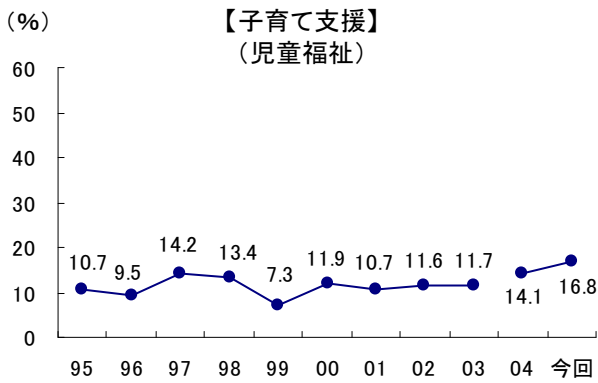
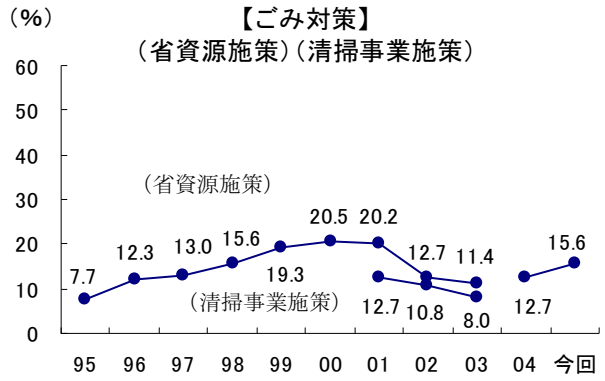
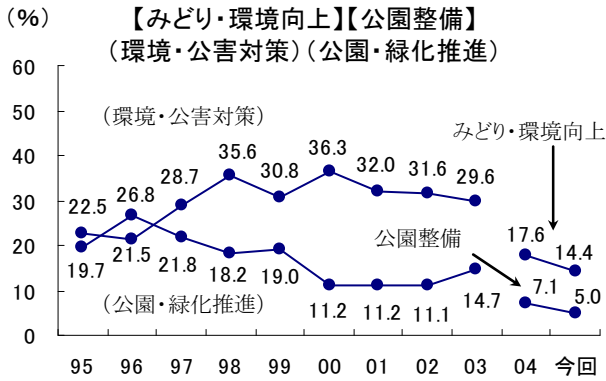
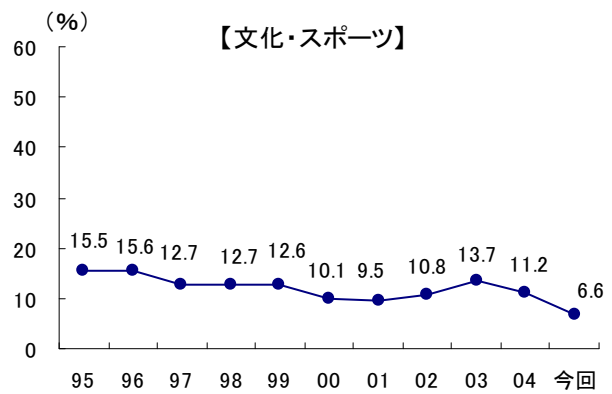
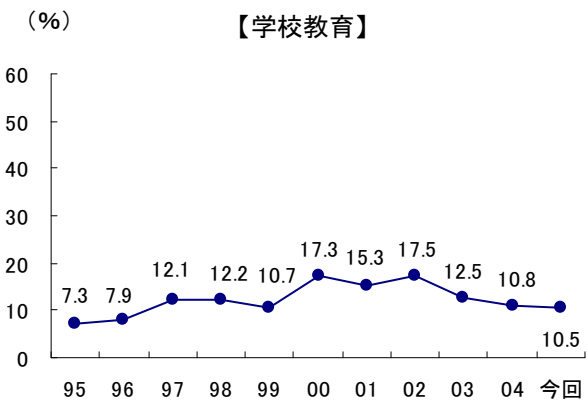
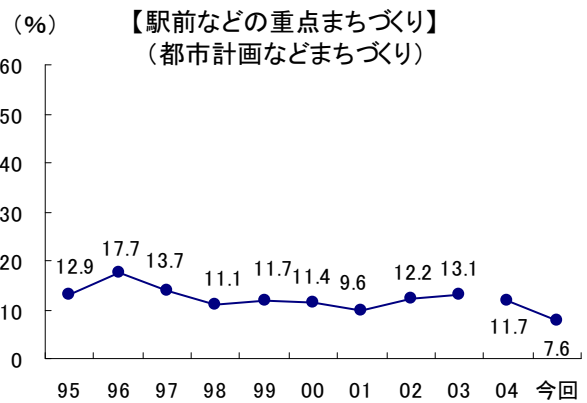
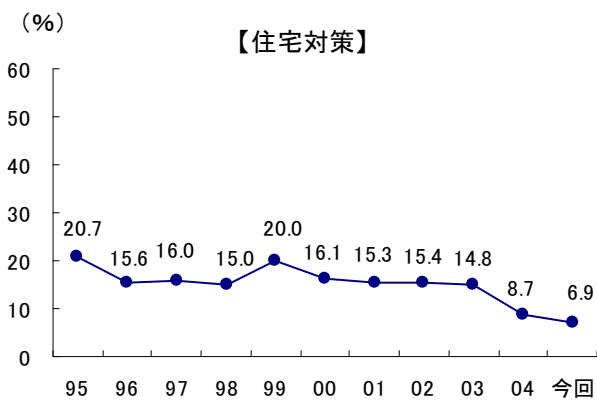
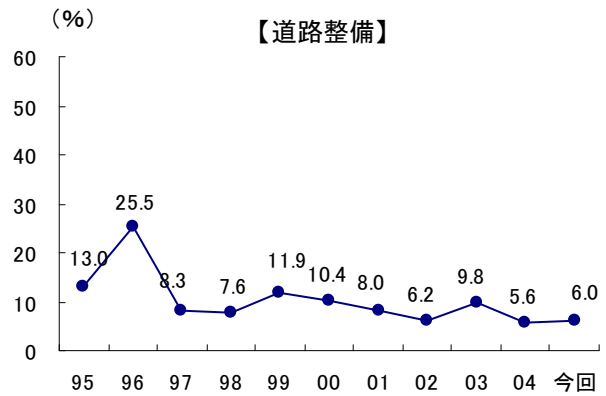
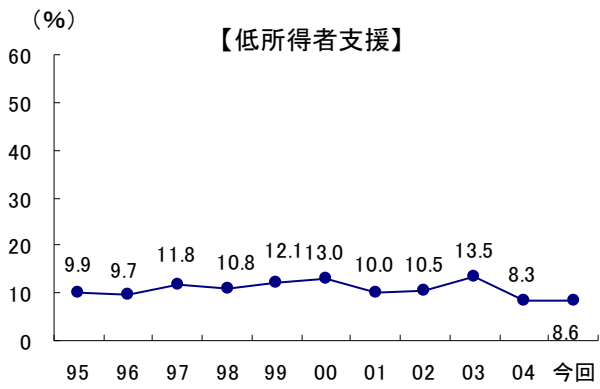


図5-2-③ 施策への要望 順位変化

<注> () は2003年度までの旧名称



性・年代別で見ると、男性の1位は「防犯」、女性は「健康」となっている。総数で第1位の「防災」はすべての年代で4位以上に挙げられており、特に男性40代では51.4%と高い。第2位の「防犯」は、男性では20代・30代・60代・70歳以上で1位となっており、女性では20代で1位となっている。第3位の「健康」は、男性では50代が同率1位で、女性では20代以外のすべての年代で2位以上となっている。第4位の「高齢者福祉」は男女とも50代以降で順位が高い。第5位の「子育て支援」は男女とも40代までの若い世代が6位以内に挙げ、女性30代では1位となっている。第6位の「ごみ対策」は、男性では30代と50代以降、女性では20代と50代以降が6位以内に挙げている。

総数で6位以内に挙げられなかった項目では、「みどり・環境向上」が男性60代と女性20～60代に、「平和」が男性20代と男女の60代以降に、「学校教育」が男性30代・40代と女性30代に、「低所得者支援」が男性50代に、「駅前などの重点まちづくり」が女性20代に、「青少年育成」が男性20代にそれぞれ6位以内に挙げられた。

表5-3 施策への要望(上位6項目) -性・年代別-

(%)

総数		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
		防災 34.5	防犯 34.1	健康 31.7	高齢者福祉 28.8	子育て支援 16.8	ごみ対策 15.6
男性	合計	防犯 39.1	防災 36.7	高齢者福祉 27.8	健康 27.1	ごみ対策 16.0	子育て支援 14.2
	20代	防災/防犯 36.8		平和 17.6	子育て支援/高齢者福祉 16.2		青少年育成/ 健康 14.7
	30代	防犯 37.8	防災 34.4	子育て支援/健康 23.3		高齢者福祉 20.3	ごみ対策/学 校教育 13.3
	40代	防災 51.4	防犯 43.2	健康 25.7	子育て支援 21.6	高齢者福祉 20.5	学校教育 17.6
	50代	健康/高齢者福祉 34.8		防災/防犯 33.7		ごみ対策 17.4	低所得者支援 14.1
	60代	防犯/高齢者福祉 40.0		健康 37.1	防災 31.4	ごみ対策 18.6	平和/みど り・環境向上 11.4
	70歳以上	防犯/高齢者福祉 46.4		防災 32.1	健康 25.0	ごみ対策 17.9	平和 16.1
女性	合計	健康 35.0	防災 32.9	防犯 30.5	高齢者福祉 29.5	子育て支援 18.7	みどり・ 環境向上 17.8
	20代	防犯 34.5	防災 26.2	子育て支援 23.8	健康/駅前など重点まちづく り 22.6		みどり・環 境向上/ご み対策 17.9
	30代	子育て支援 37.5	健康 32.5	防犯 27.5	防災 26.7	学校教育 17.5	みどり・ 環境向上 16.7
	40代	防災 37.0	健康 33.7	防犯 31.5	みどり・環境向上/高齢者福祉 21.7		子育て支援 16.3
	50代	防災 42.5	健康/高齢者福祉 37.0		防犯 29.1	みどり・ 環境向上 19.7	ごみ対策 15.7
	60代	健康 46.9	高齢者福祉 43.9	防災 29.6	防犯 28.6	みどり・ 環境向上 19.4	平和/ご み対 策 17.3
	70歳以上	高齢者福祉 44.1	健康 35.5	防災/防犯 33.3		平和 25.8	ごみ対策 12.9

職業別でみると、総数で第1位の「防災」は職業間で差がみられ、常勤の勤め人と家事専業では1位であるが、学生からは6位以内に挙げられなかった。第2位の「防犯」は職業別の1位はないが、すべての職業から4位以内に挙げられた。第3位の「健康」もすべての職業から4位以内に挙げられ、自営業とパート・臨時・アルバイトでは1位であった。第4位の「高齢者福祉」もすべての職業から4位以内に挙げられ、学生で同率1位、無職で1位であった。第5位の「子育て支援」は常勤の勤め人と家事専業から5位に、学生から同率1位に挙げられた。第6位の「ごみ対策」は自営業が5位、常勤の勤め人が6位であった。

このほか、総数で6位以内に挙げられなかった項目として「産業振興」が自営業から6位に、「低所得者支援」がパート・臨時・アルバイトから6位に、「平和」がパート・臨時・アルバイト、学生、無職から同率を含めそれぞれ5位に、「みどり・環境向上」が学生から同率5位、家事専業から6位に挙げられている。

表5-4 施策への要望(上位6項目) -職業別-

(%)

総数		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
		防災 34.5	防犯 34.1	健康 31.7	高齢者福祉 28.8	子育て支援 16.8	ごみ対策 15.6
自営業		健康 34.2	防災/防犯 32.5		高齢者福祉 26.5	ごみ対策 19.7	産業振興 17.1
勤め人	常勤の勤め人	防災 41.0	防犯 39.7	健康 27.3	高齢者福祉 23.2	子育て支援 20.4	ごみ対策 16.2
	パート・臨時・アルバイト	健康 34.4	防犯 31.8	防災 29.3	高齢者福祉 26.8	平和 16.6	低所得者支援 15.9
無職	学生	子育て支援/高齢者福祉 26.5		防犯/健康 20.6		平和/みどり・環境向上 17.6	
	家事専業	防災 35.6	健康/高齢者福祉 34.4		防犯 32.5	子育て支援 30.0	みどり・環境向上 21.9
	無職	高齢者福祉 38.5	健康 34.3	防犯 29.6	防災 29.0	平和 17.2	低所得者支援 13.6

地域別で見ると、総数の上位4項目である「防災」「防犯」「健康」「高齢者福祉」が、順位は違うがすべての地域で上位4項目に挙げられている。

総数で第1位の「防災」は江古田・沼袋と野方・大和で、第2位の「防犯」は鍋横・桃園、昭和・東中野、鷺宮・上鷺宮で1位となっている。南中野は「高齢者福祉」、弥生・東部は「健康」がそれぞれ1位となっており、上高田・新井は「防災」「健康」「高齢者福祉」が同率1位となっている。

総数で6位以内に挙げられなかった項目としては、「みどり・環境向上」が鍋横・桃園、昭和・東中野、上高田・新井、野方・大和、鷺宮・上鷺宮から、「平和」が南中野、弥生・東部、江古田・沼袋から、「学校教育」が江古田・沼袋から6位以内に挙げられた。

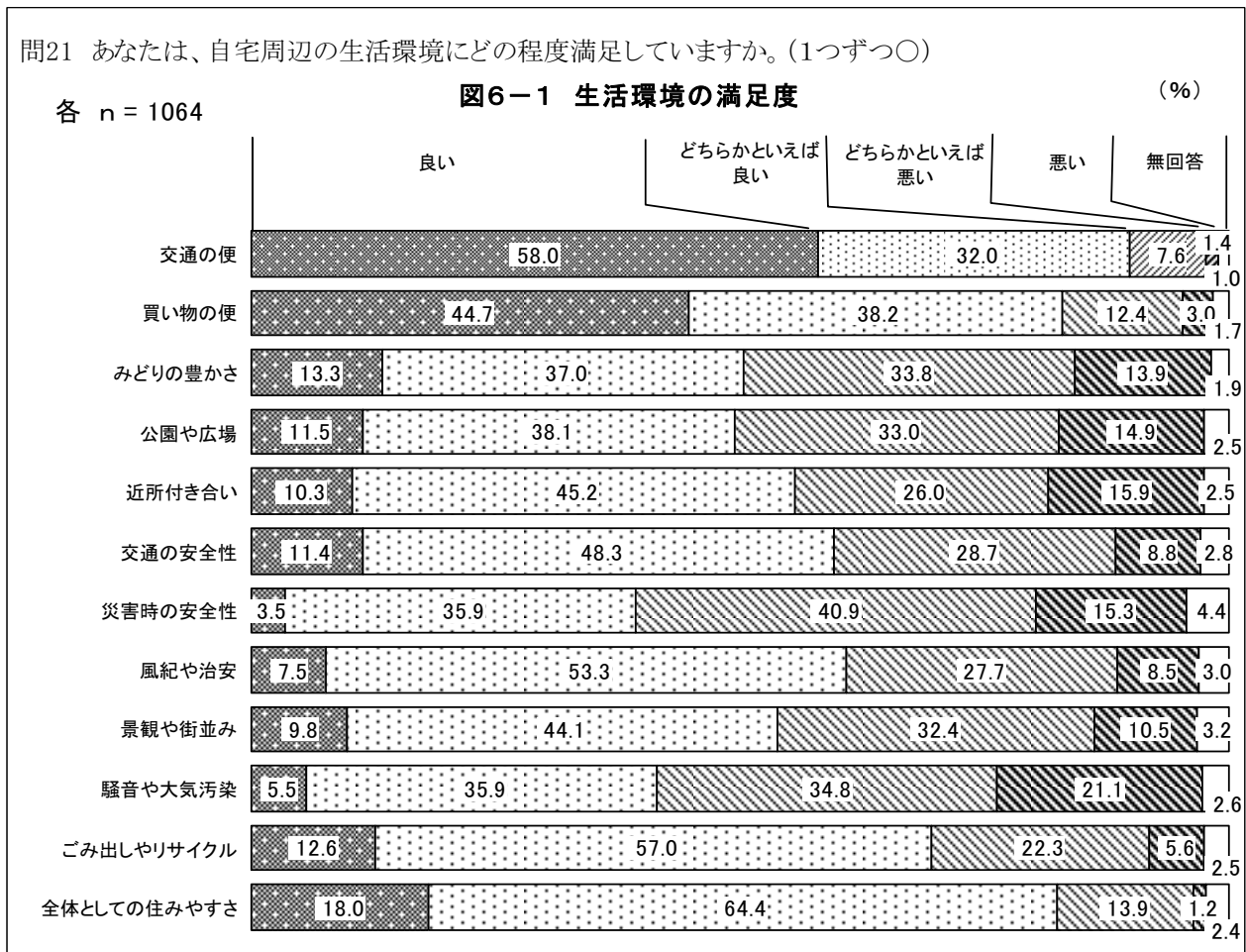
表5-5 施策への要望(上位6項目) -地域別-

(%)

総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
	防災 34.5	防犯 34.1	健康 31.7	高齢者福祉 28.8	子育て支援 16.8	ごみ対策 15.6
南中野	高齢者福祉 34.9	防犯 34.1	健康 31.7	防災 31.0	平和 18.3	子育て支援 17.5
弥生・東部	健康 34.2	防災 31.6	防犯 28.5	高齢者福祉 27.5	平和 18.1	子育て支援 16.6
鍋横・桃園	防犯 39.9	防災 38.5	健康 32.9	高齢者福祉 21.0	ごみ対策 17.5	みどり・ 環境向上 16.8
昭和・東中野	防犯 43.6	防災 40.0	健康／高齢者福祉 27.3		子育て支援 18.2	みどり・ 環境向上 16.4
上高田・新井	防災／健康／高齢者福祉 34.9			防犯 24.1	みどり・ 環境向上 19.3	子育て支援 16.9
江古田・沼袋	防災 37.8	防犯 34.8	高齢者福祉 29.6	健康 28.9	子育て支援 19.3	平和／ごみ対 策／学校教育 14.1
野方・大和	防災 39.1	防犯 36.2	高齢者福祉 35.5	健康 32.6	ごみ対策 20.3	みどり・ 環境向上 12.3
鷺宮・上鷺宮	防犯 35.1	防災／健康 29.3		高齢者福祉 24.1	子育て支援 23.0	みどり・ 環境向上 16.8

6. 「生活環境の満足度」について

(1)生活環境の満足度……「良い」は“交通の便”、「悪い」は“騒音や大気汚染”がトップ



自宅周辺の生活環境を、“全体としての住みやすさ”を含めた12項目に分けて「良い」「どちらかといえば良い」「どちらかといえば悪い」「悪い」の4段階で評価してもらった。

「良い」で目立つのは“交通の便”(58.0%)と“買い物の便”(44.7%)、「悪い」で目立つのは“騒音や大気汚染”(21.1%)となっている。

また、「良い」と「どちらかといえば良い」の合計を『満足層』としたところ、割合が最も高かったのは“交通の便”(90.0%)、次いで“買い物の便”(82.9%)、“ごみ出しやリサイクル”(69.6%)となった。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合計した『不満足層』が高かったのは“災害時の安全性”(56.2%)、“騒音や大気汚染”(55.9%)、“公園や広場”(47.9%)、“みどりの豊かさ”(47.7%)だった。

「全体としての住みやすさ」は『満足層』が82.4%、『不満足層』が15.1%となっている。

【生活環境の評価点】

満足度の比較をより明確にするために、4段階評価に点数を与え、下式により評価点を算出して、各項目の評価を行った。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「良い」の回答者数} \times 4 \text{点} \\ + \text{「どちらかといえば良い」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ + \text{「どちらかといえば悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点} \end{array}}{\text{全回答者数 (1,064) - 無回答}}$$

◎この算出方では、評価点は1.00～4.00の間に分布し、2.50が中間値になる

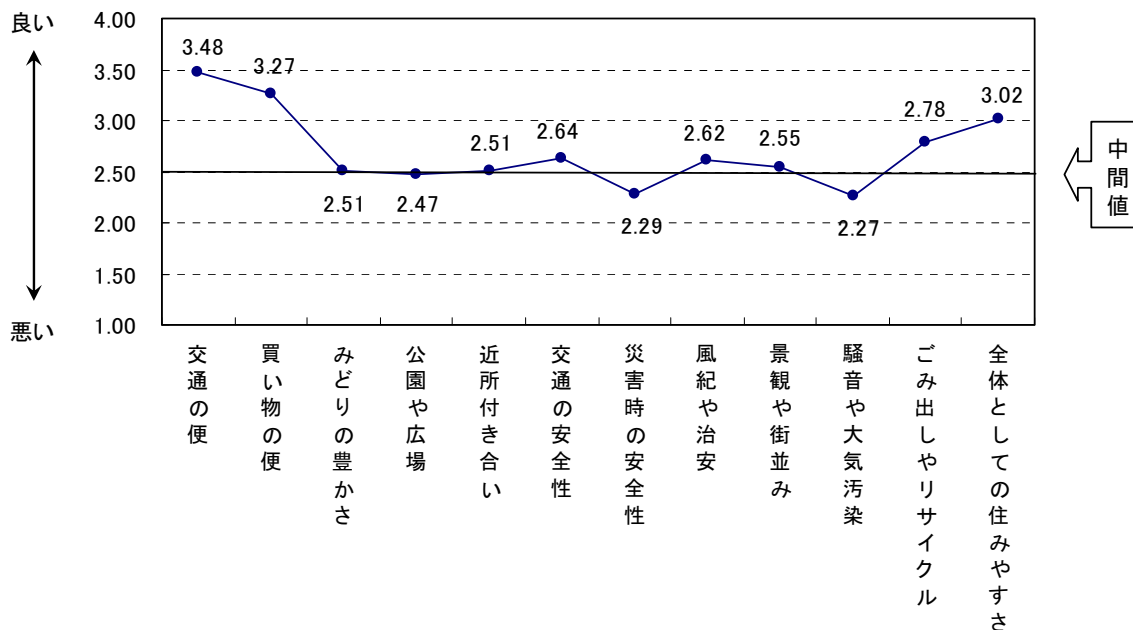
◎4.00に近いほど評価が良く、1.00に近いほど評価が悪い

中間値よりも評価が高い項目は、高い順に「交通の便」(3.48)、「買い物の便」(3.27)、「ごみ出しやリサイクル」(2.78)、「交通の安全性」(2.64)、「風紀や治安」(2.62)、「景観や街並み」(2.55)、「近所付き合い」(2.51)となっている。

一方、中間値よりも評価が低い項目は、低い順に「騒音や大気汚染」(2.27)、「災害時の安全性」(2.29)、「公園や広場」(2.47)となっている。

「全体としての住みやすさ」は3.02であった。

図6-2 生活環境の評価点



地域別で見ると、「交通の便」、「買い物の便」、「交通の安全性」、「ごみ出しやリサイクル」はすべての地域で中間値よりも評価が高く、「災害時の安全性」はすべての地域で中間値よりも評価が低い。地域間で評価の差があるのは、差が大きい順に「公園や広場」、「みどりの豊かさ」、「買い物の便」となっている。「全体としての住みやすさ」は、すべての地域で中間値を上回り、地域間の差は少ない。

図6-3-① 生活環境の評価点 ー地域別ー

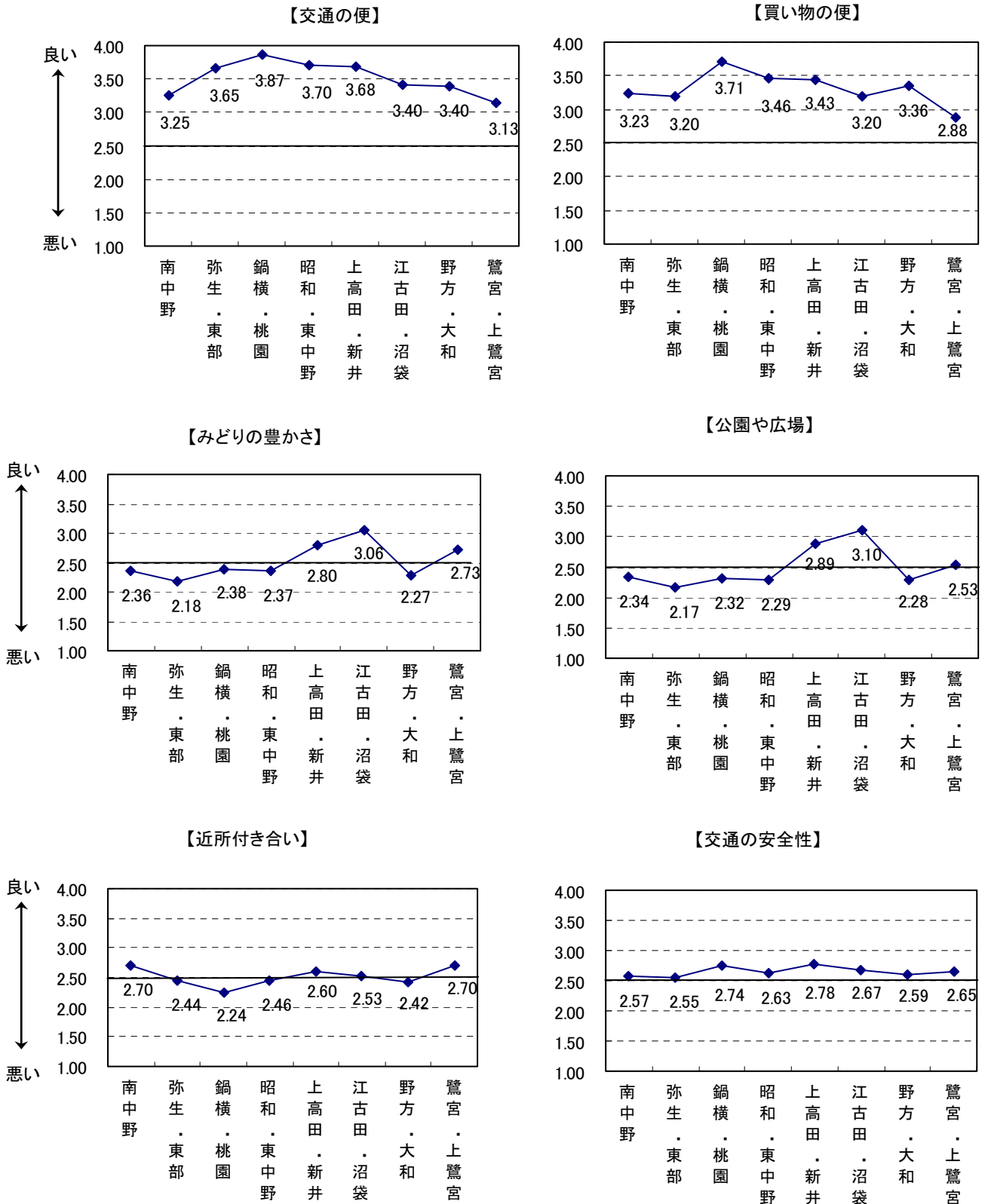
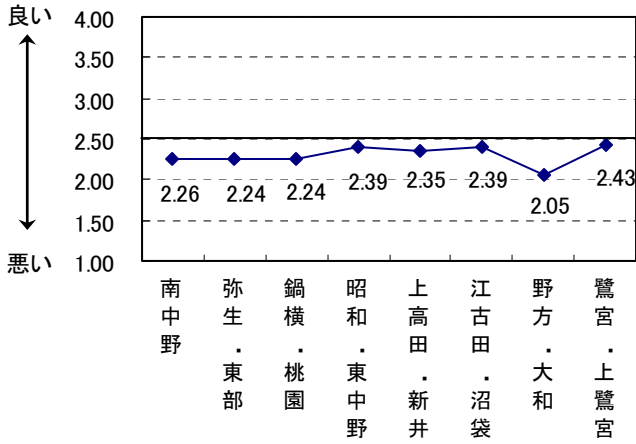
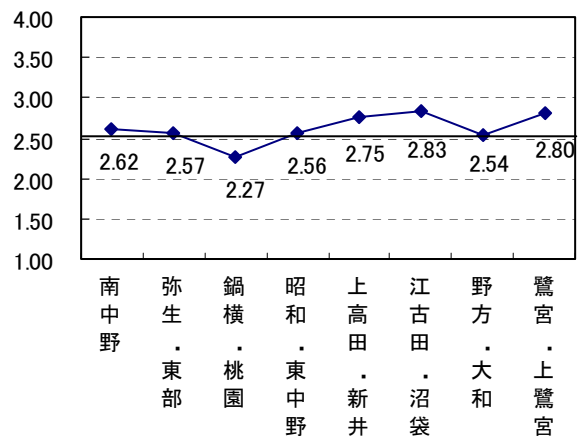


図6-3-② 生活環境の評価点 一地域別一

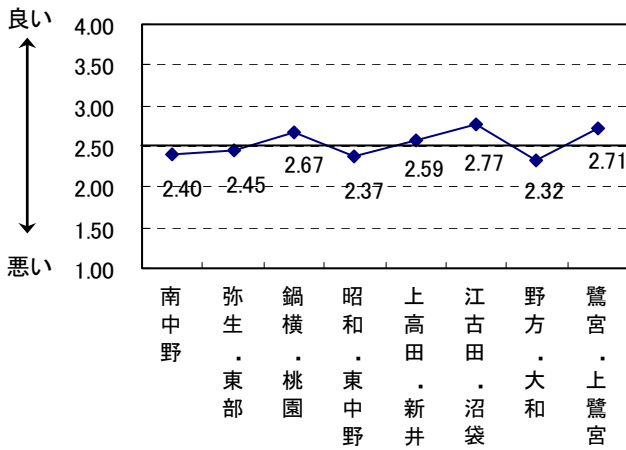
【災害時の安全性】



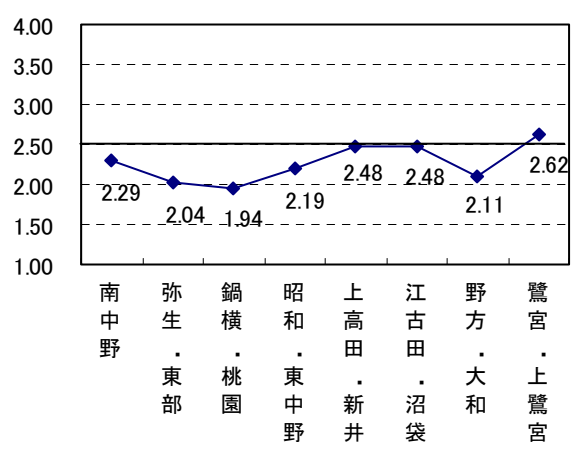
【風紀や治安】



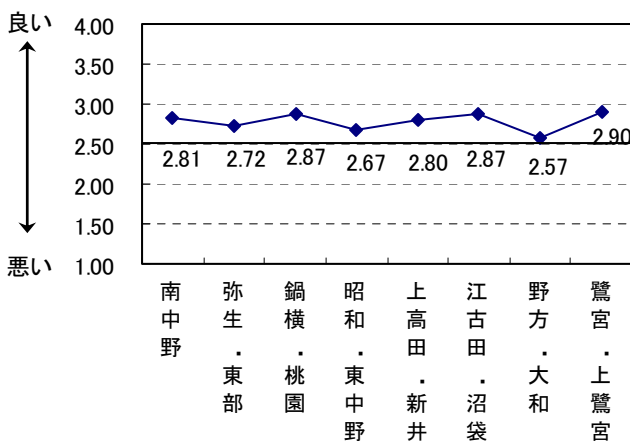
【景観や街並み】



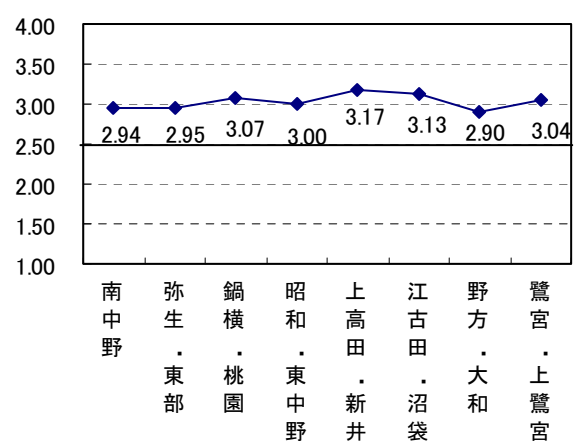
【騒音や大気汚染】



【ごみ出しやリサイクル】

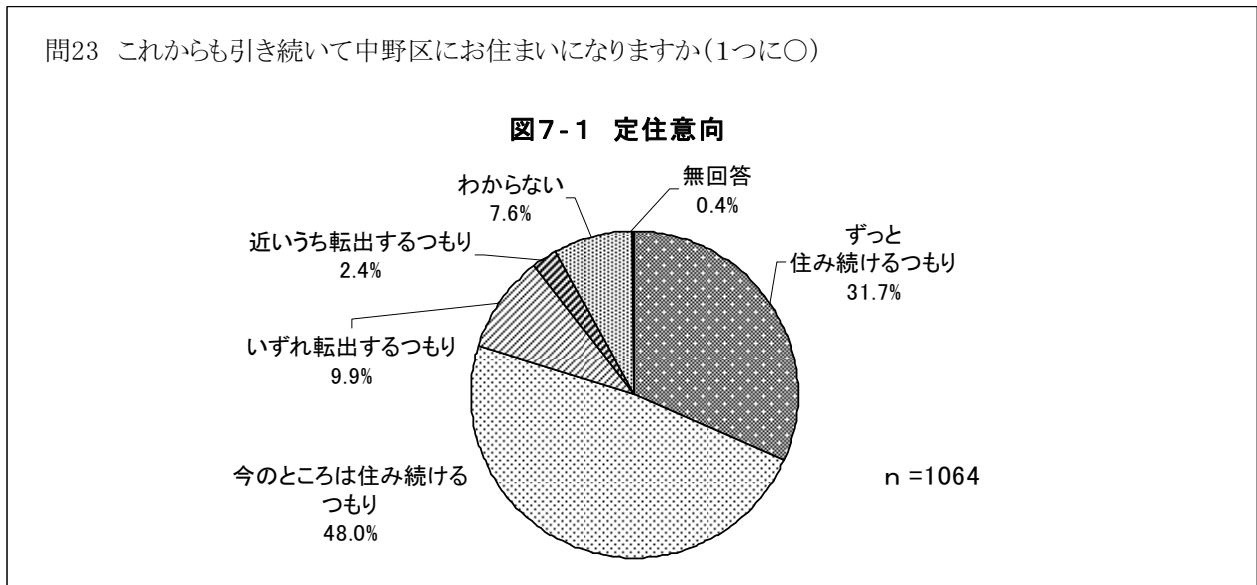


【全体としての住みやすさ】



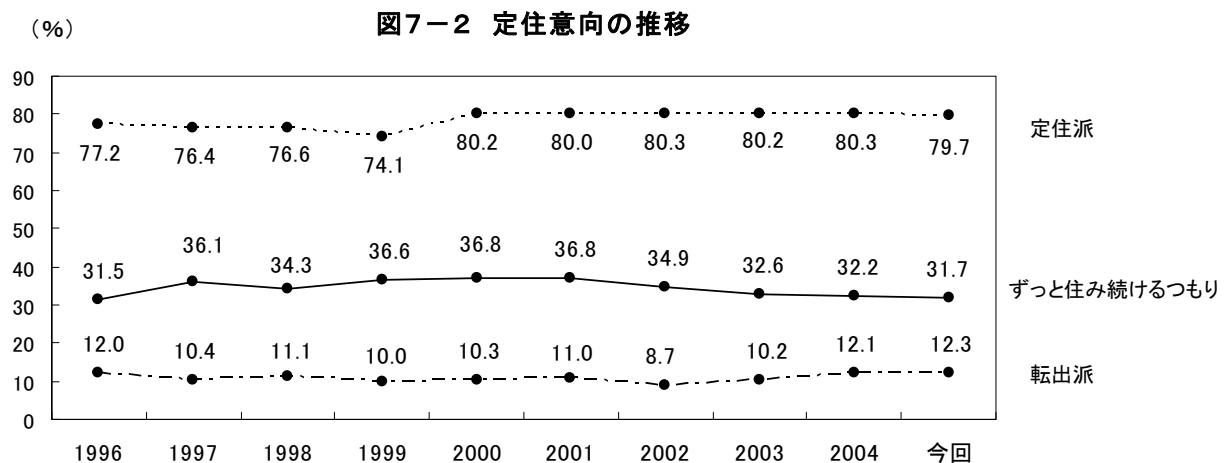
7. 「定住意向」について

(1) 定住意向……『定住派』(「ずっと住み続けるつもり」+「今のところは住み続けるつもり」)は8割

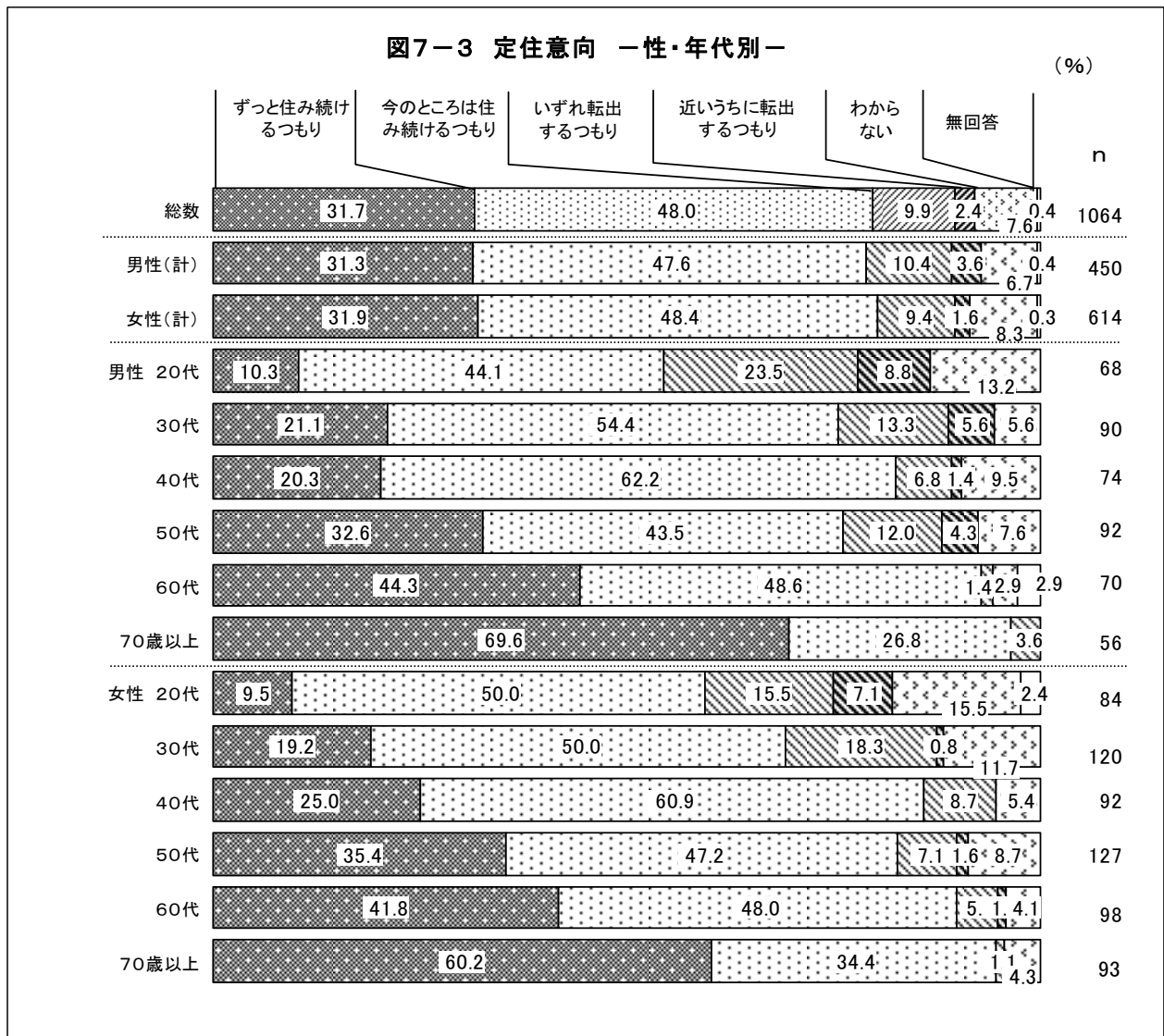


定住意向をたずねたところ、「ずっと住み続けるつもり」31.7%、「今のところは住み続けるつもり」48.0%、これを合計した“住み続ける”という『定住派』は、79.7%という結果だった。一方、「いずれ転出するつもり」9.9%と「近いうち転出するつもり」2.4%を合計した“転出するつもり”という『転出派』は12.3%だった。

過去10年間の定住意向の推移をみると、『定住派』は2000年度以降、横ばいとなっている。『転出派』は2002年度からみるとやや上昇傾向にあるが、昨年度とはほぼ同率であった。

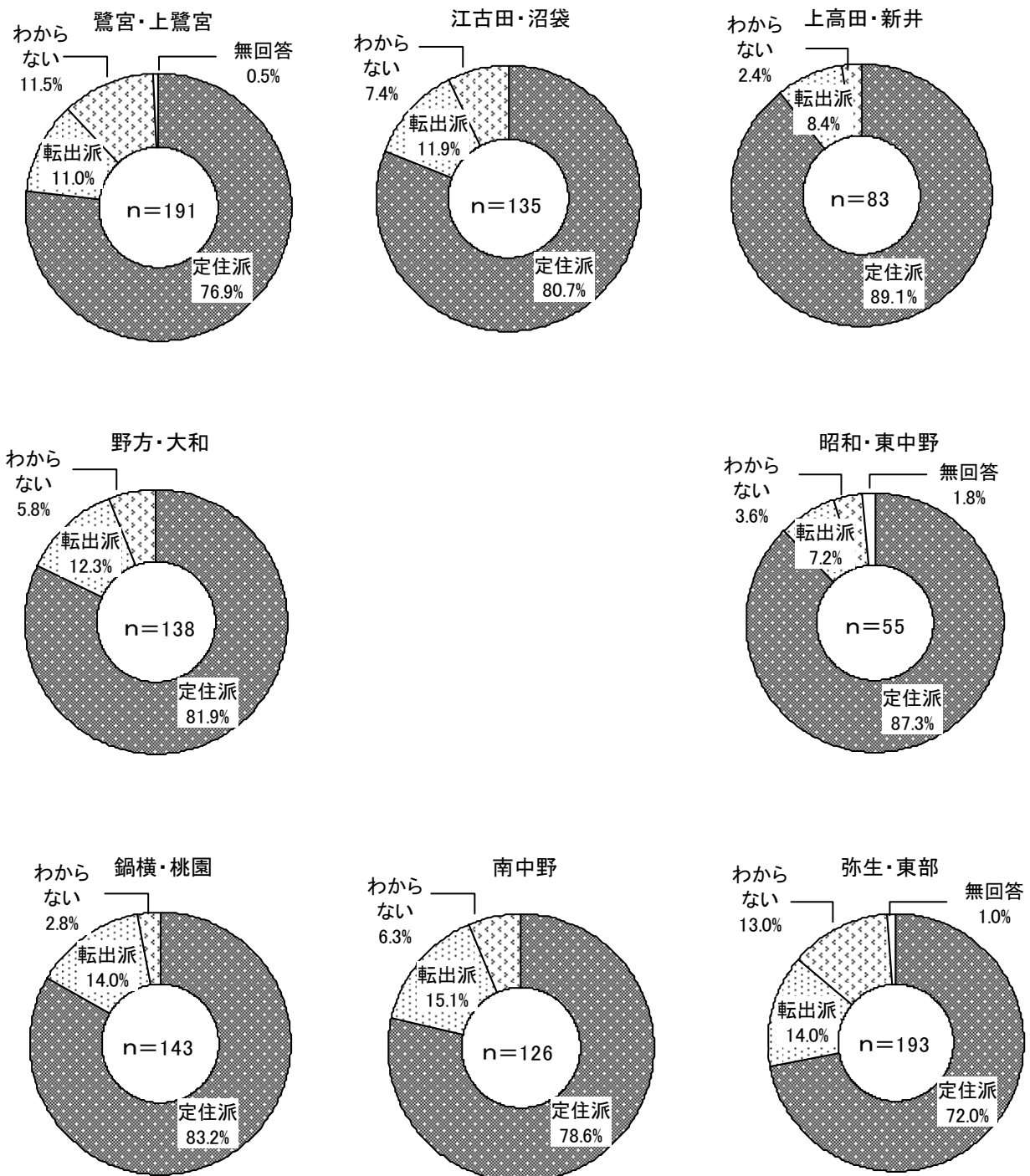


性・年代別で見ると、「ずっと住み続けるつもり」は男女間で差異はみられないが、年代では差が大きく、男女とも年代が高くなるにつれ、増加する傾向にある。『転出派』は、男性 20 代 (32.3%) で目立っている。



地域別では、『定住派』の割合が高い地域は、上高田・新井（89.1%）と昭和・東中野（87.3%）だった。一方、『転出派』は、南中野（15.1%）、鍋横・桃園（14.0%）弥生・東部（14.0%）が他の地域に比べ、やや高い。

図7-4 定住意向 -地域別-

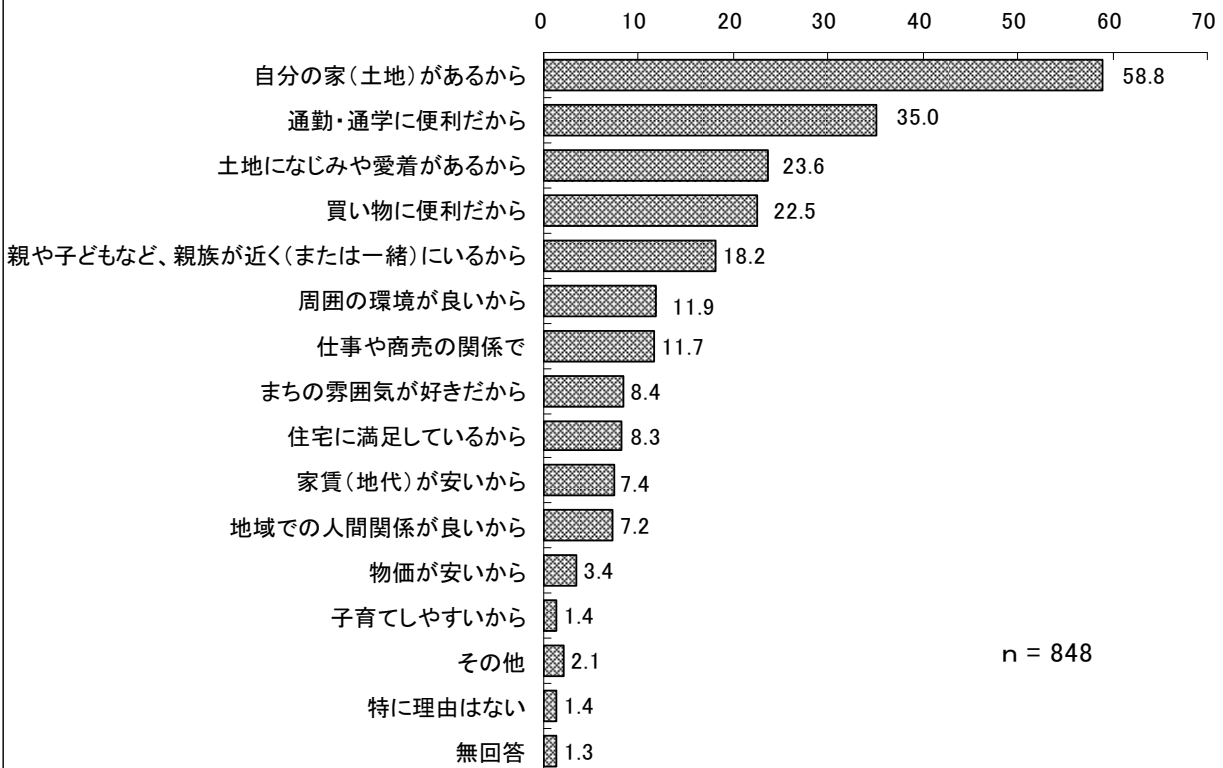


(2) 住み続ける理由……「自分の家(土地)があるから」がトップ、次いで「通学・通学に便利だから」
 【問 23 で「ずっと住み続けるつもり」「今のところ住み続けるつもり」という方に】

問23-1 あなたが中野区に住み続ける主な理由は何ですか。(3つ以内○)

図7-5 住み続ける理由

(%)



“住み続ける”という『定住派』に、中野区に住み続ける理由を複数回答で該当する理由を3つまで挙げてもらった。

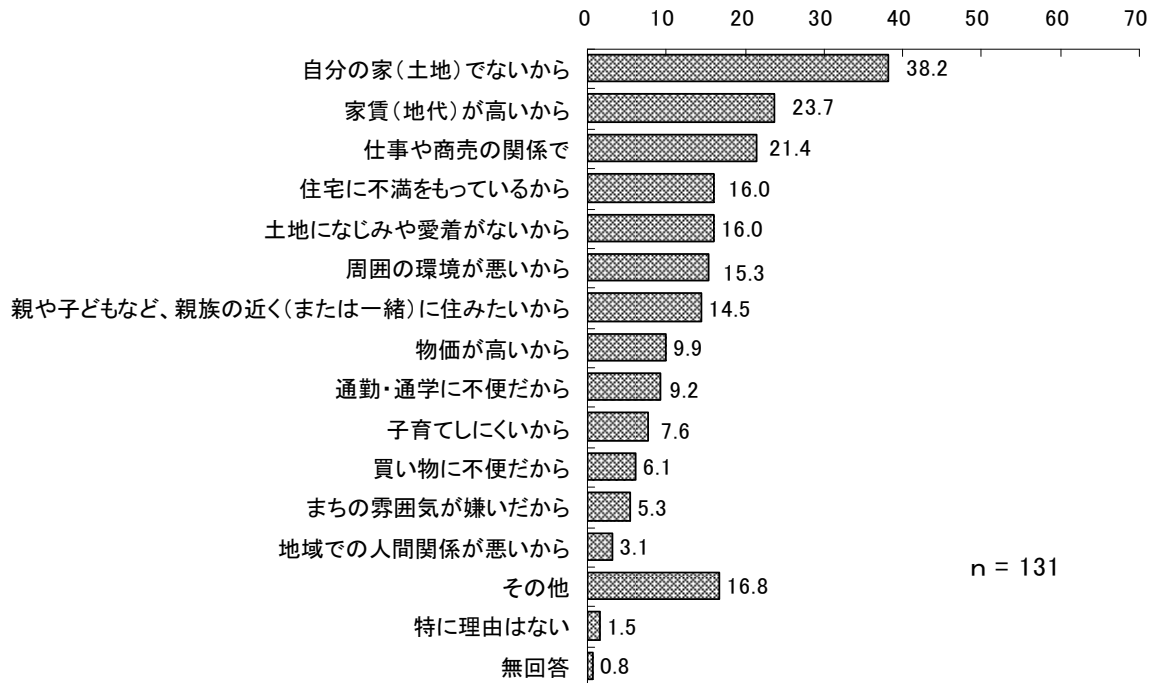
その結果、「自分の家(土地)があるから」58.8%が最も高く、次いで「通勤・通学に便利だから」(35.0%)、「土地になじみや愛着があるから」(23.6%)、「買い物に便利だから」(22.5%)が続いた。割合が低いのは「子育てしやすいから」1.4%、「物価が安いから」3.4%となっている。

(3) 転出する理由…… 「自分の家(土地)でないから」に次いで「家賃(地代)が高いから」の割合が高い
 【問 23 で「いずれ転出するつもり」「近いうちに転出するつもり」という方に】

問23-2 あなたが中野区から転出する主な理由は何ですか。(3つ以内○)

図7-6 転出する理由

(%)



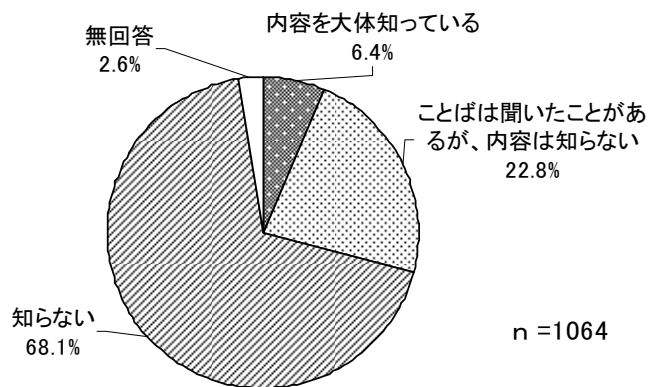
“転出するつもり”という『転出派』にその理由を複数回答（3つ以内）で挙げてもらったところ、「自分の家（土地）でないから」が 38.2%で最も高く、次いで「家賃（地代）が高いから」23.7%、「仕事や商売の関係で」21.4%となった。

8. 「新しい中野をつくる 10 か年計画」に関する事項

(1) 「中野区基本構想」の周知度……「知らない」が7割近く

問24 区は、幅広い区民の参加を得て、実現可能な区の指針である新しい「中野区基本構想」を今年3月に策定しました。あなたはこの「中野区基本構想」を知っていますか。

図8-1 「中野区基本構想」の周知度

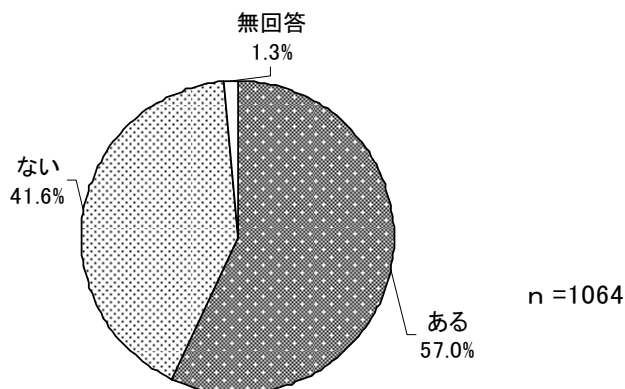


2005（平成17）年3月に策定した「中野区基本構想」を知っているか尋ねた。「内容を大体知っている」は6.4%、「ことばは聞いたことがあるが、内容は知らない」は22.8%、「知らない」は68.1%だった。

(2)区(本庁舎)の窓口の利用状況……過去1年間の利用者は6割弱

問25 区は、誰もが気持ちよく利用できる区役所を目標としています。あなたは、過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがありますか。

図8-2 区(本庁舎)の窓口の利用状況



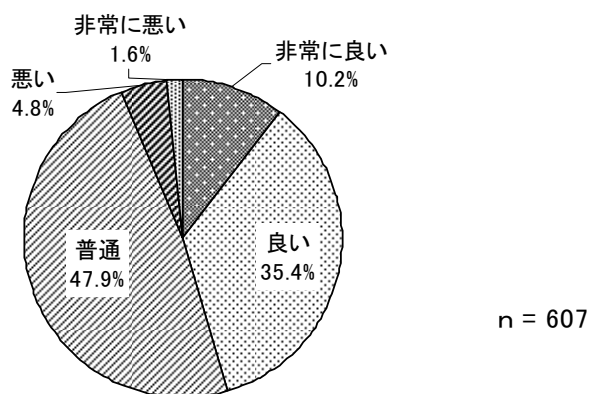
過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人は57.0%だった。

(3)職員の窓口対応……『満足層』は4割半ば

【問25で「ある」という方に】

問25-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに○)

図8-3 職員の窓口対応



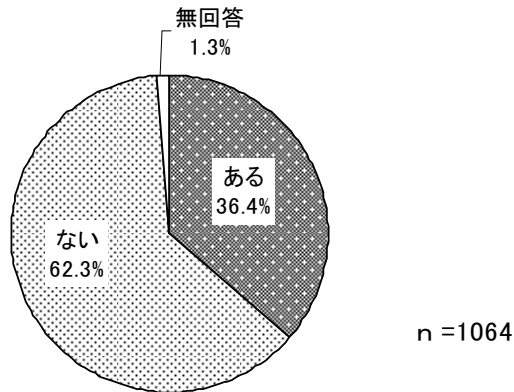
区役所本庁舎の窓口を利用したことがある人に、そのときの職員の対応について尋ねたところ、「非常に良い」(10.2%)と「良い」(35.4%)を合わせた『満足層』は45.6%だった。

反対に、「非常に悪い」(1.6%)と「悪い」(4.8%)を合わせた『不満層』は6.4%だった。

(4) 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況……過去1年間に問い合わせた人は3割半ば

問26 また、過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがありますか。

図8-4 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況



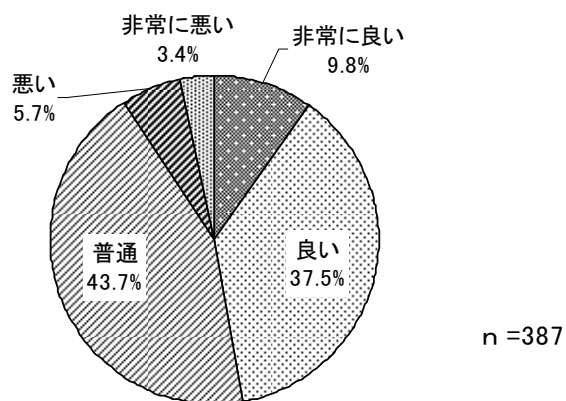
過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがあるか尋ねたところ、36.4%の人が「ある」と答えた。

(5) 職員の電話対応 ……『満足層』は47.3%

【問26で「ある」という方に】

問26-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに○)

図8-5 職員の電話対応



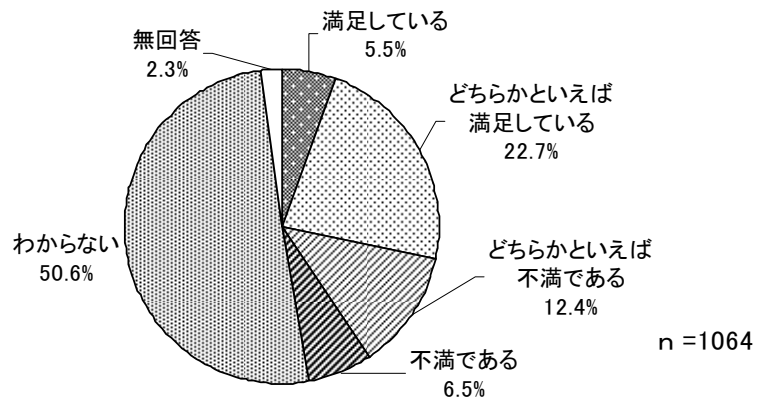
区役所本庁舎に電話をかけたことがある人に、そのときの職員の対応について尋ねたところ、「非常に良い」(9.8%)と「良い」(37.5%)を合わせた『満足層』は47.3%だった。

反対に、「非常に悪い」(3.4%)と「悪い」(5.7%)を合わせた『不満層』は9.1%だった。

(6) 区民の意見・要望を聴く姿勢……『満足層』(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は3割弱

問27 区は、区民の声を受止めるしくみを整え、答えや説明をすばやくきちんと返すことを目標としています。あなたは、区が区民の意見や要望を聴く姿勢について、満足していますか。(1つに○)

図8-6 区民の意見・要望を聴く姿勢

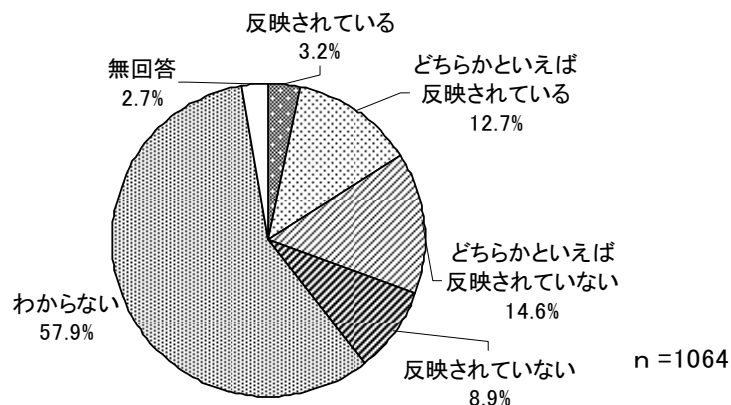


区が区民の意見や要望などを聴く姿勢について尋ねたところ、「満足している」(5.5%)と「どちらかといえば満足している」(22.7%)を合計した『満足層』は28.2%、一方、「不満である」(6.5%)と「どちらかといえば不満である」(12.4%)を合計した『不満層』は18.9%だった。なお、半数は「わからない」と答えている。

(7) 区民の意見・要望の反映度……『肯定層』(「反映されている」+「どちらかといえば反映されている」)は1割半ば

問28 区は、多くの区民の意見・要望を区政運営に活かすことを目標にしています。あなたは、現在、区民の意見・要望などが区政に反映されていると思いますか。(1つに○)

図8-7 区民の意見・要望の反映度

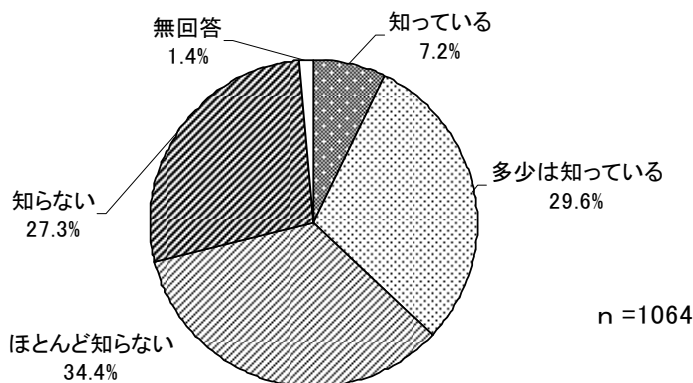


区民の意見や要望などが区政に反映されているかたずねたところ、「反映されている」(3.2%)と「どちらかといえば反映されている」(12.7%)を合計した『肯定層』は15.9%、一方、「反映されていない」(8.9%)と「どちらかといえば反映されていない」(14.6%)を合計した『否定層』は23.5%だった。なお、6割近くの人が「わからない」と答えている。

(8) 住民税の認知度……『知っている層』(「知っている」+「多少は知っている」)は 36.8%

問29 区は、区民のみなさんに、税金を納得したうえで負担していただくことを目標にしています。区民のみなさんが区に納めている住民税は、区民サービスのための基本的な財源です。あなたは、住民税がどのような用途に使われているか知っていますか。(1つに○)

図8-8 住民税の認知度

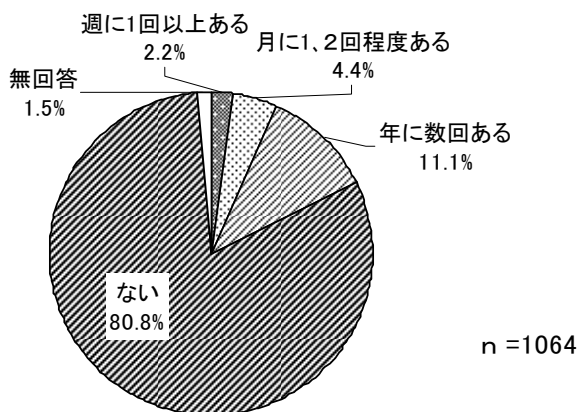


住民税がどのような用途に使われているかを知っているかたずねたところ、「知っている」(7.2%)と「多少は知っている」(29.6%)を合わせた『知っている層』は 36.8%となった。「ほとんど知らない」は 34.4%、「知らない」は 27.3%であった。

(9) 地域活動やボランティア活動の参加状況……8割が参加したことがない

問30 区は、ボランティア活動など、区民の自主的な活動が活発に行われる社会を目標としています。あなたは、この1年間に町会・自治会、PTAなどの地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。(1つに○)

図8-9 地域活動やボランティア活動の参加状況

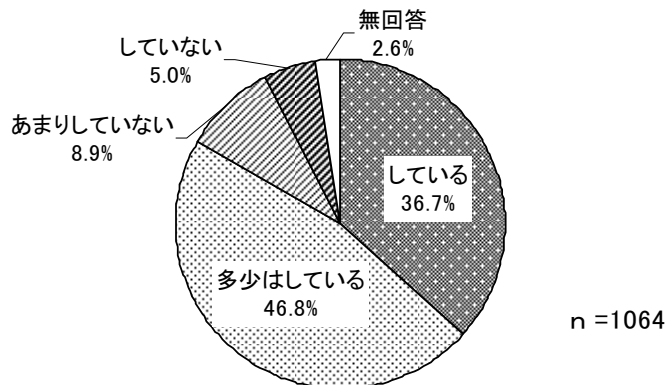


この1年間に地域活動やボランティア活動に参加したことがあるかたずねたところ、「週に1回以上はある」(2.2%)、「月に1、2回程度ある」(4.4%)、「年に数回ある」(11.1%)を合わせた『参加経験のある層』は 17.7%だった。「ない」は 80.8%だった。

(10)環境にやさしい行動をしているか……『行っている層』は8割を超える

問31 区は、区民の一人ひとりの方に環境にやさしい生活を送っていただくことを目標としています。あなたは、環境にやさしい行動(冷暖房機の温度設定に気をつける/リサイクル、レジ袋を断るなど、ごみの発生を少なくする努力をする/車の停車時にエンジンを切るなど)をしていますか。(1つに○)

図8-10 環境にやさしい行動をしているか



環境にやさしい行動をしているかたずねたところ、「多少はしている」が46.8%で最も高く、これに「している」(36.7%)を合わせた『行っている層』は83.5%となった。一方、「していない」(5.0%)と「あまりしていない」(8.9%)とを合わせた『行っていない層』は13.9%となっている。

(11)周辺道路の満足度……『不満層』が最も多いのは、「歩道の歩きやすさ」

問32 区は、地域に応じたまちづくりを進め、安全で快適な生活空間づくりを目標としています。あなたは、お住まいの周辺道路にどの程度満足していますか。各項目ごとにお答えください。(1つずつ○)

図8-11 周辺道路の満足度

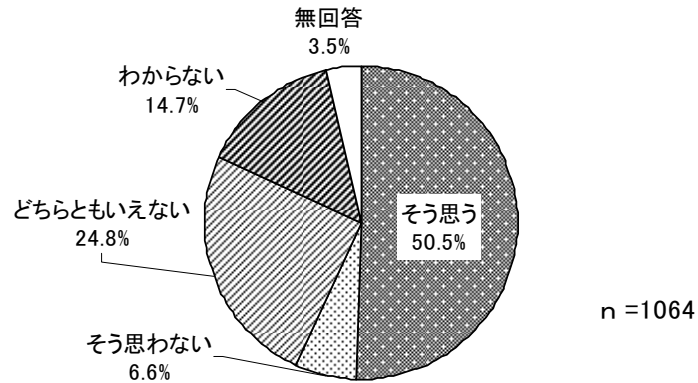
各 n = 1064	満足度 (%)						
	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いえない	わから ない	無回答
車の流れや渋滞	5.5	21.8	28.9	23.6	7.6	7.6	5.1
車に乗っているときの安全性	4.7	28.0	26.2	12.1	8.8	14.1	6.0
歩道の歩きやすさ	4.2	21.3	32.1	33.3	3.6	4.5	0.9
沿道の景観	4.5	25.8	26.7	24.4	11.1	2.6	4.8
災害時の避難路としての安心感	1.5	13.7	31.5	32.5	8.6	7.4	4.7
道路補修や維持管理	2.9	25.3	26.6	21.3	10.9	7.9	5.1
総合的にみて	2.5	23.9	36.0	20.2	8.9	3.7	4.8

住まいの周辺道路について「車の流れや渋滞」など、7項目について満足度を尋ねたところ、すべての項目で『不満層』(「不満」+「やや不満」)が『満足層』(「満足」+「やや満足」)を上回った。特に「歩道の歩きやすさ」(65.4%)と「災害時の避難路としての安心感」(64.0%)は『不満層』が8割を超え、高い割合となっている。

(12)男女が多様な働き方ができるようになるべきか……「そう思う」が半数

問33 区は、全ての人に多様な働き方が選択できる社会を目標にしています。民間企業の中には一人あたりの労働時間を短くして、仕事を分かち合うワークシェアリングを導入するところも出始めています。あなたは、このような方法を用いて男女が多様な働き方ができるようになるべきだと思いますか。(1つに○)

図8-12 男女が多様な働き方ができるようになるべきか



ワークシェアリングなどの方法を用いて、男女が多様な働き方ができるようになるべきか尋ねたところ、50.5%の人が「そう思う」と答えた。一方、「そう思わない」は6.6%、「どちらともいえない」は24.8%だった。

2005 中野区政世論調査

2006年1月発行 文書番号17中総広第2104号

実施・編集・発行

中野区総務部広聴広報分野

東京都中野区中野4-8-1

電話(03)3389-4445(直通)
